

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
1	埼玉大学	連続市民講座	平成21年度	産業界（企業等）			読売新聞さいたま支局との共催で、埼玉大学における研究成果の一端を市民の皆さまに紹介し、豊かな地域づくりに役立てていただくことを目的として開催している公開講座。
2	埼玉大学	埼玉大学産学官連携協議会	平成12年度	産業界（企業等）			県内企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立され、県内企業等の経営者、技術者および埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学における各種情報発信、共同研究等への発展が期待される研究課題についての研究会活動などを実施している。
3	埼玉大学	埼玉大学高大連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等			高等学校生徒に大学教育を開放し、もって大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計ることを目的として、本学と協定を締結している高等学校の生徒に対し、本学で開講している授業を受講してもらい、希望者には本学の規則に基づいて単位を認定している。 ※協定締結校：県立浦和高等学校、県立浦和北高等学校、県立川口北高等学校、県立大宮高等学校、県立浦和西高等学校、県立浦和第一女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、さいたま市立浦和南高等学校、さいたま市立大宮北高等学校、さいたま市立大宮国際中等教育学校
4	埼玉大学	課題解決型長期インターンシップ	平成28年度	産業界（企業等）			地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結しているJR東日本大宮支社と連携し、平成28年度から実施していた関連講義、フィールドワーク、グループワークを中心としたプログラムから、夏期休業期間中（5日間程度）のJR東日本大宮支社における鉄道に関連する諸業務の体験を中心とするプログラムへとリニューアルして実施した。
5	埼玉大学	課題解決型プログラム	平成29年度	産業界（企業等）			学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、自ら「主体的」に学び行動する力を身につけることを目的とし、平成29年度から「課題解決型プログラム」（全16回）として開講している。授業の最初に埼玉大学と民間企業との共同研究により開発されたキャリア支援アセスメント「長所発見テスト（VSAT）」を受検してもらい、その結果レポートを手掛かりに、自身の可能性と将来について考えを深めてもらい、その後、各企業が提示する課題に対して個人やグループワークをとおして課題解決に結びつく提案を行った。なお、「長所発見テスト（VSAT）」については、参加企業の社員にも受検してもらい、将来このような企業で活躍するならばどのようなスキルが求められるかを学生自身が考えるきっかけとするため、受検結果を学生たちと共有し、それにより、企業理解の一層の促進を図っている。
6	埼玉大学	地域志向科目（地域創生を考えるa、地域創生を考えるb）の実施	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		県内企業や県内自治体から招いたゲストスピーカーの講演を通して、「社会へ出るために、今、何をすればよいのか？」という自らのキャリア形成について考えてもらうとともに、埼玉県に対する理解を深めてもらうことを目的とした授業科目を開講した。
7	埼玉大学	高校生のためのグローバルセミナー	平成22年度	自治体（行政）			県内在学・在住の高校生を対象として、グローバル人材へのきっかけ作りとなるべく、高校生が国際感覚を身につけたいという気持ちを後押しするための講座を開催している。
8	埼玉大学	埼玉大学教養学部ミュージアム・カレッジ	平成13年度	自治体（行政）			埼玉大学教養学部が埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立近代美術館とそれぞれ隔年で共催する公開講座。令和4年度は埼玉県立近代美術館との共催により、「トランジットー新たな敷居学の提案」をテーマに全4回の講座を開催した。
9	埼玉大学	埼玉大学経済学部市民講座	平成8年度	自治体（行政）			埼玉大学経済学部とさいたま市教育委員会の主催で実施している公開講座。開かれた大学を実現するため、県民・市民との交流を図り、地域社会の文化の向上に資することを目的としており、令和4年度は「私たちのこれまで、これから－社会科学で深く知り、広く考える－」をテーマに全8回開講した。
10	埼玉大学	埼玉大学・戸田市連携講座	平成23年度	自治体（行政）			戸田市民大卒認定講座として実施している公開講座。令和4年度は「埼玉大学の研究を共に学ぼう」をテーマに全4回開講した。
11	埼玉大学	3D-CAD & 3Dプリンター無料研修	平成26年度	自治体（行政）			さいたま市と連携して、市内のものづくり企業が新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的とする。さいたま市の「さいたま市高度ものづくり人材育成支援業務」の一環として実施している。
12	埼玉大学	リカレント教育 経済学部夜間開放授業	平成17年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指して、経済学部夜間開放授業を実施している。
13	埼玉県立大学	高校等出張講座	平成15年度	中・高等学校			高等学校等の依頼に基づき、教員を派遣する。
14	埼玉県立大学	越谷市シルバーカレッジ	平成17年度	自治体（行政）			生涯学習の一環として高齢者に学習の機会を提供する。越谷市在住の60歳以上の方 ・9月7日（水）「手の不思議」 ・9月21日（水）「生活習慣と健康－食生活と身体活動－」
15	埼玉県立大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）			地域の大学や市町村、企業・NPO、県が連携して、子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 小学4年生～6年生 ・10月22日（土）「ジャンプ力を知ろう！測ろう！」 ・11月26日（土）「聴診器をつかってみましょう」
16	埼玉県立大学	夢を見つける！リアル体験教室事業	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県と連携し、青少年の夢発見と夢実現を支援するため、プロから学び体験する教室を開催する。 【埼玉県立大学コース】小学4年生～6年生 9月11日（日）「看護師になりたい」
17	埼玉県立大学	埼玉県立大学&浦和レッズ“ハートフルコラボレーション”	平成25年度	産業界（企業等）			浦和レッズと連携し、サッカーを通じたスポーツの振興と地域住民の健康づくりのため、イベントを開催する。 「親子サッカー教室」小学校1年生～3年生とその保護者が対象 ・天候の影響により令和4年度は中止となった。
18	埼玉県立大学	埼玉県立大学春日部市民講座		自治体（行政）			春日部市、在住、在学、在勤の方を対象に、市民講座を開催。 7月24日（日）「コロナ禍で自粛中、座りがちな行動にご注意ください」 7月31日（日）「コロナ禍でのオーラルフレイル」

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
19	埼玉県立大学	大学の開放授業講座		自治体（行政）			県内在住の55歳以上の方を対象に、県と県内・近隣にキャンパスを構える大学が協力し、授業科目の一部を開放。
20	埼玉県立大学	高校生向け開放授業		高等学校			本学の教育内容に対する理解や進路決定への意識的取組の促進等を図るため、本学授業を近隣10校の高等学校生徒にを対象に開放。
21	跡見学園女子大学	跡見学園女子大学公開講座	昭和55年度	自治体（行政）			本学新座キャンパスでは、新座市教育委員会共催又は新座市教育委員会後援、及び埼玉県教育委員会後援、並びに「埼玉まなびいプロジェクト協賛事業」の一環として「教養コース」を開講している。
22	跡見学園女子大学	にいざプラスカレッジ（旧：新座市民総合大学）	平成12年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		新座市内にある3大学（十文字学園女子大学、立教大学、跡見学園女子大学）がそれぞれ講座を開講している。新座市内在住、もしくは在勤・在学の18歳以上の方が受講対象。→令和4年度は中止
23	跡見学園女子大学	出張講義	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等			学問への関心を喚起し、また進路選択の一助となることを目的として、本学教員が高校に出向き授業を行う出張講義を実施している。教員の幅広い専門分野を網羅する形で講義メニューを用意し、高校に案内している。対面に加えて、オンライン形式でも実施している。
24	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムは、埼玉県内にある16の大学が、連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展化を図るとともに、生涯学習や産官学の地域交流を推進し、地域の教育・文化の発展を図ることを目的として設置されたもの。生涯学習、地域社会への貢献を目的として、加盟大学のうち11大学により年に一度、各大学が協力をして公開講座を行っている。→令和3年度は中止
25	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉県内にキャンパスのある大学が相互に協定を結び、「彩の国大学コンソーシアム単位互換制度」を発足させた。現在、加盟大学は10校で、それぞれ科目を定めて相互に学生を受け入れている。36単位を超えない範囲で、本学の卒業要件の単位として認定される。
26	跡見学園女子大学	アカデミック・インターンシップ	平成15年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	インターンシップは、マネジメント学部の2年次必修科目である。講義科目で学ぶマネジメントに関する理論を、企業・団体や地方自治体等における就業体験を通してさらに発展させ、学生の学習の方向性を明確にするとともに、マネジメントの「マインドとスキル」習得により、実務能力を高めるきっかけとすることを目標としている。 令和4年度には、県内17箇所（企業5、公益財団法人5、特定非営利活動法人1、社会福祉協議会2、自治体4）で実習が行われた。
27	跡見学園女子大学	埼玉県三郷市におけるインクルーシブ公園の開発と管理運営	令和3年度	自治体（行政）			令和3年度に策定した「三郷市緑の基本計画」に則り、市内の公園の活用活性化事業の一つとして、障害の有無にかかわらず、だれもが遊ぶことのできる公園の開発と管理運営を行うこととなった。赤松ゼミ2年生の提案をベースに、市内の障がい児施設など有識者・関係者のニーズを取り入れて設計し、令和5年3月22日に「なかよしひろば」としてオープンした。今後は積極的な活用を促進するための広報、企画、安全や衛星を保つための管理等を三郷市と連携しながら携わっていく。
28	跡見学園女子大学	基礎ゼミナール（学外実習）でのインターンシップ	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体・非営利団体（商工会、社会福祉協議会、自治会、NPO等）	講義で学んでいる観光デザインやコミュニティデザインの知識、理論を、企業や自治体、NPOなどの非営利機関における就業体験や社会体験、または特定のテーマに基づく調査活動を通して具体的・実感的に検証する。調査活動では、実習先から与えられたテーマや学生自らの問題意識に基づくテーマで調査を行い、具体的提言を行っている。 令和4年度には、埼玉県内6箇所（自治体2、公益財団法人2、非営利団体2）で就業体験、調査活動などの実習が行われた。
29	跡見学園女子大学	ATOMIインターンシップ	平成10年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		就職課主催の就業体験としてのインターンシップ（単位認定外）。学生が自己責任に基づいて納得できる就職をするために、早期離職や無目的なフリーターをしないために、しっかりとした職業意識を涵養し、職業観を育成する。加えて、実務経験を通して、人生設計の手がかりを探る機会を与えることを目的としている。令和4年度は43の受け入れ先のうち、9つが埼玉県内の企業・自治体等。令和元年度に参画した埼玉県補助事業（大学生のための県内魅力発見事業）「社会人インタビュー」以降も、その範囲を首都圏に拡大し、就職課主催で毎年実施している。主旨として、主体性を身につけさせ、社会人としての働き方や仕事内容について理解を深められるようにすることを目的としている。また、就職活動に向けて、学生が低学年のうちから自らの進路を考え、自身が働く姿を具体的にイメージできるよう、学生自らインタビューに向けて企業研究および業界研究を実践形式で行っており、令和4年度は、埼玉県内企業1社へのインタビューを実施。
30	跡見学園女子大学	社会人インタビュー	令和元年度	産業界（企業等）			埼玉県大学就職問題協議会加盟16大学主催（協賛：公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会／埼玉中小企業家同友会／株式会社埼玉りそな銀行）の下、合同企業説明会（オンライン）を実施。当日は、埼玉県に拠点を置く52社が参加し、加盟大学所属の学生との就職における交流の場（1日最大8社の説明を受けることが可能）となった。
31	跡見学園女子大学	埼玉県大学就職問題協議会主催 合同企業説明会	平成23年度	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）		埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の19大学/短期大学・23自治体で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、入試広報活動、FD・SD、就活支援、地域との連携事業（イベント等）に取り組んでいる。
32	跡見学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		社会福祉法人浦和福祉会 特別養護老人ホーム「スマイルハウス」と連携し、教育・研究面で様々な交流を生み、大学・施設双方に有意義な連携活動がなされている。
33	浦和大学	社会福祉法人浦和福祉会との連携	平成11年度	その他			知的障害者施設「大崎むつみの里」の就労移行支援及び就労継続支援に協力し、週2回の学内清掃作業を同施設に依頼している。本学が福祉の大学として就労支援に協力することは、本学学生、知的障害者双方に大変有意義なプロジェクトとなっている。
34	浦和大学	「大崎むつみの里」就労支援	平成14年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			R4年度は実施に向けて準備をしたが、雨天及び低温の懸念から中止となった。
35	浦和大学	「緑区区民祭り」への参加・協力	平成15年度	自治体（行政）			

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
36	浦和大学	リレーフォーライフへの参加	平成19年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			R4度は3年ぶりの開催となったが、浦和大学大学祭と日程が重複してしまい学生ボランティアの参加が困難となった。
37	浦和大学	「イノセンスアート」授業における障がい児との交流	平成19年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			R4年度コロナにより中止
38	浦和大学	親支援講座の開設	平成20年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			R4年度コロナにより中止
39	浦和大学	さいたま市との協力関係	平成23年度	自治体(行政)			さいたま市委託事業として公開講座を実施した。
40	浦和大学	浦和大学公開講座	平成26年度	自治体(行政)			R4年度コロナにより中止
41	浦和大学	さいたま国際マラソンにおける運営および応援協力	平成27年度	自治体(行政)			さいたまランフェス実施にあたり、大学施設貸与の協力をを行った。令和4年度は、給水ボランティア(25名)及び応援ボランティア(エイサークル)も参加した。
42	浦和大学	就職・進学委員会主催インターンシップ	平成27年度	産業界(企業等)			企業等における就労体験(インターンシップ)を通して、社会を知る、仕事を知る機会として実施。実習先については、地元産業(企業等)を中心に依頼。令和4年度は6件の企業と覚書を交わした。
43	浦和大学	見沼ソーシャルファーム懇談会	平成28年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			R4年度は大学としての活動はなかった。
44	浦和大学	健康体操教室	平成28年度	その他			以下の期間にて対面形式で実施した。なお受入れ施設の許容人数から定員を15名として2回開催した。内容としては、①ウォーミングアップ、②参加者と学生の交流のためのレクリエーション、③マシンを活用したレジスタンストレーニング、④クールダウンであり、1回の開催時間は約1.5時間であった。 <第1期>2022年9月26日～11月7日 各月曜日 全6回開催 <第2期>2022年11月14日～12月19日 各月曜日 全6回開催
45	浦和大学	一日こども大学生	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	R4年度コロナにより中止
46	浦和大学	教育インターンシップ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	正規授業として、さいたま市教育委員会とインターンシップ覚書を締結し、学校教育学科1・2・3・4年生が、アスタントティーチャー(2～4年生)、チャレンジスクール(1年生)、学校の放課後活動支援に出向いている。
47	浦和大学	第8回浦和美園まつり&花火大会	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		R4年10月30日に開催された第8回浦和美園まつり&花火大会に協賛した。
48	共栄大学	子ども大学かすかべ	平成30年度	自治体(行政)			子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。 1日目《生き方学・ふるさと学》 「畑にある楽しさと学び～みんなで掘って食べてみよう～」 2日目《ふるさと学・はてな学》 「縄文時代へタイムスリップ～かすかべにも海があった!?～」 3日目《生き方学》 「アテネオリンピック代表『バスケットボール選手』から学ぼう」
49	共栄大学	共栄大学公開講座	平成30年度	自治体(行政)			開かれた大学を実現するために、春日部市教育委員会と連携し、地域社会の文化の向上を資することを目的として、全3回開講する公開講座。 本年度の実施内容は以下のとおり。 楽しく歌いつごう 日本の歌 鉄道運行の基礎知識と埼玉県の鉄道 子どもの健康を「まちづくり」から考える
50	共栄大学	買い物ついでに、チョコッとスポーツ -スポーツをしながらSDGsを考えましょう!!-	令和4年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		共栄大学(北島ゼミ・伊藤ゼミ)、イオンモール春日部、春日部市が連携し、気軽に行えるスポーツ、みるスポーツとして卓球のVR体験を行った。
51	埼玉医科大学	「埼玉医科大学市民公開講座」	平成17年度	自治体(行政)			身近な病気の問題を取り上げ、広く一般の方々を対象とした公開講座。埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 【詳細】 ・令和4年5月21日 テーマ『コロナの正しい知識とコロナ禍での身体運動のススメ』 ・令和4年7月2日 テーマ『下肢の潰瘍と血管障害』 ・令和4年9月17日『ホルモンの病気(更年期障害と甲状腺の病気)』 ・令和4年11月19日『がんの在宅医療』 ・令和5年1月28日 テーマ『アレルギー』
52	埼玉医科大学	地域医療連携懇話会	平成22年度	その他			地域の病院との情報交換の場で、隔月第3水曜日に定期的に開催している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
53	埼玉医科大学	毛呂山町との地域連携協定	平成24年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学及び本学短期大学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施</li> <li>・毛呂山町振興計画審議会委員として本学職員の派遣</li> <li>・毛呂山町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員として本学職員の派遣</li> <li>・毛呂山町行政改革推進委員会委員として本学職員の派遣</li> <li>・「毛呂山町健康づくりのまち宣言」におけるウォーキングによる健康づくり事業への参加</li> <li>・本学教職員による町内中学校へのがん教育の実施</li> <li>・生涯学習人権教育講座に講師として本学医師の派遣</li> <li>・本学臨地実習生の受入れ</li> <li>・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等</li> </ul>
54	埼玉医科大学	小中学校教育体験実習	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			R4はコロナにより一時中止
55	埼玉医科大学	彩の国ビジネスアリーナ（産学連携）	平成27年度	産業界（企業等）			埼玉県産業振興公社等が主催した展示会に出展し、ニーズマッチング会やリサーチパークの紹介を紙面にて行った。
56	埼玉医科大学	日高市との地域連携に関する基本協定	平成25年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施</li> <li>・介護認定審査会委員として本学職員の派遣</li> <li>・日高市行政経営審議会委員として本学職員の派遣</li> <li>・自殺対策推進連絡会委員として本学職員の派遣</li> <li>・日高市健康習慣に関するアンケート調査の実施に向けた取組</li> <li>・第9回日高かわせみの里ソーデーウォークの協賛への協力</li> <li>・日高市内イベント（日高市健幸まつり等）への協力</li> <li>・本学臨地実習生の受入れ</li> <li>・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等</li> </ul>
57	埼玉医科大学	株式会社丸広百貨店との地域連携に関する協定	平成25年度	産業界（企業等）			・新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業（丸広百貨店エンジョイ大学セミナー（年4回開催）講師として本学教員の派遣等）を一時休止中
58	埼玉医科大学	株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定	平成28年度	産業界（企業等）			・新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業（埼玉西武ライオンズ野球観戦招待引換券の本学学生への配布等）を一時休止中
59	埼玉医科大学	飯能市との連携・協力に関する基本協定	平成30年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学臨地実習生の受入れ</li> <li>・メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組</li> <li>・地域包括ケアシステム構築のための社会資本の活用に関する共同研究</li> <li>・市内公立小・中学校への学校医（耳鼻咽喉科）の派遣</li> <li>・奥むさし駅伝救護スタッフとして本学看護師の派遣</li> <li>・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等</li> </ul>
60	埼玉医科大学	株式会社埼玉りそな銀行との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	産業界（企業等）			・本学リサーチパークの活用促進に関するビジネスマッチングの検討 等
61	埼玉医科大学	町との連携・協力に関する基本	令和元年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり検診への医師等の派遣</li> <li>・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等</li> </ul>
62	埼玉医科大学	埼玉大学との連携協定	令和2年度	その他			・共同研究
63	埼玉工業大学	心理学セミナー		自治体（行政）			<p>バラエティーに富んだテーマで心理学の世界を講座として用意し、地元をはじめとした一般の方へ開講。</p> <p>臨床心理学に関する心理学セミナー</p> <p>【令和4年度】7/2, 9/3, 10/1, 11/5（オンライン開催）</p>
64	埼玉工業大学	心理相談室		自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		さまざまな心理的な問題や心理的、神経症的な症状に悩む人たちに対し専門家（臨床心理士）・大学院生による心理的援助を行う。子育ての悩み、学校に関する悩み、人間関係などの悩みに関する相談。（予約制）
65	埼玉工業大学	ふかや市民大学	平成22年度	自治体（行政）			<p>「ふかや市民大学」は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人がつながり、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施する。</p> <p>【令和4年度】10/29（対面開催）</p>
66	埼玉工業大学	公開講座	平成12年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		<p>教育・研究成果を地域社会に還元し、学びの場を提供することを目的に開講。</p> <p>【令和4年度】6/4、6/11、6/12、6/18、6/26（対面・オンライン開催）</p>
67	埼玉工業大学	SAIKOフェア	平成19年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		<p>一般市民を対象に大学の研究成果や学生プロジェクトの活動状況を発表する。</p> <p>【令和4年度】10/9（対面開催）</p>
68	埼玉工業大学	子ども大学ふかや	平成22年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	大学・短大（大学・短大間連携）	<p>深谷市・深谷青年会議所等と協同で実施</p> <p>「はてな学」、「生き方学」、「ふるさと学」の3分野について学び、大学教員等による講義や実際に身体を使うワークショップなどの体験活動を行い、成果発表会で学びの成果を発表を行う。</p> <p>【令和4年度】8/6・8/19・8/27・9/24（対面開催）</p>
69	埼玉工業大学	子ども大学よりい	令和元年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		<p>寄居町内小学校4、5、6年生を対象として、専門的かつ知的好奇心を刺激する学びの場を提供し、子どもの学ぶ力や生きる力の向上を図る。</p> <p>【令和4年度】コロナにより開催中止</p>
70	埼玉工業大学	こころざし深谷科学塾	令和4年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		<p>段味わえないような科学の世界を体験させることにより、子供たちの科学への探究心と未来への夢を育み、伸びようとする子をさらに伸ばすことを目的とした事業。</p> <p>【令和4年度】8/27（対面開催）</p>
71	埼玉工業大学	出前授業・模擬授業	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			<p>教育・研究の成果を地域社会に還元すべく、高等学校・地域社会・地元産業界と連携強化を努めている。本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が直接高等学校に出向き講義を行う。</p>

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
72	埼玉工業大学	高大連携事業 大学見学		幼保・小・中・高等学校等			大学教育・高校教育の活性化を図るため、協定を締結した連携校の大学見学や体験授業等を行う。
73	埼玉工業大学	高大連携事業 出前授業		幼保・小・中・高等学校等			本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が連携校に出向き講義を行う。
74	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 第1回講演会		産業界（企業等）			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催。 講演タイトル「企業におけるメンタル・ヘルス対策の基礎—心の健康とストレスの理解—」 【令和4年度】6/3（対面・オンライン開催）
75	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 第2回講演会		産業界（企業等）			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催。 講演タイトル「過去の地震から学ぶ～機械に見る被害例と効果的な対策～」 【令和4年度】11/1（対面・オンライン開催）
76	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 第3回講演会		産業界（企業等）			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催。 講演タイトル「ヒューマンエラーと注意」 【令和4年度】2/14（対面・オンライン開催）
77	埼玉工業大学	彩の国ビジネスアリーナ2023		産業界（企業等）			研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）等をイベントで紹介 彩の国ビジネスアリーナへ出展 【令和4年度】2023年2月7日（対面開催）
78	埼玉工業大学	地域連携事業（1）		自治体（行政）	産業界（企業等）		J R 高崎線 岡部駅「おかべ希望が岡公園イルミネーション2022」 【令和4年度】設置12月1日～2023年1月31日
79	埼玉工業大学	産学連携協定に伴う埼玉縣信用金庫視察研修会(農業・地元連携模索)		産業界（企業等）			多くの農作物の生産において全国トップクラスとなる埼玉県の農業ニーズに、埼玉大の研究シーズを適用する可能性を検討する目的で開催。
80	埼玉工業大学	令和4年度第1回産学連携シーズ発表会		産業界（企業等）			大学の研究・技術シーズと研究開発型企業が連携し、新たな製品・技術を開発する取り組みとして実施された技術シーズマッチング会にて研究発表。 【令和4年度】6月21日（オンライン開催）
81	埼玉工業大学	令和4年度第2回産学連携シーズ発表会		産業界（企業等）			大学の研究・技術シーズと研究開発型企業が連携し、新たな製品・技術を開発する取り組みとして実施された技術シーズマッチング会にて研究発表。 【令和4年度】8月22日（オンライン開催）
82	埼玉工業大学	「ふかや桜まつり」での運営補助	令和4年度	自治体（行政）		地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	「ふかや桜まつり」の運営に学生ボランティアとして参加 【令和4年度】4月2日
83	埼玉工業大学	「深谷市産業祭」での運営補助	令和4年度	自治体（行政）		地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	「深谷市産業祭」の運営に学生ボランティアとして参加 【令和4年度】11月5日～11月6日
84	埼玉工業大学	「深谷ねぎまつり」での運営補助	令和4年度	自治体（行政）		地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	「深谷ねぎまつり」の運営に学生ボランティアとして参加 【令和4年度】令和5年1月29日
85	埼玉工業大学	「ふかやシティハーフマラソン」での運営補助	令和4年度	自治体（行政）		地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	「ふかやシティハーフマラソン」の運営に学生ボランティアとして参加 【令和4年度】令和5年2月26日
86	芝浦工業大学	第17回見沼区ロボット工作教室	平成18年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			芝浦工業大学後援会は、課外活動等の活性化及び国際交流等のグローバルな活動の推進を目的として援助・支援制度を実施。
87	芝浦工業大学	オンライン埼玉県彩の国ビジネスアリーナ/産学連携フェア	平成24年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）、3月開催の本学主催イベントを紹介し、県内企業との技術相談・共同研究推進及びイベントへの勧誘をオンラインで実施（R4年度）
88	芝浦工業大学	地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	文科省からの補助金交付は平成29年度で終了したが、大学の自己資金にて活動継続。地域との連携を更に強化して、『まちづくり』と『ものづくり』を通じた教育・研究・社会貢献を実施（R4年度）
89	芝浦工業大学	さいたま市高度ものづくり人材育成支援事業	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ものづくり企業の製品化を支援するために、プロトタイプング手法を活用した実践的人材育成プログラムを、地域企業の若手技術者に対して実施（R4年度）
90	芝浦工業大学	埼玉県との連携授業	平成26年度	自治体（行政）			土木工学科、環境システム学科において、埼玉県総合技術センターと連携し、県土整備部や都市整備部の職員による連携授業を実施（R4年度）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
91	芝浦工業大学	さいたま市シニア向け運動教室	平成27年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	例年は大学の運動施設を生かして大学近隣のシニア向け運動教室を実施しているが、今年度もオンラインで実施（R4年度）
92	芝浦工業大学	課題解決型授業への課題提供	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉県との連携的包括協定に基づき埼玉県から、さいたま市とのイノベーション協定に基づきさいたま市から、及び埼玉県内・さいたま市内企業様から課題解決型授業への課題提供を頂いた（システム工学特別演習を対面とオンラインで実施）（R4年度）
93	芝浦工業大学	埼玉県産学連携ネットワーク会議	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ネットワーク会議の開催ができなかったため、「産学連携支援ネットワーク大学担当実務者会議」を実施（R4年度）
94	芝浦工業大学	さいたま市主催 大学による地域の課題解決・活性化支援事業補助金	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		「ARスポーツを活用した世代間交流の実践」で採択を受け、地域活性化活動を実施（R4年度）
95	芝浦工業大学	（一社）さいしんコラボ産学官主催 中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会	平成30年度	産業界（企業等）			中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会in埼玉に、本学から1チームが参加した（R4年度）
96	芝浦工業大学	さいたま市人材高度化タスクフォース事業	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		市内企業と協力して、さいたま市から補助金を獲得し、共同研究を通して企業若手と学生の人材育成を実施（R4年度）
97	芝浦工業大学	知と地の創造拠点フォーラム（同時開催：COC学生成果報告会）	平成30年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	BOiCE特別講演、COC学生成果報告会&表彰式、ADAM春の発表会の3本建てで、産学・地域連携の発展に向けた情報発信を目的に開催（R4年度）
98	芝浦工業大学	さいたま市「第11回学生政策提案フォーラムinさいたま」	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	今年度は『高温化する夏季においても安全に安心して歩けるまちの実現』の成果を発表し優秀賞を受賞（R4年度）
99	芝浦工業大学	さいたま市スマートシティ関連（大宮地区）	令和2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大宮・さいたま新都心プロジェクト会議にオブザーバーとして出席 9月さいたま市からの協力も得て、さいたま新都心のコクーンシティで自動運転シニアカーの実証実験を実施（R4年度）
100	芝浦工業大学	芝浦ビジネスモデルコンペティション（SBMC）開催の後援を承認いただいた	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉県、さいたま市、埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫、さいしんコラボ産学官（R4年度）
101	芝浦工業大学	埼玉県産業振興公社「シェアモビリティ研究会」開催	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		大学の知を生かして、産学連携による県内企業技術開発力向上支援事業（R4年度）
102	芝浦工業大学	埼玉県産業創造課「多角化支援事業業務委託事業者審査会」	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		大学の知を生かして、有識者会議に参画（R4年度）
103	芝浦工業大学	埼玉県産業支援課「（仮称）渋沢栄一起業家サロン」機能等検討有識者会議	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		大学の知を生かして、有識者会議に参画（R4年度）
104	芝浦工業大学	埼玉県産業労働部企業立地課「埼玉Rich応援団」に参加	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉Rich応援宣言書を埼玉県ウェブサイトに掲載（R4年度）
105	芝浦工業大学	埼玉県商業・サービス産業支援課との連携強化	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		「スポーツビジネスネットワーク埼玉」に登録（R4年度）
106	芝浦工業大学	さいたま市スポーツ政策室との連携強化	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		さいたま市スポーツ政策室との共同研究実施（R4年度）
107	芝浦工業大学	さいたま市『脱炭素先行地域』関連の共同研究検討	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		さいたま市、企業と共同研究の詳細内容検討中（R4年度）
108	芝浦工業大学	さいたま市産業創造財団との連携強化	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		産学連携によるお試し技術相談の試行（R4年度）
109	十文字学園女子大学	地域活動（ボランティア）Youth Volunteer部	平成8年度	自治体（行政）			日本赤十字社東京支部学生奉仕団に加盟しており、そこを拠点として様々な活動を行っている。障害者の方々とは出かけたりレクリエーションをしたり、定期的にボランティア活動を行っている。
110	十文字学園女子大学	新座市内大学公開講座	平成9年度	自治体（行政）			新座市教育委員会と本学の共催により、新座市内大学公開講座を開催している。令和4年度は、次の公開講座を開催した。 ＜障害当事者の立場から「地域で共に生きるために」シンポジウム（全2回）＞ ・9/24「共に生きられるよう知ることと学ぶこと」120名 ・10/15「地域で暮らしていくためには」60名
111	十文字学園女子大学	インターンシップ（大学）	平成11年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会とする。実施期間：夏季休暇中（前期）または春季休暇中（後期）を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
112	十文字学園女子大学	にいぎプラスカレッジ	平成12年度	自治体（行政）			新座市が市内3大学（跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学）と連携し、「にいぎプラスカレッジ」（新座市民総合大学を令和2年度に改称）を開校している。大学キャンパスなどを使用しバラエティに富んだ講師陣による座学、実技・フィールドワークといった特色ある講義を展開している。市内在住・在勤・在学の18歳以上を対象。 R4はコロナにより一時中止。
113	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムは、埼玉県内にある10の大学が、連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展化を図るとともに、生涯学習や産官学の地域交流を推進し、地域の教育・文化の発展を図ることを目的として設置されたもので、参加大学間で授業科目を学生に開放し、一定の条件を満たせば、「単位認定」を行う。 R4本学からの送り出し学生：1名
114	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			コンソーシアム参加10大学のうち、7大学が「さいたま遊学2022～知的、快適生活のスズメ～」をテーマに公開講座を計画。令和4年度、本学は次のとおり実施した。 「クラシック音楽の幻想的な世界」70名
115	十文字学園女子大学	リカレント教育	平成20年度	埼玉県	大学・短大（大学・短大間連携）		埼玉県では、県内大学との協働事業として、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとなるよう、授業科目の一部を開放するリカレント教育事業（開放授業講座）を実施しており、本学も参画している。 R4は後期より受講生の受け入れを再開。受講者数：10名
116	十文字学園女子大学	子ども大学にいぎ	平成22年度	自治体（行政）			子ども大学にいぎ実行委員会（新座市教育委員会・地域ボランティア団体“雑木の会”・十文字学園女子大学）が主催し、小学校4年～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。令和4年度は、次のとおり実施した。 ・8月25日開催、参加者26名 ・講義内容 「ことば探偵参上～なぞの言葉の正体をつき止めろ！」（十文字学園女子大学 向後 朋美教授） 「作って飛ばそう！竹トンボ」（雑木の会）
117	十文字学園女子大学	埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 公開講座	平成22年度	自治体（行政）			埼玉県では学ぶ喜びとふれあいの輪を県内各地に広めるため、平成22年度より「埼玉まなびいプロジェクト協賛事業」を実施しており、本学の公開講座のいくつかを本協賛事業として実施している。令和4年度は、次の公開講座を本協賛事業として実施した。 <障害当事者の立場から「地域で共に生きるために」シンポジウム（全2回）> ・9/24「共に生きられるよう知ることと学ぶこと」120名 ・10/15「地域で暮らしていくためには」60名
118	十文字学園女子大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成22年度	自治体（行政）			埼玉県内の中山間地域における、高齢化や過疎化の進行により農林業や地域活動の維持が困難な地域に対して、大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、大学生が持つ行動力、専門技術、知識、新しい視点などを活かし、大学の研究室等で学生が地域で実際に活動し、中山間地域に活力をもたらすことを目的とする。 令和4年度は<横瀬町全域地区>、<皆野町日野沢・金沢地区>、<ときがわ町大附地区>において活動。
119	十文字学園女子大学	彩の国ロードサポート	平成24年度	埼玉県			学生の地域連携ボランティア団体「ゾウキリンくらぶ」は、ボランティアで道路の清掃美化活動を行う埼玉県の「彩の国ロードサポート制度」による道路サポート団体として認定を受け、快適で美しい道路環境づくりの活動を展開している。
120	十文字学園女子大学	子ども大学しき	平成26年度	自治体（行政）			子ども大学しき実行委員会（志木市教育委員会・NPO法人アンサーズネット・十文字学園女子大学）が主催し、小学校4年～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。令和4年度は、次のとおり実施した。 ・2月4日開催、参加者30名 ・講義内容「プログラミング初心者大集合！はじめてのプログラミング教室」（十文字学園女子大学 安達 一寿教授）
121	十文字学園女子大学	株式会社西武ライオンズとの連携事業	平成28年度	産業界（企業等）			(株)西武ライオンズとの連携協力に関する協定に基づき、以下の連携事業を行っている。 ・球団イベントへの学生ボランティアの派遣（R4はコロナにより一時中止） ・球団・新座市・大学プラットフォーム“TJUP”との共催による本学での親子野球体験イベントの実施（学生が運営スタッフとして参加）
122	十文字学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の20大学・23自治体・14事業者等で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、FD・SD、単位互換、地域の教育支援、地域への就職促進、入試広報活動、地域との連携事業（イベント等）に取り組んでいる。令和4年度もオンラインを併用しながら、各活動に取り組んだ。
123	淑徳大学	インターンシップ	平成10年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	自治体（行政）	在学中の就業体験を通じて社会や企業・団体を知るだけでなく、自分の適性や働くことの意味を理解する機会であり、自分探しや就職活動に生かしている。
124	淑徳大学	文京学院大学・淑徳大学共催公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			両大学は知的資源、人的資源ならびに施設面において協力、交流し、地元社会において公開講座を共同で開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供することを目的としている。 (令和4年度内容) オンライン方式にて健康講座を開講（10/8、10/22）
125	淑徳大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成19年度	自治体（行政）			県内在住の高齢者や団塊の世代の方に対し、授業科目の一部を受講できるように開放している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
126	淑徳大学	所沢市大学連携共催セミナー	平成22年度	自治体（行政）			所沢市教育委員会と近隣大学の連携により、専門的かつ学術的な知識を学ぶ機会を提供し、市民の高度化、多様化する学習に応えるため開催している。 （令和4年度内容） 経営学部より教員を講師として派遣し、講座を2回実施。
127	淑徳大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 （令和4年度内容） 感染対策を講じた上で通常開催。（7回実施）
128	淑徳大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的としている。 （令和4年度内容） 感染対策を講じた上で通常開催。（7回実施）
129	淑徳大学	子ども大学みよし	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 （令和4年度内容） 感染対策を講じた上で通常開催（5回実施）
130	淑徳大学	夏季淑徳教師養成塾	平成25年度	自治体（行政）	小学校		子ども達とふれあう楽しさや指導する難しさに気づき、教職を真剣に目指す意識を強固にすることを目的としたボランティア活動であり、夏季休暇期間中に教育連携先自治体等の要請を受けて、児童の宿題や個別学習の支援を行う。
131	淑徳大学	子育て支援事業	平成25年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		教員・保育士を目指す学生のボランティア活動を通じた実践の場として、学内外（保育園、幼稚園、児童館、自治体の施設等）での乳幼児を対象とした公演やふれあい活動を実施している。
132	淑徳大学	西みずほ台商店会との協働事業	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			西みずほ台商店会への学生派遣や商店会マップ作り、みずほ台祭りにアドバイザー的存在として関わり、地域活性化を図る。 （令和4年度内容） コロナにより一時中止。
133	淑徳大学	鶴瀬西口商店会との協働事業	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			教員と学生が「鶴瀬よさこい祭り」の実行委員会委員となり、祭りの運営に関わっている。 （令和4年度内容） コロナにより中止。
134	淑徳大学	フレンドシップ事業	平成29年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		教員の養成段階において学生が種々の体験活動等を通して子ども達と触れ合い、子ども達の気持ちや行動を理解し、教員としての実践的指導力の基礎を習得することを目的とした事業で、近隣自治体の行事へのボランティア参加要請により、地域社会との連携強化を図っている。
135	淑徳大学	三芳町ホストタウン交流事業	令和元年度	自治体（行政）			2019年度に三芳町との相互連携協力に関する協定書に基づき、オランダからの女子柔道チーム選手団の受け入れで、本学からは施設の貸出や学内の専門家による本学学生との練習指導、地域住民への公開練習の開催等の支援事業を行っている。
136	城西大学	埼玉県事業「大学の開放授業講座」	平成19年度	自治体（行政）			県と大学が協力して、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、授業科目の一部を開放し、一般の学生と一緒に学ぶ機会を提供する。
137	城西大学	彩の国ネットワーク	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	「テロを許さない街づくり」の確立に向け官民一体となった効果的なテロ対策の推進
138	城西大学	埼玉県、埼玉県防災士会との連携「地域防災政策ⅠB」協働講義	令和4年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		埼玉県危機管理課、埼玉県防災士会と協働の講義を3回実施した。その内容は、防災のイメージと判断力を高めるクロスロードゲームと、避難所運営訓練（HUG）である。25名前の受講生が参加し、その様子はNHKニュースでも取り上げられた
139	城西大学	埼玉県との連携「不当表示広告調査（健康食品等）」	平成30年度	自治体（行政）			HPや雑誌、新聞広告をしらべ不当表示広告を埼玉県に報告する。
140	城西大学	埼玉県事業「埼玉県川の国応援団「高麗川プロジェクト」	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		「川の国埼玉」の実現に向けた県民による川の再生活動。城西大学は「高麗川プロジェクト」として登録し、人間教育、国際教育、地域連携をキーワードとする活動を推進する重要なプログラムとして「高麗川プロジェクト」を策定した。このプロジェクトは、学生のアイデアに基づく高麗川に関わる自主的な活動を、これまでの活動と合わせて、「高麗川プロジェクト」と位置づけて支援し、それらをつなげることで、学生と地域の方たち、教職員が一体となり、高麗川をふるさとの川として誇りに思い、この地域に世代を超えて伝わる自然環境の再生活動やエコ活動への関心を高め、地域の活性化につなげることを目指した。高麗川多和田地区の美化活動と自然環境の定点観察並びに情報発信を行なった。また、荒川流域ネットワークにより開催される「アユ漁体験と魚釣り」イベントにおいて、会場の設営、子供たちの魚捕りのサポート、捕った魚の調理など、運営をサポートも行った。
141	城西大学	埼玉県立図書館等との連携「図書館と県民のつどい埼玉2022「司書が魅せる！WEB展示」		自治体（行政）	高等学校	大学・短大（大学・短大間連携）	県内の市町村立図書館、県立図書館、高校図書館、大学図書館などが協力して開催するイベントである。本学はポスター「学生アドバイザー活動10年の軌跡」をWEBで展示した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
142	城西大学	埼玉県内博物館との連携 埼玉県博物館連絡協議会	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）	2012年度より加盟中の「埼玉県博物館連絡協議会」では、研修への参加や情報共有を行うなど、県内にある美術館・博物館と相互連携を図るようにしており、今年度については、所属する西部地域の催物案内への情報提供や、「埼玉県博物館連絡協議会加盟館園マップ」の校正作業に協力した。
143	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）	平成24年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	埼玉県内職能団体	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学の4つの大学と埼玉県が連携して取り組んでいる専門職連携教育（Interprofessional Education：IPE）で多職種の連携によって課題を発見し解決できる人材育成を行い、専門職連携（Interprofessional Work：IPW）によって地域住民の質の高い暮らしを支えることのできる地域社会づくりに貢献することを目的に4大学の学生がチームで現場実習に取り組む連携科目を共同開発・開講したほか、県内の職能団体を通じ、現職者を対象とした研修会なども開催している。
144	城西大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
145	城西大学	子ども大学にしいるま	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）	坂戸市・毛呂山町・越生町の教育委員会と連携し、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、地域で地域の子どもの育てるしくみをつくる。 なお2022年度については、対面形式3講座とオンライン形式1講座にて開校し、18名の小学生が参加した。
146	城西大学	埼玉県川越都市圏まちづくり協議会との連携 「レインボーフェスティバル 世界が川島（ここ）に！」	令和4年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域団体（NPO、ボランティア等）	埼玉県川越都市圏まちづくり協議会（レインボー協議会）との連携により、川島町カインズモールにてインターナショナルフェスティバルを開催（来場者数5,300人）。城西大学勝浦ゼミにおいて、企画運営全てに携わり、ポスター・チラシのデザイン、ラジオ出演などの広報活動、世界各国のグルメ出店者や音楽・ダンスの出演者との調整、保健所・消防など行政関係への申請から当日の進行などに至るまで幅広く活躍した。同石井ゼミはローカルヒーローショーを披露した。
147	城西大学	坂戸市との連携協力	平成20年度	自治体（行政）			坂戸市との連携協定に基づき、互いに協働し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展、そのための人材育成に寄与する。 教職員の各種審議会等への参加をはじめ、市内公民館等における講演会講師、イベントへの実行委員としての参加や広報媒体の制作などを行っている。
148	城西大学	城西大学公開講座	昭和57年度	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）		教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講した。
149	城西大学	坂戸市との連携 「坂戸市住宅団地にぎわい再生事業」	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学の授業、課外活動その他周辺地域と連携した活動を地域住民と協働して行う。様々な取り組みを通じて、地域住民及び学生等が自由に活動できる場を提供する。 毎月1日に発行している「北坂戸にぎわいサロン通信 城西大学」において薬学研究科医療栄養学専攻院生の食品コラムと料理レシピを提供している。2022年度においては、ローカルヒーローショーや浮世絵摺り体験などの対面開催イベントを徐々に再開した。
150	城西大学	インターンシップ		地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	自治体（行政）	自治体や企業のほか学校での授業補助のチュードントインターンシップも実施。 2022年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、企業、自治体ならびにチュードントインターンシップの全てを実施した。坂戸市教育委員会と連携して行うチュードントインターンシップは、坂戸市内の小学校に6名、中学校に13名が授業や放課後指導の補助にあたった。
151	城西大学	Josai Univ Football Festival	令和4年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	「城西サッカー部を知ってもらうために、地域の方を招待しサッカーを楽しんでもらう。我々の取り組みを理解してもらえよう、常に真摯に行動し、おもてなしできるようにする。」をミッションにサッカー部内の地域貢献部局が企画・運営の中心となり、学生が打ち合わせを重ねて実施した。
152	城西大学	坂戸市サッカー協会との連携 「坂戸市少年サッカートレセン活動」	令和4年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			坂戸市の少年サッカーチームから選抜された選手を集めてのトレーニング。定期的に行っている活動を今回は城西スポーツフィールドにて、城西大学サッカー部員による指導を行なった。
153	城西大学	Amazon坂戸FCとの連携 地元食材を使用したメニュー考案	令和4年度	産業界（企業等）			城西大学薬学部医療栄養学科で管理栄養士を目指す学生と管理栄養士資格を有する大学院生がAmazonとコラボし、地元食材を使用したメニューを考案した。
154	城西大学	こども応援ネットワーク埼玉事業 「Happy - lucky - café」	令和元年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		小学生の放課後の居場所づくりとして、城山公民館を会場に最寄の坂戸市立城山小学校が情報周知に協力のもと、こども食堂、学習支援教室、プレーパークを運営している。
155	城西大学	坂戸・鶴ヶ島消防組合との連携 大学生機能別団員の活動	平成29年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		坂戸市が市内3大学と締結している「災害時における協力体制に関する協定」に基づき、課題である平日昼間における大規模災害時の団員不足を解消する方策として、大学生が地震などの大規模災害時において、避難所運営のサポートに任務を限定して活動し、基本団員が一人でも多く災害現場で活動できる体制を作り、消防力の強化を図るため、大学生機能別団員が結成された。 2022年度は36名の学生が登録し、普通救命講習などの研修や大学の防災訓練に参加し活動した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
156	城西大学	坂戸・夏よさこい AIカメラの活用およびイベント経済波及効果ツールを使った街づくり「目指せ！経済波及効果一億円」	平成30年度	埼玉県	坂戸市北口商店街		坂戸・夏よさこい実行委員会が掲げる「経済波及効果一億円」に関し、経済波及効果の算出に協力した。経営学部の「まちづくり」受講生などのべ350名が、来場者にアンケートを行い、観光客数や観光客1人当たりの消費額など算出に必要なデータを収集する。そのデータを算出・分析し、経済波及効果を算出し、主催者や出店者に消費支出の増加を促すためのアドバイスを行う。 坂戸・夏よさこいでは、イベント開催前に経済波及効果の目標値を1億円と定め、開催後に算出する実際の経済波及効果との差分から効果や課題を可視化し、今後の商店街の活性化に活かしていく。なお、経済波及効果の算出にあたっては、埼玉県産業連関表による経済波及効果分析ツール（県統計課が作成）を使用する。 なお2022年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で「坂戸・夏よさこい」自体が中止となったため、実施することができなかった。
157	城西大学	MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展	平成14年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		「MOA美術館児童作品展」は、子どもたちが興味関心を持ったことをひとりひとりの感性で絵に表現していくことで、「思いやりの心」「豊かな心」を育てることを目的に1989年よりMOA美術館（静岡・熱海）が主催となって実施している児童作品展で、「坂戸・鶴ヶ島児童作品展」は、その全国展に先駆けて行われる地域展となる坂戸市、鶴ヶ島市内の小学生たちの絵画作品展で2002年より行っている。 2015年より学生ボランティアとしてこの展覧会運営に参加し、子どもたちの創作活動への支援を地域ボランティアとともに取り組んできた。 2021年度より会場を坂戸市文化会館から城西大学水田美術館へ変更し、会期も2日間から3週間程度と長く設けて開催する事となった。2022年度に関しては、美術館が長期休館中ではあるものの、本学学園祭（「高麗祭」）の2日間だけ本展を開催する事が可能となり、学生ボランティア、そして地域ボランティアの方々と連携を取りながら、開催運営にあたった。本展の応募作品数は213点で、そのうち21点が入賞作品として選ばれた。なお、2日目の10月30日には、入賞者の表彰式も開催した。
158	城西大学	鶴ヶ島市富士見地域支え合い協議会との連携 高齢者スマホ教室	令和4年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			経済学部勝浦ゼミと鶴ヶ島市富士見地域支え合い協議会との連携で高齢者を対象としたスマホ教室を開催。3Gから5Gへの移行に伴いスマホを購入した高齢者たちが活用方法についてよくわからずに困っているという声に応えたもの。両日とも35人の高齢者が参加を希望され、それ以上の人数の勝浦ゼミ生がマンツーマンでアシスタントを担った。
159	城西大学	鶴ヶ島市立図書館との連携事業	令和2年度	自治体（行政）			鶴ヶ島市立図書館協議会への出席を通じて図書館運営に関する諸計画の立案、図書館運営に関する調査・研究を行ったり、鶴ヶ島市立図書館を使った調べる学習コンクールの審査員を通じた連携を行っている。 2022年度は本学の関図書館長が審査委員長を務めた。
160	城西大学	NPO法人鶴ヶ島スポーツ協会との連携事業	令和4年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			鶴ヶ島市内在住・在学の中学生を対象に、城西大学硬式野球部の指導により、子供たちの野球技術向上を図る。また、競技レベルの高い大学生との触れ合いを通じ、その感動や経験からスポーツの素晴らしさを体験してもらうため「ステップアップ研修会「野球教室」」を実施した。また、鶴ヶ島市民体育祭「Enjoy Sports Meeting」へのボランティアとして陸上競技部が参加した。
161	城西大学	毛呂山町との連携事業 毛呂山町ビジネスコンテスト	令和3年度	自治体（行政）			若者が「使いたい」「働きたい」と思えるビジネスを毛呂山町につくることを目的としたビジネスコンテストの一次審査において、会場を提供し、経営学部のゼミが当日の進行を通じて運営に協力した。
162	城西大学	総合型スポーツクラブ「JAWS」		自治体（行政）			毛呂山町と城西大学を結び、スポーツ文化の創造と、地域の活性化を目的とした総合型地域スポーツクラブの教室運営を陸上競技部、サッカー部、女子ソフトボール部が担当している。
163	城西大学	毛呂山町立光山小学校との連携事業	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			地域交流事業として毛呂山町立光山小学校の児童が、城西大学の構内を見学したり、理学部化学科と水田美術館での学びの体験プログラムに参加したり、留学生との交流をおこなったりしたなどの事業を実施した。
164	城西大学	毛呂山町のお店を元気にする楽しいプロジェクト	令和4年度	産業界（企業等）			毛呂山町西大久保の約800番地から1100番地周辺に点在する、スイーツ店、飲食店、各種販売、いちご農園、ゴルフ練習場、釣り堀等の各種施設に「点在型商店街」という新たなコンセプト名を付ける。この「点在型商店街」に対して総合的に低コストでのHPや動画作成などを行い、結果として一定期間経過後に、売上金額の向上率等をKPIとして効果測定する。医療栄養学科ではターゲット店に対して健康に良いスイーツや、新しい販売商品の提案などを行い、付加価値を付けていく。
165	城西大学	毛呂山町延命寺との連携 書初め会での指導	令和4年度				書道サークルの学生が延命寺において、地域の小中学生の書初め会での指導を行った。書初めの指導の後、冬休みの宿題や自習課題の学習支援も実施した。
166	城西大学	越生町との連携協力	令和元年度	自治体（行政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。
167	城西大学	武蔵越生高校との連携 総合探究ゼミ 城西大学発表会	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			武蔵越生高校の総合探究において校内から選抜されたゼミ6ゼミ（25名）が城西大学で発表会を実施した。審査員として城西大学の学生と教職員が参加した。
168	城西大学	越生町 梅凜カフェとの連携事業	令和3年度	産業界（企業等）			越生町山口農園内のシェアカフェ「梅凜カフェ」にて医療栄養学科の学生たちがワンデイカフェの運営を実施する

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
169	城西大学	ときがわ町との連携協力	令和元年度	自治体（行政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。 特定健診時の栄養食事調査と健康教育、広報ときがわへの毎月の「城西大学通信」の執筆、食を語る会（食や健康に関わる専門職種の方の研修会、Tokigawa Motion（フレイル予防対策）を実施した。
170	城西大学	道の駅おがわまちとの連携 小川町観光プロモーション活動	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		現代政策学部において、小川町の観光の魅力を発信するための創作活動・発信を行う。小説、映像、音声等をSNS等を利用し配信している。
171	城西大学	株式会社木下製館、小鹿野町との連携 学部横断型産官学連携教育プログラムによる地域食材を用いた食品の開発	令和4年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		株式会社木下製館、小鹿野町、薬学部、経営学部において学部横断型産官学連携教育プログラムにより埼玉県小鹿野町の特産品「秩父黄金かぼす」を使ったようかんを開発した。開発の過程において、各学部の学生から小鹿野町役場産業振興課ならびに株式会社木下製館に向けたプレゼンテーションを実施した。
172	城西大学	リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越実行委員会との連携事業	平成21年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022川越のイベント運営やポスター作製および掲示、参加者の栄養相談をおこなった。小江戸川越ハート♥ウォーク事業に関するコース・記念品デザイン、歩行時の消費エネルギー量と食品目安量表、啓発資料を作成・提供した。チャリティに繋がるセルフウォークリレーにも参加した。
173	城西大学	私立叡明高等学校との連携 図書館学生アドバイザーと私立叡明高等学校生との協働展示	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			本学図書館学生アドバイザーの活動経験を活かし、「SDGs」と「新入生へのおすすめ本」をテーマに高校生とのコラボレーションによる図書館の展示とポップ作成を行った。
174	城西大学	イオンモール浦和美園店との連携 「うららか広場 ～イオンモール浦和美園から広がる健幸の輪～」	令和4年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	産官学連携による健康とスポーツのイベントとして有資格者による本格的な測定会や専門の研究者による講演・体験イベント「うららか広場 ～イオンモール浦和美園から広がる健幸の輪～」に「ロコモを知ろう」「食育折り紙、食育かるた大会」「健康レシビリーフレット」「みんなで歌おう」の4プログラムを実施した。
175	城西大学	「浮世絵講座」	令和4年度	産業界（企業等）			学内工事に伴う長期休館中のイベントとして、浮世絵所蔵館という特色を活かし浮世絵の魅力を発信する活動とすべく、「役者絵」「美人画」「名所絵・風景画」「武者絵」「戯画」「おもちゃ絵」を主要テーマに、各専門家をお招きしてお話頂く「浮世絵講座」を企画。9月～12月まで計5回開催した。
176	城西大学	ローカルヒーローによる地域活性化事業	平成27年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	経営学部において地域振興、福祉の新しい活動として注目されるローカルヒーローを研究するゼミ活動として、自治体、自治会、産業界が主催するイベント等でショーの運営を行う。
177	城西大学	卒業研究を通じた連携	平成28年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	自治体や地域団体、産業界からの依頼を受け、環境DNAを用いた生息地調査を行っている。
178	尚美学園大学	大学によるリカレント教育（開放授業講座）	平成22年度	自治体（行政）			埼玉県と県内大学が協力して、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるように開放。 「R4年度コロナにより中止」
179	尚美学園大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			「彩の国大学コンソーシアム」加盟大学間における単位互換。 「R4年度コロナにより中止」
180	尚美学園大学	川越大学間連携講座	平成24年度	自治体（行政）			川越市との連携講座。 川越市民対象の公開講座で、毎年1講座実施している。 「R4年度コロナにより中止」
181	尚美学園大学	川越市スクールインターシップ	平成27年度	自治体（行政）			川越市教育委員会と川越市内近郊の大学が連携し、川越市内小・中学校を対象に教職課程に在籍する大学生を学校に派遣し、学習指導の支援や部活動支援を通して、児童生徒の学力及び体力の向上を図るとともに、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目指す。 令和4年度は、小学校：2校で実施した。
182	女子栄養大学	鴻巣市でエディブルフラワーを使用したメニュー開発	令和元年度	自治体（行政）			連携協定を締結している日本薬科大学との「薬食同源プロジェクト」の取り組みの一環として、両大学の学生考案によるエディブルフラワー（食用花）を使用したメニューを期間限定で提供。「花の町 鴻巣市」を食用花で盛り上げようとの想いから共同でメニュー開発を行った。
183	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			「昭和100年大学」元気健康学部・健康のための教養学科の講師依頼があり、上福岡公民館で「高齢者の栄養学」について、講義を行った。60代、70代の方を中心に約60名が参加。
184	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			富士見市主催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業「セルビア語&セルビア料理教室」がふじみ野駅前「ピアザ☆ふじみ」で開催され、調理補助として協力。市内在住の20名が参加。セルビア共和国の家庭料理4品を作り、交流を図った。
185	女子栄養大学	鳩山町との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			鳩山町食生活改善推進員21名が研修のため坂戸キャンパスを来訪。連携事業の一つとして、「講話・学食体験」を実施。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
186	女子栄養大学	埼玉縣信用金庫主催「さいしん夏休みキッズスクール」に参加	令和元年度	産業界（企業等）			埼玉縣信用金庫本店（熊谷市）で開催された「さいしん夏休みキッズスクール」において、ものづくり体験の授業「マジパン細工」の講師を務めた。ものづくり体験等を通じて、みんなで楽しくお金に関わる知識を学ぶことを目的とした同金庫主催の企画に参加するのは、今年で3回目。
187	女子栄養大学	川越市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			川越市中央公民館にて、市内の小学生が参加した「こどもクッキング教室」に協力。
188	女子栄養大学	埼玉県産農畜産物を使用したメニュー開発	令和元年度	自治体（行政）			埼玉県・全国農業協同組合連合会埼玉県本部・公益財団法人埼玉県学校給食会との協力により、県産農畜産物を使用した3食餃子「豚de野彩（とんでやさい）餃子」を開発。県産農畜産物の魅力を伝えるとともに消費拡大を目的としたもので、食文化栄養学科学者が参加し、考案。
189	女子栄養大学	富士見市オリパラ1年前イベントに協力	令和元年度	自治体（行政）			富士見市でオリンピック・パラリンピック1年前イベントが開催され、市のホストタウンとして登録されたセルビア共和国のPRとして、セルビア料理の試食提供と販売等を行った。
190	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			ふじみ野市の開催する高齢者向けの学びの場である「昭和100年大学」にて元気健康学部・健康のための教養学科「高齢者の栄養学」を開催。「65歳からの体重コントロールと食生活」について、講義を行った。
191	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			春日部市保健センターで市民に向けた「体験型栄養セミナー ～バランス満点お弁当～」が開催され、「3・1・2弁当箱法」の講義と演習を行った。また、バランス満点弁当のメニューも監修した。
192	女子栄養大学	埼玉県「フードロス対策講座」に参加協力	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		「そごう大宮店 Eco Weeks」における「フードロス対策講座」に参加協力。実演を交え、フードロスを削減するレシピ、調理方法、食材の保存方法を紹介。
193	女子栄養大学	富士見市ふるさと祭りに参加	令和元年度	自治体（行政）			富士見市ふるさと祭りの富士見市ブースにおいて、市のホストタウンであるセルビア共和国のPRとしてセルビア共和国の料理、サワーチェリーケーキ・ラズベリーケーキ・ココナッツボール・セルビアコロッケの販売を行った。
194	女子栄養大学	三芳町産「みよし野菜」を使用したレシピの試食会	令和元年度	自治体（行政）			三芳町産の「みよし野菜」を使用した「癒しのレシピ」の試食会を行った。「みよし野菜」の周知やブランド化を目的に活動している「みよし野菜ブランド化推進研究会」と「食料・地域経済学研究室」のゼミ生が協力して作りあげた。学生たちは、同町の圃場や野菜販売施設を実際に見学し、農家や町の人たちの意見を取り入れながら、ハヤシライス、季節の野菜の天ぷら、米粉のピザをメインとした3つのレシピを考案した。
195	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			・春日部市民文化会館で開催された「埼玉地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会」で「学校教育における食育のあり方」について講演を行った。埼玉地区教育委員会連合会会員、同地区内の指導主事・事務局職員、北埼玉地区教育委員会連合会所属教育長の約90名が参加。 ・春日部市中央公民館講堂で開催された「保育講座」で、「子どもの味覚と食育～子どもにとっての食の豊かさを考える～」について講演を行った。市内保育施設に勤務する保育士の方々を中心に約200名が参加。
196	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			富士見市健康増進センターが主催となり、ふじみ野駅前「ピアザ☆ふじみ」にて「親子de簡単手作りおやつ教室～クリスマスのお菓子を作ろう♪～」と「手作りおせち料理教室」の2つの講座が開催され、講師として参加。
197	女子栄養大学	国立女性教育会館 創立記念週間イベントに協力	令和元年度	産業界（企業等）			連携先である国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）の創立記念週間イベント（NWECAニバーサリーウィーク）が開催され、本学とコラボしたイベントが開催された。 ①館内レストランにて本学カフェテリア監修のランチを提供 ②館内売店にて「ブランタン」の焼き菓子・クッキーを販売 ③ミニ講義「成長期に食べたいおやつは？」の開催
198	女子栄養大学	「川越市場まつり」に出展	令和元年度	産業界（企業等）			連携先である川越総合卸売市場株式会社が主催する「川越市場まつり」に出展。焼き菓子等の販売、料検5級問題チャレンジを行う等の学園の広報活動を行った。
199	女子栄養大学	鶴ヶ島市チャレンジショップで学生考案メニューを提供	令和元年度	自治体（行政）			鶴ヶ島市チャレンジショップ「つるカフェ」にて、期間限定の地域振興カフェ「IRODORI CAFÉ」をオープンし、秩父出身の食文化栄養学科4年生が鶴ヶ島市と秩父地域のコラボランチプレートを提供した。
200	女子栄養大学	三郷市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			三郷市内小学校での「令和元年度埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会」において「教育と食育の関わり」について講演
201	女子栄養大学	鳩山町との連携事業 はとやま食エコレシピコンテスト	令和2年度	自治体（行政）			鳩山町主催、鳩山町教育委員会共催の「はとやま食エコレシピコンテスト2020」の審査員及び食エコレシピ集の監修に調理学研究室(大学)の教員が協力。
202	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 食品ロス削減レシピの作成	令和2年度	自治体（行政）			おうちで実践できる食品ロス削減レシピの作成に、調理学研究室（短大）の教員が協力。レシピは、4つのテーマ（「時短」・「家事負担軽減」・「食費削減」・「健康」）に沿って作成。食品ロス削減月間の10月に埼玉県のホームページでレシピを公開。
203	女子栄養大学	埼玉県庁×そごう大宮店 【おうちでできるフードロス対策レシピ】	令和2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		おうちでできるフードロス対策レシピの作成に、調理学研究室（短大）の教員が協力。食品ロス削減月間の10月、そごう大宮店のホームページで、レシピを公開。
204	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 「彩の国学校給食研究大会」	令和2年度	自治体（行政）			埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、（公財）埼玉県学校給食会が主催した「彩の国学校給食研究大会」で、「教育と食育との関わり」について、講演。学校給食担当者や学校給食共同調理場の職員、公立小・中・特別支援学校・学校給食実施高等学校の教職員、約150名が参加。
205	女子栄養大学	埼玉県・一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会主催 令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医科学講習会	令和2年度	自治体（行政）			令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医科学講習会において、栄養生理学研究室（大学）の教員が「アスリートの栄養・食事」の演題で、90分間、オンライン上で講演。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
206	女子栄養大学	三芳町との連携事業 三芳産の野菜たっぷり弁当を考案	令和2年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携し、地元野菜をふんだんに使ったお弁当づくりに食料・地域経済学研究室の教員が指導のもと、学生が協力。お弁当開発のコンセプトは、「おいしいみよし野菜をたくさんの人に食べてほしい!」。2種類（主菜が2つのガッツリ系弁当&主菜が一つのヘルシー系弁当）考案。販売日・数量限定で、三芳町文化会館内「福祉喫茶ハーモニー」で販売された。
207	女子栄養大学	富士見市との連携事業 学校給食の新メニューの考案	令和2年度	自治体（行政）			不足しがちな栄養素をおいしく摂るため、学校給食の新メニューの作成に、給食・栄養管理研究室の教員が指導のもと、学生が協力。新メニューは、特に不足しがちな鉄分の補給を目的に、鉄分を多く含むレバーチップや小松菜を使用。市内の小・中学校で新メニューが提供された当日は、メニューを考案した学生も調理を手伝った。
208	女子栄養大学	富士見市との連携事業 食育動画講座「パン作り教室」の作成に協力	令和2年度	自治体（行政）			富士見市食育推進事業「パン作り教室」の動画講座で、専門学校の教員が講師を務めた。対面での教室開催予定から市民（申込制）が動画（富士見市撮影・編集）を視聴できる形へと変更しての実施。
209	女子栄養大学	三郷市との連携事業 簡単健康乳幼児レシピと調理動画の作成に協力	令和2年度	自治体（行政）			乳幼児の食生活の重要性を考え、保護者が手軽で簡単に作ることができる健康な乳幼児向けのレシピと調理の動画の作成に、給食システム研究室（大学）の教員指導のもと、学生がレシピ考案、離乳食の試作、撮影等に取り組んだ。レシピと調理の動画は、三郷市のホームページで公開。
210	女子栄養大学	(株)ベルクとの連携事業 栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを監修	令和2年度		産業界（企業等）		(株)ベルクが製造・販売する栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修。
211	女子栄養大学	コープデリ生活協同組合連合会との連携事業	令和2年度		産業界（企業等）		コープデリ生活協同組合連合会の販売する健康をテーマにした「からだ健やかシリーズ」のお弁当メニューを監修
212	女子栄養大学	ホンダ開発(株)との取組 同社が運営する社員食堂で本学監修健康フェアを実施	令和2年度		産業界（企業等）		本学園学生食堂の管理栄養士が監修した学食メニューを、ホンダ開発(株)が運営する社員食堂で、提供する健康フェア「からだよろこぶ健康ごはん」を期間限定で実施。
213	女子栄養大学	(株)国太楼との取組 同社の製品2種を監修	令和2年度		産業界（企業等）		(株)国太楼の製品「GABA配合ポット用掛川茶」及び「GABA配合ポット用ルイボスティー」の2種を栄養科学研究所が監修。量販店及びネットで販売予定。
214	女子栄養大学	ふじみ野市 昭和100年大学 「高齢者の実践栄養学」で講演	令和3年度	自治体（行政）			ふじみ野市「昭和100年大学」元気健康学部「健康のための教養学科」で本学教員が「高齢者の実践栄養学」の演題で講演
215	女子栄養大学	富士見市食育動画「親子で楽しくお菓子作り教室」の作成に協力	令和3年度	自治体（行政）			夏休みに親子で簡単にお家で作ることができる「お菓子作り」の動画作成に協力、専門学校教員が講師を務めた。
216	女子栄養大学	「埼玉県SDGsパートナー」に登録	令和3年度	自治体（行政）			埼玉県が創設した「埼玉県SDGsパートナー」登録制度に登録。埼玉県HPに本学の「SDGs達成に向けた宣言書」が公開
217	女子栄養大学	鶴ヶ島逸品会と埼玉県産食材を使用したフレイル予防メニューを紹介	令和3年度	自治体（行政）			埼玉150周年・鶴ヶ島市市制施行30周年を記念して、鶴ヶ島逸品会と県内四大学（日本薬科大学・城西大学・明海大学・本学）がコラボした埼玉県産食材を使用した「フレイル予防」をテーマとしたメニューを紹介
218	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking講座(洋食編)」の作成に協力	令和3年度	自治体（行政）			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座(洋食編)」の動画作成に協力。動画は富士見市HPにて一般公開。
219	女子栄養大学	(株)ヤオコーと「『減塩』健康生活提案の取組」を実施	令和3年度		産業界（企業等）		包括連携協定を締結している(株)ヤオコー店舗において、『減塩』健康生活提案の取組を実施
220	女子栄養大学	(株)ヤオコーで埼玉150周年記念『地産地消弁当』を発売	令和3年度		産業界（企業等）		本学、(株)ヤオコー、埼玉県、JAグループが協働して、埼玉県産食材を使用した弁当を企画・開発し、彩りや栄養バランス等の面から本学学生が助言した「地産地消弁当」がヤオコー店舗にて期間限定で発売。
221	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和3年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携し、地元野菜をふんだんに使った「みよしの野菜癒しのレシピ」の監修業務に学生が協力。教員指導のもと、学生19名が4チームに分かれ、弁当と総菜を考案。JAいるま野農産物直売所「あぐれっしゅふじみ野」で期間限定で販売。
222	女子栄養大学	桶川市「スポーツ・健康に関する研修会」で講演	令和3年度	自治体（行政）			桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」にて本学教員が「スポーツ栄養学、強くなる小学生の食事戦略～旬の食材を使った身体を作る献立作成」の演題で講演。
223	女子栄養大学	秩父地域の特産品を使ったチーズケーキを考案	令和3年度	自治体（行政）			学生が卒業研究の一環で、地域振興の一助になればと。埼玉県秩父地域の1市4町（秩父市、横瀬町、皆野町、小鹿野町、長瀬町）の特産品を使ったチーズケーキを考案。（一社）秩父地域おもてなし観光公社、お菓子な郷推進協議会との協働で商品化。
224	女子栄養大学	志木市主催「減らすソルトレシピコンテスト」で各賞を受賞	令和3年度	自治体（行政）			志木市主催の「減らすソルトフェスタ」内「おいしく減塩」をテーマとした「減らすソルトレシピコンテスト」にて本学学生が考案したレシピ6品が各賞を受賞。
225	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking教室(和食編)」の作成に協力	令和3年度	自治体（行政）			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座(和食編)」の動画作成に協力。動画は富士見市HPにて一般公開。
226	女子栄養大学	鳩山町主催「はとやま食エコレシピコンテスト」で特別賞を受賞	令和3年度	自治体（行政）			鳩山町主催の「はとやま食エコ推進事業」内「はとやま食エコレシピコンテスト」にて本学学生2名が特別賞を受賞。また、当コンテスト審査員長を本学教員が務めた。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
227	女子栄養大学	埼玉県産小麦「ハナマンテン」を使ったパンレシピを考案	令和3年度	自治体（行政）			学生が卒業研究の一環で、JAいるま野管内で生産された埼玉県産小麦「ハナマンテン」を使ったパンレシピを考案。JAいるま野YouTubeチャンネルでレシピ動画が公開。
228	女子栄養大学	富士見市学校給食の新メニュー開発に協力	令和3年度	自治体（行政）			富士見市学校給食センターとの食育連携事業で地場産米「彩のきずな」を活用した学校給食新メニュー開発に学生が協力。2022年1月28日。富士見市内全小中学校の給食で提供。
229	女子栄養大学	鶴ヶ島産いちご100%シロップ『鶴苺』を使ったレシピ考案	令和4年度	自治体（行政）			つるがしま逸品会、鶴ヶ島市とのコラボ企画で、本学食文化栄養学科の学生を対象に、鶴ヶ島市産いちご100%シロップ『鶴苺』を使ったメニューアイデアコンテストを開催。学生たちのレシピを参考にした料理がつるがしま逸品会の13の採用店舗で提供された。
230	女子栄養大学	三郷市健康づくり講演会で講演	令和4年度	自治体（行政）			三郷市と健康づくりを進める会inみさとの共催による、三郷市健康づくり講演会で本学教員が「フレイル予防で心も体も若く・元気に」の演題で講演を行った。
231	女子栄養大学	富士見市食育動画講座「女子栄養大学Cooking～野菜たっぷりメニュー編～」作成の協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市との取組として、本学の学生食堂で提供されている定食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking教室～野菜たっぷりメニュー編～」の動画撮影に本学駒込キャンパスカフェテリアの管理栄養士が講師を務めた。
232	女子栄養大学	桶川産梨を使用したスイーツを製造・販売	令和4年度	自治体（行政）			駒込キャンパス菓子工房プランタンにて、桶川市の梨を使用したスイーツ（ゼリー、生パウンドケーキ）を開発し、製造、販売した。
233	女子栄養大学	富士見市食育推進事業「野菜を食べよう！親子パン教室」に協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市との食育推進事業の取組として「野菜を食べよう！親子パン教室」が開催され、本学教員が講師を務めた。市内在住の小学生と保護者を対象に応募の中から4組が参加し、野菜を使った2種類のパン（じゃがいもとウインナーのチーズパン・フラメンクーシュ）作りを体験。
234	女子栄養大学	富士見市国際交流フォーラム2022「セルビアフェスタ」に参加協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市で開催された国際交流フォーラム2022「世界へのとびら」において同市とセルビア共和国シャバツ市との姉妹都市提携40周年を記念した写真展やセルビア雑貨の販売するセルビアフェスタが行われ、本学教員とゼミ生が参加協力。ゼミ生が作ったセルビア産ラズベリーを使用したラズベリーケーキ、本学菓子工房プランタンの製造した「はちみつのマドレーヌ」を来場者にプレゼントした。
235	女子栄養大学	比企のらぼう菜を使ったメニューを考案・研究発表	令和4年度	自治体（行政）			本学食文化栄養学科の学生が「伝統野菜のらぼう菜による比企地域の振興」をテーマに卒業研究として「のらぼう菜」を使ったレシピを考案、商品の開発、研究発表をした。
236	女子栄養大学	桶川市男女共同参画セミナー「男性料理教室」に協力	令和4年度	自治体（行政）			桶川市の主催する男女共同参画セミナー「男性料理教室」において本学教員が講師を務め、学生が参加者のサポートをした。男性10名が参加。（メニューは「ハンバーグきのこソース 温野菜添え」・「ミネストローネスープ」・「きゅうりのリボンサラダ」・「乾パンdeティラミス」）
237	女子栄養大学	スーパー「ベルク」の弁当・スイーツを考案	令和4年度		産業界（企業等）		㈱ベルクが製造・販売するお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修の他、本学食文化栄養学科の学生が惣菜（「からだやさしい秋やさしい御膳」、「からだやさしい冬のパーティーボックス」）、スイーツ（「ていりみすばるふえ」、「ホットろーりフォンダンショコラ」、「宇治抹茶ときなこの和わっふる」）を考案、ベルクにて販売された。
238	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和4年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携して、三芳町産野菜を使用した「みよし野菜癒しのレシピ」を開発。食文化栄養学科の学生が弁当2種「和ごころ弁当」・「よりどりみよしのまんぷく弁当」と惣菜「スイートポテトサラダ」を考案。三芳町立中央公民館での試食会においてメニューの説明、弁当と惣菜の披露を行った。弁当、惣菜はJAいるま野農産物直売所「あぐれっしゅふじみ野」と三芳町文化会館内にある福祉喫茶ハーモニーにおいて販売された。
239	女子栄養大学	小川町のプチギフトを考案・販売	令和4年度	自治体（行政）			食文化栄養学科の学生が地元商店、農家、観光案内所と協働し小川町のプチギフト「Ogawa's Cookies & Tea Set」（おからクッキーとカモミールティー）、「ギフト用元祖太田ホルモン辛いたれおおよび販売促進ツール」を考案した。商品はマルシェおがわまち、「観光案内所むすびめ」で販売された。
240	女子栄養大学	桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」で講演	令和4年度	自治体（行政）			桶川市の桶川市役所内会議室にて、令和4年度桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」が開催され、本学教員が「免疫力を高め、強い体をつくる」の演題で講演（「免疫について」・「免疫力を高め、強い体をつくるポイント」・「強い体を作るための食事のポイント」）を行った。桶川市スポーツ少年団に所属する児童の保護者の他38名が参加した。
241	女子栄養大学	穂と山町主催「はとやま食エコレシピコンテスト」で特別賞を受賞	令和4年度	自治体（行政）			鳩山町の「はとやま食エコ推進事業」の取組のひとつである、食エコなアイデアレシピを募集する『はとやま食エコレシピコンテスト』に本学より実践栄養学科の学生5名が応募し、その内の1名が特別賞を受賞した。また、当コンテストの審査員長を本学教員が務めた。応募レシピの中から『女子栄養大学特別賞』を選出し、計量カップ・スプーン・ヘラのセットと書籍『新・こどもクッキング』（本学出版部発行）が受賞者に贈呈された。
242	女子栄養大学	久喜市主催「第8回クッキー甲子園」コンテストに協力	令和4年度	自治体（行政）			久喜市主催による『第8回クッキー甲子園』コンテストにおいて本学教員が審査員を務めた。5市町より6校の高等学校（北本高校、庄和高校、久喜北陽高校、久喜高校、昌平高校、鴻巣高校）が参加した。
243	女子栄養大学	富士見市食育動画講座「女子栄養大学Cooking～人気の副菜編～」作成の協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市との取組として富士見市文化施設（ピアザ☆ふじみ）の食育推進室にて、本学の学生食堂で提供されているメニューを紹介する「女子栄養大学Cooking教室～人気の副菜編～」の動画撮影に本学駒込キャンパスカフェテリアの管理栄養士が講師を務めた。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
244	女子栄養大学	富士見市学校給食新メニューの開発に協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市学校給食センターとの食育連携事業として「富士見市施行50周年記念地産野菜を使用した学校給食メニュー」の開発に実践栄養学科の学生が協力し、2023年1月31日、富士見市内17校の小中学校に学校給食として提供された。（ごはん、牛乳、野菜たっぷり味噌汁（富士見市隣の三芳町産小松菜入り）、かぶとひき肉のトロトロあんかけ（市内産かぶ入り）、れんこんの彩りサラダ、富士見いちごゼリー（市内産いちご入り））
245	女子栄養大学	秩父地域の特産品を使った新スイーツを学生が考案	令和4年度	自治体（行政）			本学食文化栄養学科の学生が卒業研究の一環で、地域の一般社団法人、地元企業、農家の協力のもと、埼玉県秩父地域の食材を使用した地産地消のスイーツを開発した。開発したスイーツは1市4町の食材を12種使用した9種類のパウンドケーキで、本学駒込キャンパス菓子工房プランタンや地元商店で販売された他、地元の飲食店で提供された。
246	女子栄養大学	桶川市の特産品「紅花」を使ったレシピを考案	令和4年度	自治体（行政）			本学食文化栄養学科の学生が、卒業研究の一環で、自身の地元である桶川市の特産品「紅花」を使った10のレシピを考案し、レシピサイトクックパッドに公開した。桶川市の協力のもと考案したレシピは「紅花のパエリア」、「薬膳中華スープ」、「紅花ゼリーと梨のコンポート」などで、市が発行する『広報おけがわ（令和5年3月号）』では考案レシピの一部が紹介された。
247	駿河台大学	市民のための無料法律相談（飯能市、入間市）	平成6年度	自治体（行政）			飯能市および入間市の市民相談への貢献および本学学生に対する法学実地教育の機会として、両市との共同開催による市民のための無料法律相談を行っている。平成17年度には飯能市と、平成18年度には入間市と、それぞれ法律相談に係る協定も結んでいる。
248	駿河台大学	市民の大学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	平成10年度	自治体（行政）			本学教員や各分野の識者・専門家を講師に迎え、毎年4テーマをそれぞれ4回連続の講座で取り上げている。毎年1テーマは、飯能市教育委員会から推薦された講師で講座を展開している。
249	駿河台大学	地域インターンシップ	平成15年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣自治体・商工団体・企業等にインターンシップ実習の受入を依頼し、協定を締結したうえで、5日間から2週間ほど受け入れていただいている。学生は、実習にあたって、事前研修を行い、実習後、報告会で実習の成果を発表する。最終的には、「地域インターンシップ/インターンシップⅠ」という科目名で単位が認定される。
250	駿河台大学	森林環境プロジェクト（「駿大の森」百年協定に基づく飯能活性化）	平成18年度	自治体（行政）			飯能市と森林環境プロジェクトの実施に関する協定を平成18年度に締結した。今後100年間を目途として、市と大学が市有林における森林育成活動を通して、森林の維持・保全、森林文化の理解・振興、地域活性化を実現することを目的としている。市は大学に対して市有林を無償で利用に供するほか、必要な支援を行っており、大学は無償供与を受ける市有林の一部を「駿大の森」と称し、そこでは森林育成作業の体験学習や、農山村地域の生活と文化に関するフィールド学習などを実施する。 また、大学は、敷地内の「駿大の里山」において、市内の小、中学校の児童、生徒を受入れ、飯能市「水と緑の学習推進事業 駿河台大学学習林活用実習」に協力している。 R4はコロナのため一時中止。
251	駿河台大学	学生参加による「まち」活性化プロジェクト	平成18年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣地域を中心に商店街、企業団体等の地域活動を学生が体験学習し、コミュニケーション能力や社会性、現実的な職業観を涵養するとともに、地域社会の重要性を認識し、大学として地域の活性化及び共生を目指す。 令和4年度実施したプログラムは、「まちおこしイベント（飯能）」「環境保全活動」「地域を紹介する映像制作」「プランニングコンテスト」「ソニーミュージック連携講座」。
252	駿河台大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成19年度		産業界（企業等）		地域企業である飯能信用金庫と地域における産学連携活動を推進するため相互に協力している。地域社会の発展に貢献することを目的としており、事業内容としては、以下の事業について提携・協力を行っている。 （1）地域の経済及び企業経営に関する調査・研究 （2）地域振興活動推進への助言・指導 （3）地域企業へのインターンシップの促進 （4）大学における金融教育の促進 （5）地域教育機関における金融教育方法の共同研究 （6）その他産学連携活動に寄与する事項の推進 令和4年度は「輝け！飯能プランニングコンテスト」、地域活性化講演会、親子ミニ駅伝を開催。
253	駿河台大学	子ども大学はんのう	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	飯能商工会議所・飯能市教育委員会・飯能信用金庫と実行委員会を組織し、小学生が学校では学ぶことができないことを大学の教員や地域の専門家などが5日間にわたり授業を行う。
254	駿河台大学	飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		飯能市、飯能市体育協会と連携し、コーディネーショントレーニングの普及に関する活動を行うことにより、飯能市民の健康づくりと運動能力の向上及びコーディネーショントレーニングによるまちづくりに寄与することを目的に、協議会を設立。保育園児や小学生の体験会だけではなく、指導者育成を目的とするセミナーも開催している。
255	駿河台大学	おでかけフェスタ	平成26年度	自治体（行政）			親子や大人と子どもの交流を深め、子育てが楽しくワクワクすることを実感してもらうことを目的に、飯能市と連携し、本学を会場にプログラムを実施。学生も参加している。
256	駿河台大学	飯能市選挙サポーター	平成28年度	自治体（行政）			飯能市から任命された学生が、選挙での若者の投票率を上げるための活動を行う。
257	駿河台大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）事業	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学・短大で構成する地域連携プラットフォーム（TJUP）に参画。参加校は相互に、また、自治体、産業界とも連携・協力して、人口の減少、少子高齢化の進行、コミュニティの弱体化、地域の活力低下、産業・経済の後退など地域社会が抱える諸課題の解決に取り組み、地域の自立と持続的な発展に寄与することを目的に発足した。合同企業説明会など実施。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
258	駿河台大学	駿河台大学 健康講座	平成30年度	産業界（企業等）			埼玉石心会病院と連携し、「駿河台大学 健康講座」を実施。医療の専門家による講座を実施することにより、地域住民の病気や医療に関する知識を高め、健康増進に寄与することを目的としている。 R4はコロナのため一時中止。
259	駿河台大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			埼玉県の委託事業である中山間「ふるさと支援隊」を実施。飯能の里山資源を活用した「体験」を提供するアウトドア・スポーツ・ツーリズムを盛り上げる活動を進めている。
260	駿河台大学	駿河台大学オンライン公開講座	令和3年度	自治体（行政）			近隣自治体（入間市、所沢市、飯能市、日高市）の後援のもと、本学教員に加えて4市より講師派遣をしていただき、様々なテーマを取り上げた公開講座である。全6回、オンライン（Zoom）で実施。
261	駿河台大学	中学生社会体験チャレンジ	不明	中学校			生徒の校外授業の一環として、地域の事業所における社会体験を通じ、勤労の尊さや意義を学び、自立心をもって"生きる力"を身に付けることをサポート。 R4はコロナ禍のため一時中止。
262	駿河台大学	小学生社会科見学	不明	小学校			飯能市内小学校の社会科見学受入。
263	聖学院大学	上尾シラコバト住宅に関する協定に基く連携	平成26年度	自治体（行政）			埼玉県と締結した「特別県営上尾シラコバト住宅の共助による活性化促進に係る連携協定」に基づき、1名の学生が入居し、団地活性化の取組を実施。また、学生が入居したことにより「しらこぼと夏祭り」が再開され、留学生を含む入居学生が運営などに参加している。令和3年度に続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「しらこぼと夏祭り」は中止となった。
264	聖学院大学	アッピー応援隊	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		こども心理学科の学生が中心となり、上尾市のマスコットキャラ「アッピー」を上尾市内の保育所・幼稚園の子どもたちに親しんでもらう訪問活動を実施。令和3年度に続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、活動中止となった。
265	聖学院大学	大谷地区自主防災啓発事業	平成27年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		上尾市大谷支所、大谷地区自主防災組織連合会と連携し、年に1回情報交換も兼ねた防災講座を実施している。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和4年度のプログラムは12月17日(土)に実施された。
266	聖学院大学	福祉教育について考える会 ところの輪「ここ輪」	平成29年度	自治体（行政）			「ところの輪（通称：ここ輪）」は、精神保健福祉領域における福祉教育活動を行っている。「みんなで学ぼうメンタルヘルス、共に学ぼうリカバリーストーリー」を合言葉に、当事者の方々と一緒に学ぶことを大切にしながら、「誰もが住みやすい地域にしていこう」を目指し活動しており、行政の人権講演会の講師等として当事者とともに活動を行っている。令和4年度は9月12日（月）に伊奈町の人権講座においてオンラインによる講演を行った。
267	聖学院大学	上尾市立南中学校との連携事業	平成30年度	自治体（行政）	中学校		平成30年度より上尾市立南中学校との連携事業を実施している。令和4年度はSDGsに関する講義及び、本学学生によるワークショップと大学キャンパスツアーを行った。
268	聖学院大学	オンラインボランティア活動	令和2年度	保育園	NPO法人		コロナ禍におけるボランティア活動として、埼玉県内の保育園や子育て支援のNPOとオンラインで繋ぎ、こどもたちにレクリエーションを提供する活動を展開した。
269	聖学院大学	「基礎自治体マネジメント研究会」の開催	令和3年度	自治体（行政）			令和3年度より本学と包括連携協定を結んでいる上尾市、さいたま市、春日部市、桶川市、埼玉県比企管内8町村（川島町、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村）、岩手県釜石市の自治体職員の研修を目的とした、「基礎自治体マネジメント研究会」を発足させた。具体的には、多くの自治体において喫緊の課題となっている「組織の担い手たる人材育成」を支援する事を目的とし、協定を締結した自治体職員対象に定期的な研修プログラムを実施している。令和4年度は全10回の研修プログラムを開催した。
270	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づくNPO法人みのりとの連携プログラムの実施	令和3年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			令和3年度より地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的に「地域連携活動助成金」を設立。本助成金を通じて特定非営利活動法人みのり（上尾市）との連携に基づき、産・学・福連携によるコラボレーション商品の開発と広報について支援を行った。
271	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づくムーミン会との連携プログラムの実施	令和3年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			令和3年度より地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的に「地域連携活動助成金」を設立。令和3年度に続き、令和4年度も本助成金を通じて若者の就労支援を行っている、ボランティア団体ムーミン会（上尾市）との連携に基づき、生きにくさを抱えている若者や家族のプラットフォーム
272	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づくNPO法人埼玉映画ネットワークとの連携プログラムの実施	令和4年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			令和3年度より地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的とする「地域連携活動助成金」を設立。令和4年度は特定非営利活動法人埼玉映画ネットワーク（さいたま市浦和区）と連携して「地域で楽しむ映画講座」の実施について支援を行った。
273	聖学院大学	子ども大学あげお・いな・おけがわ		自治体（行政）			埼玉県教育局、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会、日本薬科大学と本学で組織された子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会の主催で実施している。小学校5～6年生までの違う学校・学年の子どもたちが大学のキャンパスで学ぶ子どものための大学で、教員が本学の特色を生かした学びの機会を提供している。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、令和4年度は計4回の講義プログラム（定員40名）が実施され、本学においてはそのうちの2回の講義プログラムが行われた。
274	聖学院大学	さいたま北商工協同組合との連携		産業界（企業等）			さいたま北商工協同組合に大学として会員加入。「さいたまKI-TAまつり」など地域活性化活動に学生が運営ボランティアとして参加。その他、組合会員企業とインターンシップの促進に関する覚書や、組合が管理する宮原駅近隣のコミュニティカフェ施設使用に関する覚書を交わし、連携を図っている。令和3年度に続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「さいたまKI-TAまつり」は中止となった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
275	聖学院大学	大学コンソーシアムさいたま		大学・短大 (大学・短大間連携)			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
276	聖学院大学	聖学院大学公開講座		自治体（行政）			さいたま市教育委員会・上尾市教育委員会と共催して、聖学院大学公開講座を実施している。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、オンラインでの実施となった。
277	西武文理大学	「入間川七夕まつり」の参加	平成25年度	自治体（行政）			関東三大七夕祭の一つに数えられる地元狭山市の「入間川七夕まつり」に学生ボランティアが多数参画している。やらいの出展のほか、クリーンステーションやインフォメーションカウンター等の支援、市内特別養護老人ホームからの参加者の車椅子移動支援等を行っている。令和4年度はやらいの出展のみ。
278	西武文理大学	サヤマdeシネマ	平成29年度	自治体（行政）			2017年に狭山市初の学生が作る上映会として立ち上がった「サヤマdeシネマ」は、毎年10月に有楽町・銀座地区で開催される東京国際映画祭にインターンとして参加してきた西武文理大学の学生が“西武文理大学のある狭山で私たちの東京国際映画祭を作りたい！”という一言からはじまった。第6回目も東京国際映画祭で上映された作品を中心として、学生が選定した。上映作品の監督トークショーや広報も学生が主体となり運営を行った。「サヤマdeシネマ」は地元・狭山を盛り上げるべく、狭山愛を育む地域に根付いたイベントを目指している。
279	西武文理大学	柏原小学校「防災教室」	平成25年度	地域団体 (NPO等)			狭山市立柏原小学校の4年生を対象とした「防災教室」に本学学生が対面で参加。「災害・防災とはなにか」「防災倉庫の中身」「手指消毒」の3部構成で、災害への備えと健康管理の重要性について小学生にクイズ形式の講演をした。
280	西武文理大学	さやま市民大学	平成22年度	自治体（行政）			狭山市が開設した「さやま市民大学」の「西武文理大学連携 ともにつくる健康づくり講座」について、カリキュラムの監修・講師を本学教員が担当している。新型コロナウイルス感染症の感染を予防する観点から、前年度に引き続き狭山元気プラザでの対面型講座は行わず、すべての講座をZoomアプリを使用したオンラインで実施した。
281	西武文理大学	彩の国大学コンソーシアム事業	平成14年度	大学・短大 (大学・短大間連携)			埼玉県西部に所在する彩の国大学コンソーシアムにおいて、生涯学習および地域社会への貢献を目的として平成14年から加盟大学が共同で公開講座を実施している。本学サービス経営学部の藤野 洋教授が「地域の環境・つながりを守る世界各地の動き－SDGs（持続可能な開発目標）を知らうー」との演題で講演を行った。
282	西武文理大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）事業	平成30年度	大学・短大 (大学・短大間連携)	自治体（行政）		埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学による、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校として参画。多様な大学・地域・地元企業との連携、協働により、地域社会が抱える課題解決に取り組み、高等教育による地域の活性化を目的とし、推進活動を実施。（単位互換・公開講座・学生募集・共同研究・地域連携の推進等） 令和4年度はTJUP地域交流委員会主催 オンライン講座、共同FD・SDの実施、「地域の魅力発信動画制作プロジェクト」の学生参加、東松山クリーンウォークの学生・教職員の参加、「TJUP報告会」の運営等に携わった。
283	西武文理大学	サービスイノベーションフォーラム「物産観光による地域振興」	令和4年度	産業界（企業等）			2023年3月「物産観光による地域振興」とのテーマでシンポジウム「西武文理大学サービスイノベーションフォーラム」を開催した。一般社団法人埼玉県物産観光協会との共催で行われ、対面とオンラインのハイブリッド配信を行った。
284	西武文理大学	埼玉県物産観光協会との連携	令和4年度	産業界（企業等）			学園祭「ホスピタル」にて県内企業の協力のもと埼玉県の物産及び観光を体験し、埼玉県の物産や観光の振興に役立てるイベントを行った。 ①本物の温泉を使った足湯の提供②地元狭山茶の体験会
285	西武文理大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成21年度	自治体（行政）			「埼玉県福祉部と西武文理大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、リカレント教育を実施した。令和4年度は5名の受講があった。
286	西武文理大学	高次脳機能障害講演会の実施	令和4年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			2023年3月「高次脳機能障害 家族の会さやま」の方を迎え、『見えない障害』として認識されている高次脳機能障害を身近に感じてもらうための講演会を実施した。
287	西武文理大学	ちちぶアンバサダー活動	令和4年度	地域団体			大学生や高校生に秩父地域の企業を直接取材し深く知ってもらうとともに、SNSからの学生目線の発信によって、より多くの人に秩父地域の企業を知ってもらうことをねらいとしている。本学から5名の学生が任命され、秩父の地元企業の取材・SNSによる報告を行った。
288	西武文理大学	老人福祉センター連携事業	令和4年度	地域団体			R4はコロナにより中止
289	西武文理大学	狭山市奥富地区まちづくり事業「地域の防災」	令和4年度	自治体（行政）			地元小学校の児童を対象に備蓄倉庫の中身についてクイズ形式の講演を行う。R4はコロナにより中止
290	西武文理大学	狭山市子育て支援センター子供フェスタの学生派遣	令和4年度	自治体（行政）			狭山市内で活動している子育て支援団体によるイベント。学生20名が参加し会場運営などを担った。
291	西武文理大学	さやまカルチャーフェスティバル	令和4年度	自治体（行政）			体験型イベント（ほうじ茶焙煎、抹茶アート、VR体験）、運営に協力した。
292	西武文理大学	市内中小企業等を対象にしたセミナーの開催	令和3年度	産業界（企業等）			SDGsをテーマに狭山市内の中小企業を対象としたセミナー（基調講演・ディスカッション）を開催した。 令和4年12月10日 セミナーテーマ「中小企業の経営をSDGs（持続可能な開発目標）から考える」
293	西武文理大学	埼玉県少子政策課企画・子育てムーブメント担当との連携事業	令和4年度	自治体（行政）			埼玉県と共催し、若い世代に結婚の現実を知ってもらうとともに、早期に自らのライフデザインを描くことの重要性を意識してもらうためのワークショップをて協力し開催した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
294	西武文理大学	災害と地域づくり	令和4年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	授業を通じて、日本や世界における災害に関する科学的知見・実態・対策を学び、防災・減災のための地域づくりにおける市民・専門職・行政の役割と機能について考察し、より安全で安心な地域を築く力を身につける。地元自治会、旅館経営者等をゲストに招き防災対策について講話いただいた。
295	西武文理大学	総合演習(産学PBL)	令和4年度	産業界（企業等）			授業を通じて、SDGをテーマに取り組む。SDGsを理解し、自分事として捉えることで自分に(自分たちに)出来ることを考える。その学びを4コマ漫画として、冊子にまとめることを目指す。授業にあたっては、信用金庫・民間企業などの協力を得て行った。
296	大正大学	社会共生学部公共政策学科フィールドワーク	令和2年度	自治体（行政）			R4はさいたま市、川口市、小川町が受入先となり、社会共生学部公共政策学科のフィールドワーク（インターンシップ）を実施している。
297	大正大学	としまMONOづくりメッセ参加企業・団体による春休みインターンシップ	令和2年度	自治体（行政）			R4はコロナにより一時中止
298	大正大学	地域創生学部地域創生学科地域実習	令和4年度	自治体（行政）			地域創生学部ではH28から地域実習を実施しており、R4は秩父市が受入先となり地域実習を実施している。
299	大東文化大学	東松山市きらめき市民大学、大学院への講師派遣	平成19年度	自治体（行政）			東松山市との協定に基づき、同市が運営する市民大学に講師を派遣しており、5講座に対して講師派遣を行った。
300	大東文化大学	「子ども大学ひがしまつやま」の開校	平成26年度	自治体（行政）			東松山市・大東文化大学で構成される実行委員会により、11月中旬から全4回に亘って、大東文化大学キャンパスならびに市内施設において、大学教員や専門家による講義を行った。
301	大東文化大学	東松山市スポーツ発見教室	平成30年度	自治体（行政）			東松山市内小学生を対象に、スポーツ科学科教員・学生によりスポーツの楽しさを体験する講座を6月、10月に実施した。
302	大東文化大学	高坂丘陵市民活動センター事業「生活習慣チェックとストレッチ教室」	令和4年度	自治体（行政）			健康科学科教員が市民の方向けに生活習慣チェックや講話、ストレッチの講習を行った。
303	大東文化大学	東松山市スポーツ少年団母集団育成研修会	平成28年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		東松山市内スポーツ少年団に所属する児童の保護者を対象に、スポーツ科学科教員によりスポーツ実施時に保護者が考慮すべき知識について研修を実施した。
304	大東文化大学	ふじみ野市新春ロードレース大会への学生派遣	平成29年度	自治体（行政）			12月に開催されたふじみ野市新春ロードレース大会へ陸上競技部の学生2名をゲストランナーとして派遣した。
305	大東文化大学	ときがわ町スポーツ連携事業「スポーツ・健康づくり講演会」	令和4年度	自治体（行政）			ときがわ町の町民の方を対象とした「スポーツ・健康づくり講演会」にスポーツ科学科教員を講師として派遣した。
306	大東文化大学	ときがわ町スポーツ連携事業スポーツ教室「スプリント教室」	令和4年度	自治体（行政）			ときがわ町の小・中学生及び一般の方を対象としたスポーツ教室「スプリント教室」に、陸上競技部指導者・学生を派遣した。
307	大東文化大学	埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 オープンカレッジ	-	自治体（行政）			生涯学習講座（大東文化大学オープンカレッジ）として、106講座を開講し1,375名が受講した。
308	大東文化大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	東武東上線ならびに西武線沿線に位置する大学と自治体で、「多様な高等教育の提供」、「生活しやすい地域づくりへの貢献」、「地域産業の活性化」を図ることを目的として、2018年度より活動を行っている。
309	大東文化大学	TABETE レスキュー直売所	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		大東文化大学、東松山市、東武鉄道株式会社、埼玉中央農業協同組合、株式会社コークッキング、株式会社大塚応援カンパニーの6者で産官学連携による協定を締結し、東松山市周辺のJA直売所で夕方までに売り切れなかった農産物を東武東上線森林公園駅から列車に積み込み池袋駅まで輸送し、再販売して食品ロス削減を目指す取組みを2021年度より行っている。
310	東京家政大学	《東京家政大学・狭山市共催講座》	平成18年度	自治体（行政）			「体幹(腹筋・背筋)を鍛えて健康増進！-運動と筋活動の関係を知ろう-」。解剖学的知識を基に、筋肉の収縮はどのような仕組みで起こるか。日常行っている運動の活動と体幹を鍛える目的の筋活動の違いを確認し、効果的な運動とは何か、そしてその方法について実習しながら習得した。狭山市在住・在勤の方対象。21名参加。
311	東京家政大学	《入間市共催研修会》小学校教員向け集中研修会	小学校外国語活動集中研修会: 平成22年度 理科観察実験実技研修会: 平成25年度	自治体（行政）			「小学校外国語活動集中研修会」は、基礎から学び、外国語活動担当者や5・6年の学級担任以外の先生方にも取り組みやすく、実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 「理科観察実験実技研修会」は、理科の観察実験授業を「安全に」「確実に」実施するための技術を身につけることを目的とする。小学校または中学校教員が対象。 「小学校外国語活動集中研修会」「理科観察実験実技研修会」共、各15名参加。
312	東京家政大学	子ども大学さやま・いるま	平成22年度	自治体（行政）			狭山市・入間市の教育委員会と実行委員会を組織し、教育資源を活用しながら、子どもの知的好奇心を刺激する学びを提供する。狭山市・入間市在住の小学4～6年生が対象。7月・8月・9月に3日間4コマ形式で開催。また、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により定員を縮小して開催。狭山市・入間市各15名参加。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
313	東京家政大学	≪東京家政大学・狭山市・入間市主催、TJUP共催≫子どもスポーツ体験教室	平成24年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		近隣自治体のスポーツ推進の一環として生涯スポーツの充実化を目指す取組みとして、狭山市・入間市との連携により2012年（平成24年）から「スポーツ体験教室」を継続実施している。この「スポーツ体験教室」を通して、教員を目指す学生達を事前指導により新たな指導法の実践を促し、協力校を含む埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)加盟大学の学生には当日補助業務により、地域の児童を対象に様々な運動遊びを体験させ、各個人の能力・可能性を広げる等の教育支援活動を取組む事業とし、今後の大学生活におけるネットワークを構築するとともに、地域社会への貢献力を学ぶ機会とする。当日は29名の児童の参加があり、学生9名を含む29名のスタッフで運営。
314	東京家政大学	≪埼玉県≫リアル体験教室・プレミアム事業 ジュニアサイエンススクール2022	平成29年度	自治体（行政）			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議主催、埼玉県教育委員会後援、小学4～6年生対象の、夢の実現を応援するための「学びと体験の教室」の、企業や大学等が主催している「プレミアム教室」に参画。(1)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅰ」おもしろサイクロデキストリン実験～味と香りを封じ込め、取り出す化学～には、12名参加。(2)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅱ」「調理」を科学の目で見ながら、再発見！～親子で野菜・果物の色の変化を観察してみよう！～には、定員の2.8倍の45組90名の親子の応募があり、16組32名が参加。(3)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅲ」プログラミングを体験してみよう～micro:bitを使ってプログラミングを楽しもう！～には、定員の3倍を超える47組94名の親子の応募があり、14組28名が参加。
315	東京家政大学	彩の国大学コンソーシアム事業	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムによる公開講座『さいたま遊学2022～知的、快適生活のススメ～日常生活における美術的視点の発見』。高校生から社会人対象で、会場はウエスタ川越。参加者52名。
316	東京家政大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学による、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校として参画。多様な大学・地域・地元企業との連携、協働により、地域社会が抱える課題解決に取り組み、高等教育による地域の活性化を目的とし、推進活動を実施。（単位互換・公開講座・学生募集・共同研究・地域連携の推進等）
317	東京家政大学	≪TJUP≫県西部大学連携リレー公開講座	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東京家政大学・東邦音楽大学・駿河台大学主催、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)共催、狭山市教育委員会・入間市教育委員会・川越市教育委員会・飯能市教育委員会後援。小学4～6年生とその保護者対象。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により定員を縮小して開催。 「ひとつとつくる音楽の魅力～合奏を味わってみよう～」(東邦音楽大学)は大人4名子ども4名参加。 「お口は健康の入り口～歯の大切さを知ろう～」(東京家政大学)は大人4名子ども4名参加。 「木のおもちゃをつくりながら論理的思考を体験しよう」(駿河台大学)は大人10名子ども11名参加。
318	東京家政大学	≪入間市共催研修会≫ 保育者研修会	令和元年度	自治体（行政）			幼稚園・保育園等における保育現場での様々な課題についての対応のほか、研修により、保育者意識の向上及び実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 新任から10年未満の保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）対象。17名の参加があった。
319	東京家政大学	≪TJUP≫2022学生交流委員会事業	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）			「コロナ禍の学生生活 振り返り！ピンチをチャンスに！座談会2022 -悩み・工夫・これから・・・みんなで語り合おう！！-」 コロナ禍において、授業形式・サークル活動・学園祭等学生生活にどのような変化・影響があったのか、どのようなことに悩み、苦労したのか、また、どのような工夫・実践により、乗り越えたのか。経験者だからこそ語れる、また、この経験をピンチをチャンスに前向きな発想を交えて、熱く語る大学生の座談会実施により、学生間の交流促進及び、社会性・コミュニケーション力を培った。 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)に所属する大学・短大の13大学24名の学生が参加。学生主体事業として、学生イベント交流委員会の学生達を中心に運営スタッフとして、それぞれ役割分担をもち、事業を進行した。
320	東京家政大学	≪TJUP≫2022学生交流委員会事業	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		「フィンランド モルック講習会&ワークショップ体験」 新型コロナウイルス感染で学生生活が制限される中で、他大学との交流ができない状況であり、少人数でも楽しめるモルック体験教室を実施し、学生間交流を図った。また、ワークショップ体験コーナーを設け、クリスマスオーナメント作りを行った。会場はイオンタウンふじみ野。2周年記念イベントの一環として開催した。モルック講習会にTJUP会員学生・教職員等20名参加。ワークショップ来場者は134名であった。
321	東京家政大学	≪TJUP≫2022学生交流委員会事業	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		「共同FD・SD「変化する社会とメンタルヘルス」」 近年は新型コロナウイルス感染症の出現など様々な要因によって社会生活は変化し、これに伴って学生生活も変化している。彼らの心の中にどのような変化が起こっているのかを、専門的知見から一般的な事例を交えて知識を深め、今後の学生対応に役立てることに繋げていく。申込者56名、参加者45名であった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
322	東京家政大学	≪TJUP≫2022学生交流委員会事業	令和2年度	大学・短大 (大学・短大間連携)			「地域イベントを企画・運営してみよう！！～フルーツ体験講座を通して～」 学生自身がフルーツイベント講座における準備から受講（実際フルーツを吹いて講座を受講）をし、修了後にイベントの運営と体験した側の感想から、その対象や内容について問題点や改善点等意見交換を行い、学生同士のコミュニケーションを図った。特に効果的な告知をどのように行っていくかについてフォーカスし、受講した学生によりイベントチラシを作成し、優秀なチラシは2023年度中に村松フルーツ製作所が実施するワークショップイベントチラシとして、採用することとした。5大学10名参加。
323	東京家政大学	≪埼玉県≫リアル体験教室・プレミアム事業	令和4年度	自治体（行政）			プログラミング教室「楽しく学ぶ！プログラミング～Scratchでゲームをつくろう～」 小学4～6年生対象。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として定員を縮小して開催。12名参加。
324	東京家政大学	シンポジウム からだの維持と改善に向けて ～自分自身の健康度把握と健康意識の向上を目指して～	令和4年度	自治体（行政）			2019～2021年度にわたる調査研究事業の一環として、地域社会における課題解決に向け、狭山市（健康推進部健康づくり支援課）、入間市（健康推進部地域保健課）と共同プロジェクトを立ち上げ、「地域住民の運動習慣と身体機能に関する実態調査研究」を実施した。本プロジェクトは、入間市および狭山市在住の高齢者を対象として、自分自身の身体機能を把握し、健康意識を高め、身体の健康維持および改善を目的として地域住民の運動機能や認知能力を横断的および縦断的に調査する研究事業である。シンポジウムでは、この調査研究に触れながら、自己の運動能力を知ることが健康意識を高め、やがて介護予防にもつながっていくことを踏まえ、身体の健康維持および健康改善について、取り組み方法・期待できる効果の他、健康と食習慣等も含めた可能性、在り方等について意見交換を行った。また、第2部として、誰でも、どこでも、すぐにできる役立つストレッチ体操をアドバイス付きで行った。
325	東京家政大学	Tokyo Kasei 塾2022（保育者編 専門講座）	令和4年度	自治体（行政）			少人数で課題を明確にし、研究開発につながる専門講座として、Tokyo Kasei 塾「食品編」を行っていたが、2022年度より狭山市子ども支援部保育幼稚園課・入間市子ども支援部保育幼稚園課と連携（後援）協力し、狭山市・入間市他、他市の公立・私立等の幼稚園・保育園等の保育者を対象とした「保育者編」を開催。テーマは「保育の質の確保と向上」を目指して～これからの保育を考える～
326	東京国際大学	ふじみ野市学生インターンシップ	平成17年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		ふじみ野市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志し、また教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へフレッシュサポーターとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 <令和4年度> 新型コロナウイルス感染症に最大の注意を払いつつ実施。
327	東京国際大学	川越市インターンシップ	平成18年度	自治体（行政）			平成18年度より自治体である「川越市」の協力を得て、毎夏2～4名の学生を派遣し就業体験を実施。 <令和4年度> 川越市役所観光課へ1名 川越市役所教育財務課1名 計2名の学生を派遣。
328	東京国際大学	現代GP子ども支援プロジェクト	平成19年度	自治体（行政）	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)		平成19年に文部科学省の採択を受けて始まった人間社会学部の学生が行っているボランティア活動である。現在は不登校や障害を持つ児童生徒への学習支援や家庭訪問等を行うことで当該児童への支援を行うと共に、学生自身の「気づき」や「成長」を促して行く活動を行っている。ボランティア学生（スチューデント・サポーター）の活動場所は主に市内の小中学校や教育センターであり、教職員、教育関係機関が協働・連携して行っている。 <令和4年度> コロナにより中止
329	東京国際大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成21年度	自治体（行政）			「埼玉県福祉部と東京国際大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、県内在住の55歳以上の方を対象に授業科目の一部を開放。 <令和4年度> コロナにより中止
330	東京国際大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成22年度	産業界（企業等）			飯能信用金庫と包括協定を結び、その一環として冠講座の提供、学生に各業界の就業体験を経験させるためにインターンシップ先の紹介・支援の提供等。 <令和4年度> 新型コロナウイルス感染状況を鑑み、冠講座の提供のみ実施。 科目名：「地域金融講座（飯能信用金庫寄附講座）」
331	東京国際大学	川越大学間連携講座東京国際大学共催事業	平成24年度	自治体（行政）	大学・短大 (大学・短大間連携)		川越市内にある4大学と連携し川越市民対象の「川越大学間連携講座」を開催 <令和4年度> 演題：～経済学者と一緒に考えよう～資産運用のコツ 講師：盛本 晶子（東京国際大学 経済学部 准教授） 会場：東京国際大学 第2キャンパス 2522教室 受講料：500円

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
332	東京国際大学	「小江戸(川越)まちおこし」プロジェクト	平成25年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	地域のまちおこしの担い手となる『グローバル人財』を育成するため、大学・自治体（行政）・民間（企業及びNPO等）の3者が連携・協働。①地域商業・産業の活性化②川越の文化・歴史的資産(観光資源)を国内外へ発信③「まちおこし活動」の第一線で活躍できる人財育成を目指し、地域志向型の教育研究体制を整備・充実することが本事業の目的。 <令和4年度> 1. 公民学連携会議の実施 川越の地方創生に関する産学官会議「川越公・民・学連携会議」を2か月に1回のペースで開催。プロジェクトの進捗や川越市の地域活性化案について意見交換を行う。 2. プロジェクトAの実施 川越市のまちづくりやフィールドワークの成果を確認すべく、全国の大学生が参加する「大学生観光まちづくりコンテスト」へ出場。今回は静岡県の焼津ステージを選択。焼津市の地域課題について企画提案を行い、焼津市観光協会賞を受賞。 3. プロジェクトBの実施 川越市と連携し、地元にある「川越まつり会館」の入館促進プログラムの作成や入管促進イベント、プロモーションを実施。その結果、12月のイベント開催時には5日間で849名の来館者を集客した。 4. その他 岡山南高校の修学旅行生に対して、本学学生が川越の町や本学のキャンパスを案内する「川越ツアーガイド」を実施。大学生が高校生に対して町案内することで若者同士の交流を促進した。
333	東京国際大学	キャリアプランニング	平成25年度	公務員（行政）	警察（埼玉県警察本部）		キャリア形成支援科目のひとつとして埼玉県警察幹部職員を講師として迎え、治安行政と個人や社会の安全を守るための警察行政について理解を深め、社会生活上犯罪被害を防止するための具体的な知識を習得することを到達目標とした授業を実施。 <令和4年度> 科目名：「地域の安全と警察」
334	東京国際大学	川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他	平成27年度	産業界（企業等）			キャリアプランニング教育の一環として商学部学生が地元企業の実態を知る機会を持ち就業機会の拡大を目的とした川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他 <令和4年度> 4社の企業に学生を7名派遣
335	東京国際大学	「スクール・インターンシップ」による学校支援事業	平成27年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		川越市教育委員会が市内近郊の大学と連携し、 ①市立小・中学校を対象に教職課程に在籍する学生を派遣し、学習指導の支援や部活動支援をとおして児童生徒の学力及び体力の向上を図ることをねらい、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目的とする。 ②2020年度からの小学校での英語が教科化されることをうけて、川越市内小学校と言語コミュニケーション学部とで、「川越市小学校英語ティーチング・アシスタント」制度を導入。 <令和4年度> ①派遣学生数：23名 活動内容： 1) 授業における学習支援 2) 部活動における支援 3) 学校行事などにおける児童生徒の参加に関する支援 4) その他、学校教育に関する支援 ②今期該当なし。
336	東京国際大学	川越商工会議所連携事業「商学部公開授業」	平成27年度	産業界（企業等）			川越商工会議所と連携し、①事業の維持・継続・発展②事業の経営理念・経営目標・経営戦略③事業の承継と後継者の育成④事業承継と税制（資金調達）の観点より事業承継に関する基礎知識を埼玉県民へ一般公開する取組。 <令和4年度> 「現代企業論」を川越商工会議所の会員企業に公開。
337	東京国際大学	川越産業フェスティバル	平成28年度	自治体（行政）			川越市産業振興課から商学部が参加依頼されたもの。 川越市の産業振興のためのフェスティバル。 <令和4年度> コロナにより中止
338	東京国際大学	川越市外国籍市民会議	平成30年度	自治体（行政）			川越市主催の多文化共生と国際交流・協力の推進のための川越市外国籍市民会議に参加。 <令和4年度> 川越市主催の多文化共生と国際交流・協力の推進のための川越市外国籍市民会議に東京国際大学より留学生1名が委員として4回の会議に参加。
339	東京国際大学	学生キャリア支援	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		<令和4年度> 「ビジネスソリューション」の授業において、就職価値観を醸成するという目的で埼玉県雇用労働部と（株）マイナビとの連携のもとで、埼玉県の企業から具体的な経営課題を提示してもらい、学生がその課題解決のプロセスを体験する中で学習していくPBL(Problem Based Learning)型の授業で展開した。本年度、井上スパイス工業株式会社(代表取締役社長 井上剛氏)の協力のもと新商品開発を行った。なお、開発した商品は、実際に商品化され販売されている。
340	東京国際大学	特殊詐欺啓発動画制作	令和3年度	自治体（行政）	埼玉県警川越署生活安全課		<令和4年度> 特殊詐欺に遭わないよう市民を啓発するためのビデオを大学の映像制作授業を利用して制作し、警察広報で特殊詐欺防止のために活用する。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
341	東京国際大学	筑波大学附属坂戸高等学校 異文化交流イベント	令和4年度	幼保・小・ 中・高等学 校等			筑波大学附属坂戸高等学校を本学留学生が訪問し、国際相互理解と英語でのコミュニケーションを目的とした異文化交流イベント。 <令和4年度> 派遣留学生の数：18名 テーマ：ハロウィーン、アメリカの食習慣、アメリカの教育、クリスマスの伝統など
342	東京国際大学	学生キャリア支援	令和4年度	自治体（行 政）	産業界（企 業等）		<令和4年度> 笛木醤油株式会社の協力のもと、商学部の専門科目である「企業研究」を実施した。本授業では、PBL(Problem Based Learning)型の授業として、試作品製作を通じた、商品化に至るまでの実践的な学習、経営者の授業参加による学問と実務の有機的な融合、キャリア育成を支援するための体験型授業を目的として実施した。学生が考案した商品は、実際に、笛木醤油株式会社で販売された。なお、笛木醤油株式会社への協力依頼などで、埼玉県雇用労働部と連携した。
343	東京国際大学	川越青年会議所2022年度まち づくり事業	令和4年度	公益社団法 人川越青年 会議所	川越市角栄 商店街振興 組合		<令和4年度> 商学部の2・3年次5つのゼミが「第18回演習発表大会」における地域貢献教育の実現・実践の場として、川越市制100周年記念事業「川越青年会議所まちづくり事業～KAWAGOE SUNRISE2022～」に参加・連携をした。発表大会では、川越青年会議所代表、大学至近の角栄商店街の理事長に参加いただき、学生たちは空洞化する商店街を分析し振興企画を発表。両代表からは有益な指導、コメントのフィードバックを得た。川越青年会議所から頂戴したミッション：「地元角栄商店街で河越茶の知名度を高めるプロモーション」に関しては、企画提案から実践につながった。
344	東京電機大学	埼玉産業人クラブ TDU産学交流会	平成2年度	産業界（企 業等）			埼玉産業人クラブ会員企業の技術レベル向上を図るため本学と産学交流を行う。年間にわたり、技術講演会・事例発表会、先進企業・工場見学会、学生対象企業・業界研究会等を開催。会員企業28社と本学との連携により運営している。
345	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協 定による単位互換	平成14年度	大学・短大 （大学・短 大間連携）			彩の国大学コンソーシアムへ加盟している10大学のうち、8大学が大学間連携として単位互換に参加している。
346	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協 定による教職員研修会	平成17年度	大学・短大 （大学・短 大間連携）			加盟協定校の教職員を対象に【研修会】を年2回実施。令和4年度はオンライン講座研修として「コロナ禍における医療従事者を志す学生教育の模索」「大学におけるリカレント教育～東京電機大学の取組事例を中止に～」をテーマに開催した。
347	東京電機大学	スーパーサイエンスハイス クール支援事業	平成24年度	高等学校連 携			埼玉県立松山高等学校が平成24年度に第1期SSHの指定を受けて以降継続して高等学校教員と連携し指導にあたっている。令和4年度は「A4のふしぎ」「三段論法のふしぎ」をテーマに日常生活にどう数学が利用されているかについて講義をした。
348	東京電機大学	埼玉県坂戸市住宅団地にぎわ い再生事業 北坂戸にぎわいサロン運営	平成26年度	自治体（行 政）	自治会		坂戸市との協定に基づき、東武東上線北坂戸駅前UR所有の店舗を借り受け、地域の活性化を目的ににぎわい再生活動を行っている。令和4年度は、パソコン相談・健康管理アドバイス・ペーパーバンドクラフト教室・編み物クラブのほか、本学留学生との交流会を年間を通じ開催した。
349	東京電機大学	宇宙・産学官・地域連携コン ソーシアム （ここから武蔵コンソーシアム）	平成28年度	自治体（行 政）	産業界（企 業等）	大学・短大 （大学・短 大間連携）	比企地域の自治体や大学、企業等が連携し地域が抱える様々な課題に対する解決策を協議し、それを実現させるための活動を支援し、地域の振興と発展に寄与する。令和4年度はワークショップや講演会を実施した。
350	東京電機大学	埼玉東上地域大学教育プラッ トフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大 （大学・短 大間連携）	自治体（行 政）	産業界（企 業等）	大学・短大19校、自治体23市町、事業所等14団体により構成。地域の課題解決のため諸活動を展開。令和4年度は、単位互換・公開講座・地域リスクマネージメント・社会人対象教育プログラムのほか東松山市高坂地区におけるクリーンウォークに参加した。
351	東京電機大学	坂戸市北坂戸公民館連携事業	令和3年度	自治体（行 政）	自治会		坂戸市北坂戸地区自治会会員(住民)を対象に【スマートフォン操作講座】を2日間にわたり開催した。
352	東京電機大学	UR連携活性化プロジェクト	令和3年度	その他(UR)	自治体（行 政）		UR北坂戸団地の活性化ならびに入居者の健康生活支援を目的にURと連携し、団地集会所にてヴァイオリンコンサートを開催した。コンサートはYouTubeにて全国配信。
353	東都大学	オレンジカフェ東都	平成26年	深谷市役所 長寿福祉課	介護サポ ーターズ深谷	地域包括支 援センター はなみず ぎ、あねと す病院	認知症の方やそのご家族にご参加いただき、体操や交流、相談などを行っている。毎月第2木曜日に開催。令和4年度は12月～3月のみ実施（4月～11月はコロナにより中止）。
354	東都大学	町たんけん	平成27年頃	上柴西小学 校			上柴西小学校2年生が小学校の近くにある施設を訪ね、大学の施設・設備や授業などについて質問をするというもの（授業の一環）。令和4年度は質問への回答のあと2号館の見学を簡単に行い、ジュースなどに含まれる砂糖の量を見てもらうミニ体験実習を行った。毎年6月頃に行われている。
355	東都大学	管理栄養学部監修 四季のレ シピ	平成30年	深谷市	深谷市内の 公民館、図 書館	深谷市内の 道の駅	年間4回（春・夏・秋・冬）に発行している。旬の食材を使ったレシピを掲載している。コンセプトは「時短」「どのご家庭にもある調味料で作る」。レシピは学生と教員が考え、調理は学生が担当する。調理ポイントがよくわかる動画もQRコードからアクセスできる。
356	東都大学	広報ふかや裏面 旬の食材 栄 養コラム、レシピ	平成31年頃	深谷市			毎月発行されている「広報ふかや」の裏面を担当している。旬の食材に関する栄養コラムと、その食材を使ったレシピを掲載。レシピは学生と教員が考え、調理は学生が担当する。
357	東都大学	藍のたねプロジェクト	令和2年度	深谷市教育 委員会	NHKさいた ま放送局	深谷市内の 保・幼・ 小・中・ 高・大学	大河ドラマ「青天を衝け」ロケ地とれた藍の種を深谷市教育委員会より譲り受け、栽培。管理栄養学部の学生と教員で、藍の機能性成分を分析している。渋沢栄一の命日である11月11日に東都大学YouTubeチャンネルで分析結果の発表を行っている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
358	東都大学	直実市民大学	令和3年度	熊谷市	熊谷市中央公民館		1年の学習を通して、郷土熊谷について学んだり、さまざまな分野の講義を聴くことによって受講生の知的好奇心を刺激するという催し。令和4年度直実市民大学では、本学は令和5年2月の回を担当した。
359	東都大学	FK Fes～福祉(F)と健康(K)のまち FuKaya～	令和4年度	深谷市			コロナ前は「福祉健康まつり」という名称で行われていたイベント。令和4年度はコロナのため、代替企画「FK Fes～福祉(F)と健康(K)のまち FuKaya～」と題して深谷市役所にて行われた。本学からは管理栄養学部の教員と学生がパネル展示とフレイル相談を行った。11月13日参加。
360	東都大学	深谷赤十字病院	令和4年度	深谷赤十字病院			深谷赤十字病院にて、本学の学生と教員、職員が市民向けの新型コロナウイルスのワクチン接種会場にて受付補助ボランティア・誘導ボランティアを担当した。期間は4月～5月、10月～11月。
361	東都大学	子宮頸がん予防啓蒙活動協力	令和4年度	埼玉県臨床細胞学会			子宮頸がん予防に関する資料等を配布。ワクチンや検診などの内容を教員から学生に伝える。
362	東都大学	ふるさと ふかや・渋沢学	令和4年度	深谷市教育委員会	深谷市内の小・中・高・大学		令和4年度、郷土の偉人渋沢栄一翁を通して、ふるさと深谷を担う自覚をもつ子どもを育むための取組である「ふるさと深谷渋沢学」を推進する会議に参加。令和5年11月10日に行われる「ふるさと ふかや・渋沢学」に管理栄養学部の学生と教員が参加する。
363	東都大学	アリオ深谷健康フェスタwith「東都大学」	令和4年度	アリオ深谷	株式会社タニタ	株式会社スペースモナーク	アリオ深谷×株式会社タニタ×東都大学管理栄養学部×株式会社スペースモナーク（イベント会社）で実施している健康に関するイベント。タニタの体組成計で計測を行い、その結果表に基づいて管理栄養学部の学生と教員がアドバイスをを行う。基礎疾患がある方には管理栄養士資格を持つ教員が健康相談を行う。令和5年3月から概ね隔月で行う。
364	東都大学	ふかや市民大学講座		深谷市役所生涯学習スポーツ振興課	深谷市教育委員会		市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人がつながり、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施。本学の担当は年2回。令和4年度は8月（管理栄養学科）と12月（看護学科）担当。
365	東都大学	子ども大学ふかや		深谷市	深谷青年会議所	埼玉工業大学	深谷市内の小学校4年生から6年生までの子どもたちが、地元の大学キャンパスなどで、大学の教員や学生、地域の専門家などから3つの分野（はてな学・生き方学・ふるさと学）について交流を深めながら学ぶ企画。令和4年度は8月27日に本学にて体験実習などを行った。
366	東都大学	上柴地区体育祭		深谷市上柴地区自治会	深谷市		大学の所在地である上柴地区の体育祭にボランティアスタッフとして学生が参加している。令和4年度はコロナにより中止。
367	東都大学	深谷赤十字病院 クリスマスイベント		深谷赤十字病院			コロナ前は深谷赤十字病院で行われるクリスマスイベントに学生がボランティアスタッフとして参加していた。令和4年度もコロナにより中止。
368	東邦音楽大学	都立大塚病院院内ミニコンサート	平成4年度	その他			病院内にて、入院患者はもとより一般来院者の方々を対象にミニコンサートを行う。 「R4年度コロナにより中止」
369	東邦音楽大学	出張演奏	平成5年度	その他			川越市東部地域ふれあいセンター他、文京区、川越市内などの児童館、図書館、保育園、福祉施設、病院、各種イベントなどへの出張コンサートを行う。
370	東邦音楽大学	文京シビックコンサート	平成7年度	自治体（行政）			文京区役所シビックセンターにて、一般の方々を対象にコンサートを行っている。 「R4年度コロナにより中止」
371	東邦音楽大学	音楽鑑賞教室	平成8年度	幼保・小・中・高等学校等			小学校、中学校、高等学校の児童・生徒を対象として「オーケストラ」「ウインドオーケストラ」演奏などの鑑賞教室を行っている。
372	東邦音楽大学	東邦音楽大学 管打楽器実技講習会 ～プラスクリニック～	平成12年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、埼玉県教育委員会、川越市教育委員会、埼玉県吹奏楽連盟、川越市吹奏楽連盟の後援を得て、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。 「R4年度コロナにより中止」
373	東邦音楽大学	川越市吹奏楽連盟 管打楽器実技講習会 ～プラスクリニック～	平成13年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、川越市吹奏楽連盟の要請を受け、川越市内、中学校・高等学校の吹奏楽部より希望する団体を集め、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。 「R4年度コロナにより中止」
374	東邦音楽大学	中学校・高校生のための日本管弦打楽器ソロコンテスト	平成16年度	その他			文部科学省（2019年度～文化庁）、埼玉県、埼玉県教育委員会他諸団体の後援・協賛を頂き、全国の中学生高校生を対象とし、木管楽器部門・金管楽器部門・打楽器部門・弦楽器部門のソロ演奏審査を行っている。《予選》では、参加者全員に審査員の講評が渡され、《本選》では金賞、銀賞、銅賞の3つのランクに表彰及び審査員の講評が渡される。また、金賞受賞者のうち、特に優秀であると認められた参加者には特別賞が授与され、受賞記念演奏会に出演することができる。
375	東邦音楽大学	小学校、中学校の授業サポート	平成16年度	幼保・小・中・高等学校等			川越市内小学校、ふじみ野市内小学校、中学校において、学生が授業サポートにあたっている。平成28年度より、一定の基準をクリアした場合には単位認定を行っている。 「R4年度コロナにより中止」
376	東邦音楽大学	南古谷ウインドオーケストラ	平成17年度	幼保・小・中・高等学校等			少子化に伴い、個々の吹奏楽の団体では部員も減少し、十分な編成を組むことが出来なくなってきたこと、吹奏楽の練習等を行うための施設の確保が難しいこと、さらに指導者が不足していることから、川越市南古谷地域子どもサポート委員会との連携により、川越市南古谷の中学校3校（南古谷中学校・東中学校・砂中学校）の吹奏楽部員を核に演奏活動を行っている。平成28年度より、一定の基準をクリアすれば単位認定を行っている。 「R4年度コロナにより中止」

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
377	東邦音楽大学	ニューイヤーコンサートin南古谷	平成17年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			南古谷地域の文化団体の演奏発表会。東邦音楽大学附属東邦第二高等学校及び南古谷ウインドオーケストラも出演している。
378	東邦音楽大学	インターンシップ	平成17年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	その他	大学2、3年次生及び短期大学1、2年次生を対象として、行政（自治体）又は企業において概ね10日間の就業体験を行っている。
379	東洋大学	川越大学間連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		川越市共催事業という市民講座。
380	東洋大学	学術講演会(オープン講座)	平成15年度	自治体（行政）			本学の教員が、研究成果や学問的知見などをもとに、地域の環境保全、交通安全、防犯、福祉、学術的・芸術的な要素のものなどからテーマを取り上げ、市民の生涯学習の一環として開講している公開講座。年1回開講。 ※受講者は、川越市民以外でも可。
381	東洋大学	川越市立鯨井中学校 学習サポート	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立鯨井中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
382	東洋大学	教育提携プログラム	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			武蔵越生高等学校（平成19年より実施）の生徒に対し、「高等学校生徒に大学教育を開放し、大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計る」ことを目的に、年2回（1回2コマ）毎回テーマを変えて実施している。全回受講した生徒には、修了証を授与する。
383	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	自治体（行政）			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。
384	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	自治体（行政）			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。
385	東洋大学	ソーシャルデザインプロジェクト	平成23年度	自治体（行政）			建築学科教員が公共インフラの提案を実施。インフラの老朽化、市街地の衰退、人口減少などに対応し、いかに維持管理費を抑えながら住民ニーズを満たしていくかを提案している。現在、「鶴ヶ島」「川越」の2か所で本プロジェクトを展開している。
386	東洋大学	川越市との連携	平成24年度	自治体（行政）			教育研究等における協力関係について包括協定を締結し、多方面で連携関係を構築している。
387	東洋大学	埼玉県立高等学校 学習サポーター	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を埼玉県内の公立高等学校に派遣。理科・数学の補講指導、進学相談、始業前の生活指導など、多くの面で教員を補助することで教育現場を体験する。
388	東洋大学	川越市立学校スクールサポート	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立の小・中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
389	東洋大学	高等技術専門校の実習実施への協力	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県産業労働部産業人材育成課からの依頼に基づき、埼玉県立の高等技術専門校の学生に対して、研究者が環境実習（講義・施設見学等）を実施。
390	東洋大学	さいたま市学習ボランティア	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生をさいたま市の小学校に派遣。学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
391	東洋大学	デジタル・エンジニアリング・アカデミー	平成30年度	産業界（企業等）			工業技術研究所と武蔵野銀行の共催による新技術の自社導入を目指す企業を対象とした連続講座。2022年度は、2021年度に引き続き「現場データの可視化・定量化」のテーマで、本学教授を講師としてマイコンを使ったIoT実習や、デジタル技術を用いた生産技術の開発に取り組んでいる企業の工場見学、また2021～2022年度の活動から得られた成果や課題の発表を行った。
392	東洋大学	川越市民の水害時における車両避難場所としての施設利用	令和3年度	自治体（行政）			水害時において、川越市の地域住民が避難の円滑化を図るため、大学の駐車場を車両避難場所として利用することを認める。
393	東洋大学	毛呂山町放課後学習教室 学習サポート	令和4年度	小学校3・4年生			本学の教職志望学生を毛呂山町立小学校に派遣。学習（宿題・ドリル等）の支援。
394	獨協大学	学内献血の実施	昭和44年度	産業界（企業等）			ボランティアを活動目的とする愛好会団体のWAPが、埼玉県赤十字血液センターの献血事業に毎年協力している。
395	獨協大学	小学生の剣道合同稽古	平成元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			松原剣道スポーツ少年団（草加市）の小学生が大学内の道場にて本学剣道部の学生と合同で稽古している。令和4（2022）年度コロナにより中止。
396	獨協大学	国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」	平成16年度	自治体（行政）			本学を会場として国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」（主催・草加市国際交流協会、共催・獨協大学）を例年6月に開催している。世界各国出身の草加市民が本学学生とともに、自国の文化・料理・音楽・ダンスや民族衣装を披露し、来場者との交流や国際理解を深められるイベントとなっている。「ワールド・ランゲージ」という企画には海外協定校からの留学生が参加し、各国の言語で高校生や市民・子どもたちとの会話をっており、好評を得ている。本学の学生団体やゼミ等も多数参加しており、研究発表や交流型イベントも行っている。毎回6,000名が来場しており、その運営に多くの学生がボランティアとして携わっている。 （令和2（2020）年度～令和4（2022）年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
397	獨協大学	法政総合講座	平成16年度	自治体（行政）			近隣の草加市、越谷市、八潮市との関わりの中で、各市が目指すまちづくりや自立した自治体を実現するための新たな行政経営を理解し、学生が自ら地方行政に参加する双方向の授業として、「法政総合講座」を開講し、一部を市民に公開している。この講座は隔年で開催され、前出3市の職員の方が講師となり、地方行政が抱えている課題や新たな取り組みについて講義を行う。募集については、広報そわか等でお知らせしている。隔年のため令和4（2022）年度は、開催なし。
398	獨協大学	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター活動	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	平成19（2007）年の開設以来、子どもに関わる相談機関として、常に子どもの最善の利益を考えながらサポートを行っている。センタースタッフによる相談対応の他、獨協医科大学埼玉医療センター、埼玉県立大学、文教大学の協力を受け、専門家による無料相談も行っている。加えて、併設する地域と子ども法律事務所との連携を図りながら法的解決にも努めている。その他、母親向け講座「おやこ大学ひろば」、小学生対象「大学たんけん」、「弁護士と学ぶワークショップ」、草加市と連携した「子育てフェスタ」、「子育て支援講座」などのイベントも開催してきた。なお、これらの活動が認められ、子育て・家族支援等において顕著な功績があった団体として、平成25年度内閣府特命担当大臣表彰（子ども・若者育成支援部門）を受賞した。
399	獨協大学	夏休み大学たんけん	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、地域の子どもの健全育成や関係団体との連携を目的として、夏休み期間を学童（児童）クラブで過ごす子どもたち対象に、子どもたち自身に「たんけんたい」として大学内を散策してもらうことで大学紹介へとつなげる取り組みを行っている。令和4（2022）年度コロナにより中止。
400	獨協大学	夏休み子どもワークショップ	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、小学校高学年対象の子どもワークショップを埼玉弁護士会協力のもと開催している。令和4（2022）年度は令和5（2023）年2月に実施。「心を燃やして真実に挑め！～刑事裁判の原則編～」をテーマに、人を裁くとはどういうことか、その際に必要な考え方（無罪推定の原則や証拠裁判主義）について学ぶ。
401	獨協大学	高年者学級 コスモス	平成20年度	自治体（行政）			草加市立谷塚文化センターが主催する事業に草加市内在住の60歳以上を対象に年間10回の催しを開催する高年者学級「コスモス」がある。その催しの一つ「草加のまちを考える わがまちの獨協大学で学ぶ」を毎年本学内で開催。講師による講義、施設見学等を実施している。令和4（2022）年度は、連携した事例なし。
402	獨協大学	草加市共催子育て支援講座	平成21年度	自治体（行政）			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、草加市・獨協大学協働宣言に基づき、子育て支援講座を共催している。令和4（2022）年度は「アンガーマネジメント」、「妊娠から乳幼児期におけるアレルギー疾患発症予防と治療」を開講した。「よりよい親子関係作りのプログラム」ではペアレント・トレーニングを当センター相談員が講師を務めた。
403	獨協大学	草加ふささら祭りとのジョイント開催	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		大学祭実行委員会が草加ふささら祭り実行委員会と連携し、大学祭参加団体の草加ふささら祭り会場でのパフォーマンス披露、広報協力、大学祭イベントで「ふささら賞」の設置など、様々なコラボレーションを行っている。また例年、「草加ふささら・ドイツフェア（主催：草加ふささら祭り実行委員会）」が大学祭に合わせて獨協大学前駅西口広場にて開催される。令和4（2022）年度コロナにより中止。
404	獨協大学	子育てフェスタの実施・運営	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	その他	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、親子で一緒に楽しく遊ぶ場、人と人とが触れ合う場を提供し、地域の子育て支援を行うことを目的とした、草加市主催のフェスタの運営・企画に運営委員として協力し、当日には工作や手芸のブースを出している。令和4（2022）年度コロナにより中止。
405	獨協大学	草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業	平成25年度	自治体（行政）			「草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業に関する基本協定書」に基づき、草加市と獨協大学は、互いに連携・協力して豊かな地域社会を創るため、地域研究の共同研究事業を実施する。
406	獨協大学	おやこ大学ひろば	平成22年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	その他	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、未就園児と保護者を対象に、子育て支援とそれに伴う課題の予防として、「おやこ大学ひろば」を開講している。令和4（2022）年度は「タッチケア（ベビーマッサージ）」「絵本の楽しみ方」「食育」「子どものスキンケア」「おやこ工作」「わらべ歌」「子どもの発達に合わせた遊び方」をプログラムとしてオンラインで扱った。
407	獨協大学	小中学校・高等学校への留学生派遣	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			小中学校・高等学校における国際理解の授業等のため、外国人留学生の参加依頼があることから、学生の履修等に支障のない範囲（年3回程度）で各校に派遣を行っている。授業等において母国や文化に関する紹介を行っており、平成24（2012）年が最初の事例となる。（令和4（2022）年度は、コロナ禍のため実施せず）
408	獨協大学	防災に関する連携事業	平成26年度	自治体（行政）			草加市と締結している「災害時における応急活動の協力に関する協定書」に基づき、前年度に続いて令和4（2022）年度も本学防災訓練（10月19日）の一部訓練を草加市危機管理課と協働で実施した。具体的には訓練参加者に実際の避難所イメージを掴んでもらうことを目的とした避難所設営訓練、MC A無線機（草加市と大学の連絡手段）使用テストのほか、今回は新たに草加市制作の風水害対策動画視聴の機会を設け、学生・教職員に対する防災意識の啓発に努めた。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
409	獨協大学	子ども大学そうか	平成27年度	自治体（行政）			子ども大学は、大学のキャンパスなどを会場に大学教員や地域の専門家が講師となり、子どもの知的好奇心を育む講義や体験活動を行うもので、埼玉県内各地で広く実施されている。草加市では「子ども大学そうか」として草加市と獨協大学の協力により平成27（2015）年度から開講された。草加市内の小学校の子どもたちが、獨協大学のキャンパスや市内の事業所などで楽しく学んでいる。令和4（2022）年度は7月、10月に獨協大学キャンパスで実施。
410	獨協大学	おやこ大学ひろば とらいあぐる	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターと子育て支援団体「ハートライアングル」との共催でおやこ大学ひろば内で講座を開催している。年齢月齢別に3クラスに分け、それぞれ月に1回ずつ開催。親の子育てと子どもの成長・発達を支え、親子の良好な関係を築くためのサポートが目的。令和4（2022）年度は4月から7月までオンラインでの開催。
411	獨協大学	自転車サルベージの実施		地域団体（NPO、ボランティア等）			環境サークル「Deco」がFSCサルベージ協会（事務局：草加市）と協働で年4～5回、草加市や川口市などを流れる川から廃棄自転車の引上げを行っており、平成29（2017）年度には引き上げた自転車の数が累計1000台となるなど継続的に活動している。令和4（2022）年度コロナにより中止。
412	獨協大学	草加宿場祭まつり大名行列		地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		演劇研究会が草加宿場まつりの中の企画である大名行列において、行列に参加するだけでなく、小学生へ歩き方の事前指導や、当日の小学生の体調管理など草加宿場まつり実行委員会と連携し運営している。また、行列には本学の外国人留学生も参加している。令和4（2022）年度コロナにより中止。
413	獨協大学	高齢者用施設での慰問演奏、演技披露、イベント協力		地域団体（NPO、ボランティア等）			クラブサークルが近隣の老人ホームやデイケアセンターにて慰問演奏や演技披露、イベント協力を行っている。2019年度は、管弦楽部が慰問演奏、フラメンコサークルが演技披露、ボランティアクラブが夏祭りの手伝いなどを行った。令和4（2022）年度コロナにより中止。
414	日本医療科学大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
415	日本工業大学	NITEC埼玉産学交流会	昭和60年度	産業界（企業等）			NITEC埼玉産学交流会は、本学協力のもと、埼玉産業人クラブが会員企業の技術レベル向上を図るため、NITEC埼玉産学交流会を推進するとともに、あわせて地域産業の発展に寄与することを目的として、研究現場訪問や産学連携セミナーなどを実施している。
416	日本工業大学	情報ボランティア派遣制度	平成9年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		本学の情報メディア工学科では、地域社会の情報化への貢献、ボランティア精神の涵養などを目的に、情報技術の専門知識を生かしたボランティア活動を行う「情報ボランティア」として、学生を近隣の小学校などに派遣してきた。平成9年度より毎年開催してきていたが、令和4年度は宮代町社会福祉協議会の依頼に基づき、高齢者のスマホ相談会に学生を派遣している。
417	日本工業大学	教育ボランティアの派遣制度	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			将来、教員を目指す学生が、教育現場に入り児童・生徒及び教職員と交流し教育の意義と役割を考えると、学生の若い力で地域の教育活動に貢献することを目的として、学部生で教職課程を履修している者及び大学院生で教員免許を所持している者を近隣の小・中学校等に派遣し、授業補助やクラブ活動の補助などの活動を行っている。平成19年度より毎年開催しており、令和4年度は4名の学生を中学校等に派遣した。
418	日本工業大学	大学によるリカレント教育	平成20年度	埼玉県	大学・短大（大学・短大間連携）		埼玉県との協定による県内16大学共同実施の開放講座で、本学はこの講座のニックネームを「シニアチャレンジ講座」として公開している。1年に2回、春と秋に受講生を募集し、学部学生と机を並べ学習に参加するものである。令和4年度は10名が受講した。
419	日本工業大学	関東地区リフレッシュ理科教室	平成20年度	その他			応用物理学会・応用物理教育分科会と連携し、関東地区の埼玉会場として開催。対象は小・中学校の児童生徒及び教員で、身近なサイエンスの原理を楽しみながら体験的に理解すること、教育現場での指導の一助となることを目的としている。令和4年度は対面で実施し、理科工作および実験ショーを行い、児童22名・保護者一般30名の計52名が参加した。
420	日本工業大学	夢を見つける！リアル体験教室「科学者になりたい！」（埼玉県青少年夢のかけはし事業を改名）	平成21年度	埼玉県			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議が主催する連携事業で、小学生の夢発見や夢実現を支援するため、各分野で活躍中の埼玉ゆかりの一流のプロフェッショナルから学び・体験する教室。本学では、「科学者になりたい！」として物理教員が担当し、理科工作と実験の実演を行っている。令和4年度は12月10日(土)に実施し、小学生46名が参加した。
421	日本工業大学	高度金型人材育成事業 金型スクール	平成23年度	産業界（企業等）			本学では、平成20～22年度の3年間にわたり経済産業省の産学連携パートナーシップ事業の支援を受け、金型設計者育成のための教育カリキュラムの開発を進めてきた。平成23年度より、本学に金型教育事業部を設け、金型設計者としての基盤的技術力を身につける金型基礎ユニット（U1）と金型実践ユニット（U2）を実施している。
422	日本工業大学	寄付講座	平成23年度	産業界（企業等）			川口信用金庫による寄付講座「創業の基礎」を例年、秋学期に開講している。全学年・全学科対象の自由科目となっている。受講生にとっては社会で活躍する企業家等の生の経験談を得ることができる貴重な機会となっている。
423	日本工業大学	子ども大学みやしろ	平成23年度	自治体（行政）			本学、宮代町、埼玉県等による連携事業。本学では「ものづくり」「実工学教育」を学びの基本とした専門的な講義や体験などを実施。令和4年度は計4回、小学生34名が参加した。
424	日本工業大学	彩の国連携力育成プロジェクト	平成24年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		埼玉県立大学（代表校）を中心に埼玉医科大学、城西大学、本学および埼玉県が参画。多職種の連携により課題を発見解決できる人材の養成を目的とする。4大学の学生がチームで現場実習に取り組む連携科目を共同開発・開講したほか、実社会で活躍する現任者の方々も対象とした取組などを、多様に展開している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
425	日本工業大学	彩特ICT/AT.Labo 研究大会	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			彩特ICT/AT.Labo（埼玉県内の特別支援学校や特別支援学級の教員が集まり成26年度に発足した任意研究会）と本学が連携し、ICTとAT（アシスティブテクノロジー：支援機器・技術）を活用した特別支援教育の実践研究大会を年2回共同開催している。3年生のPBL演習科目、卒業論文や修士論文の研究テーマ策定や成果発表の場となっている。この連携の一環で越谷総合技術高校と合同のPBL演習も実施している。
426	日本工業大学	学外ビジネスプランコンテストへの学生チーム派遣	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		春日部市が行う学生政策提案コンテスト、さいしんコラボ産学官が開催する「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」等に学生チームを積極的に参加させている。春日部市学生政策提案コンテストでは平成29年より3年連続で最優秀賞を獲得する他、学生が提案した政策の実証イベントとして「サイエンススクールinかすかべ」が開催された。「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」では令和2年度・3年度・4年度と3年度連続で審査員特別賞を獲得した。令和4年度より開始した（株）埼玉りそな銀行および（株）地域デザインラボさいたまが主催する「川越ビジネスアイデアコンテスト」にも協力し、学生1名が最終審査会でプレゼンテーションを行った。
427	日本工業大学	子ども大学すぎと	平成28年度	自治体（行政）			本学、杉戸町、町内企業等による連携事業。本学では「ものづくり」「実工学教育」を学びの基本とした専門的な講義や体験などを実施。令和4年度は計4回、小学生33名が参加した。
428	日本工業大学	東武鉄道沿線連携勉強会	平成29年度	自治体（行政）	民間企業		東武鉄道沿線における、官民ならびに地域間連携によるまちづくりに係るナレッジの融合の機会を創出することにより、地域課題の複合的な解決を図り、持続可能な地域社会を実現する。これまで6回の勉強会の他、視察や幹事会を実施している。令和4（2022）年3月には、国土交通省主催の「令和3年度 鉄道沿線まちづくり全国会議」にて、フリートーク形式の動画にて、取組みの報告を行なった。
429	日本工業大学	プログラミング教育推進事業	平成30年度	自治体（行政）			本学が所在する宮代町の全ての小学校4～6年生の児童に対して、総合的な学習の時間を活用し、年間40分5コマのプログラミング授業を設定した。内容としては、小学生でもプログラミングができるソフトを用いてプログラミング的思考を学習した。平成30年度より毎年開催してきているが、令和3年度については新型コロナウイルスの影響で中止となった。令和4年度は6年生のみ1クラス3コマずつ実施した。5年度は4年から6年まで5コマずつ実施する予定である。
430	日本工業大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	東武東上線、西武池袋線及び西武新宿線の沿線地域を中心に所在する大学及び短期大学、自治体、事業者等が参画し、「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」を目指すプラットフォーム。本学は当該地域外ながら、連携教育の展開、および連携教育の方略検討において協力している。
431	日本工業大学	越谷市児童館での作品展示	令和元年度	自治体（行政）			本学学生が作成したインタラクティブアート（体を使って体験するアートやゲーム）の作品を、越谷市の児童館において定期的に展示している。平成元年より継続しており、令和4年度も、8月と12月の2回（計4日間）のイベント展示を実施し、約300名の子供たちや保護者の方に体験してもらった。
432	日本工業大学	ハロウィン カボチャ作品コンテスト	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			NPO再生可能エネルギー推進協会が主催するコンテストで、本学が後援した。宮代町の農園で採れたかぼちゃが使用され、作品の審査を本学教員が担当した。令和4年度は「かぼちゃ作品、EMOJI作品、カボチャ地枝のアート作品」の3部門に分けてコンテストを実施。
433	日本工業大学	宮代町児童クラブ 理科実験教室	令和2年度	自治体（行政）	民間企業		宮代町児童クラブ受託運営業者からの依頼で、宮代町の児童クラブで理科実験教室を実施。令和4年度は8月12日ふじ児童クラブ、8月16日かしの木児童クラブ、8月24日いちょうの木児童クラブで実施した。
434	日本工業大学	幸手市児童館 サイエンスショー	令和2年度	自治体（行政）			幸手市児童館の依頼により、サイエンスショーを実施。令和4年度は2022年8月20日に実験ショーと万華鏡製作を実施。親子5組が参加。
435	日本工業大学	認知症にフレンドリーな社会に向けた合同展	令和3年度	自治体（行政）	民間企業	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	宮代町立図書館で10/5～9に行った合同展に協力しパネル展示を行った。3/9には本学で本合同展第2弾「宮代で共に暮らす福祉機器展」を開催した。
436	日本工業大学	宮代町子ども向けイベントへの学生ボランティアの参加	令和3年度	自治体（行政）			宮代町が開催している子ども向けイベントにボランティアとして学生が参加。子どもたちと一緒に遊んだり、イベントの準備やサポートを行った。令和4年度は計5イベントに参加した。
437	日本工業大学	さいたま市立大谷口中学校ロボット教室	令和3年度	幼保・小・中・高等学校等			さいたま市で推進するSTEAMS教育を具体的に展開していくため、昨年度に引き続き、令和4年度も同中学校にて1学年全員（約220名）を対象とした全4回のロボット教室を提案監修して実施した。第1回目は講義を聴いて自分たちで「役に立つロボット」について考え、第2回目は中学教員の指導の下でグループワーク、第3回目は優秀な提案についての発表会、講評、第4回目は大宮工業高等学校と共同で製作講習を実施して、学び、考え、手を動かすカリキュラムを展開した。
438	日本工業大学	みんなで創るこどもの居場所	令和4年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	民間企業	地域で子どもが孤立しないため、安心して過ごせる居場所づくりを目標に、本学・自治体・地域団体・企業が連携し実現した「遊び」と「食」を融合したイベント。R4年度に計3回実施した。
439	日本工業大学	埼玉ゆかりのパラスリートによる体験型講演会	令和4年度	自治体（行政）			埼玉県のブラインドサッカー選手を招き、対話を交えた講演とブラインドサッカー体験を実施。
440	日本工業大学	トウブコの冬2023	令和4年度	自治体（行政）	民間企業		1/21に本学の授業や研究室、自治体、企業、地域の方々が協働し、地域と大学がつながって一緒に楽しむイベントを実施した。当日は、授業「地域活動演習」に関連したワークショップや音楽ライブ、地域に取材した映像上映と、研究室によるPJマッピングワークショップや屋台出店、地域の方々による7件の屋台出店があり、多くの来場者を集めた。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
441	日本工業大学	かすかべSDGsフォーラム SDGsスタンプラリー製作協力	令和4年度	自治体（行政）			かすかべSDGsパートナーズが主催のイベント「かすかべSDGsフォーラム」でスタンプラリー企画を実施、そのスタンプ製作に本学教員が協力。
442	日本工業大学	宮代町主催の西原自然の森サマーフェスタ2022	令和4年度	自治体（行政）			宮代町主催、小・中学生対象の「竹あそびと自然体験」イベントに本学学生が準備・本番スタッフとして参加し、イベントを支援。
443	日本工業大学	夏休みこども科学教室	令和4年度	自治体（行政）			幸手市中央公民館からの依頼で小学3,4年生対象の夏休みの科学教室を実施。「LEDで光るカップ」の工作と光の実験、および、液体窒素の実験ショーを行った。親子8組が参加。
444	日本工業大学	サイエンスJr.プログラム	令和4年度	地域団体			春日部青年会議所が主催する「サイエンスJr.プログラム」への協力依頼により、8月27-28日の日程の第2期に、大学の教室を会場として提供、および、教員が講師として参加し工作・実験を行った。対象は春日部市・宮代町・杉戸町およびその周辺の小学校4～6年生。理科工作で参加者が製作した「LEDで光る風鈴」は、終了後の1週間ほど東武動物公園駅前ロータリーで展示された。
445	日本工業大学	白岡市生涯学習センター「こもれびの森」との連携	令和4年度	自治体（行政）			本学LCセンターの正面入口付近に白岡市生涯学習センターの資料を展示、白岡市生涯学習センターの図書館2階カウンター横にも本学図書館の資料等を設置している。11月に「こもれびの森」内の会議室を会場として、子供向け科学講座「実験してみよう！ロボットのひみつ」を開講。講座は、ロボティクス学科のロボットボランティア工作班が担当した。
446	日本工業大学	春日部市児童クラブ 学童向けドローン体験教室	令和4年度	民間企業	自治体（行政）		8/17、26の2日間、春日部市の児童クラブにおいて学童向けのドローン体験教室を開催した。
447	日本工業大学	「防災レジリエンス型のCEMS省エネ制御システム装置」公開実証試験	令和4年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	民間企業		公益財団法人埼玉県産業振興公社の「技術開発サポート事業」の一環である「防災レジリエンス型のCEMS省エネ制御装置の開発」をテーマにした実証事業説明会と視察見学会が本学を会場に実施。本学教員が技術協力を担っている。
448	日本工業大学	日工大サイエンスプロジェクト	令和4年度	自治体（行政）			小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学実験を通して、子どもたちの理科に対する興味・関心を高め、理科好きの子どもを育成し、自ら学ぶ児童生徒を育成することを目的としている。R3年度から準備を進めてきたもので、R4年度は2022年3月6日に中学校1校対象で実施。
449	日本工業大学	杉戸町立内田第3児童クラブにおける家具制作の協力	令和4年度	自治体（行政）			包括的連携協定を締結している杉戸町からの依頼で、役場と共同で児童クラブで使用する家具の制作を行った。
450	日本工業大学	杉戸町消防団第三分団小屋の名称板の制作	令和4年度	自治体（行政）			包括的連携協定を締結している杉戸町からの依頼で、同町消防団第三分団小屋の名称板の制作を行った。
451	日本工業大学	宮代町のセレクト横丁「ROCCO」プロジェクトへの協力	令和4年度	民間企業			令和4年10月22日にオープンした6軒の平屋の空き家をリノベーションしてつくられた商業施設「ROCCO」において、本学の建築学科が建物間の空間デザインに、地域活動演習の授業がオープン時のワークショップに協力した。
452	日本工業大学	わわわ！トウブコ		自治体（行政）	民間企業		町の事業の関連イベント。東武動物公園駅西口広場から新しい村までを「誰もが居心地よく、歩いて楽しい賑わいのある公共空間」とすることを目指しており、本イベントは公共空間である「道路」の新たな使い方を検証するための社会実験を実施。木工サークルの学生が連なるベンチや打楽器のカホンなどを製作し設置。
453	日本赤十字看護大学	公開講座	令和3年度	自治体（行政）			本学が蓄積してきた保健福祉看護に関する知識・技術を地域社会に提供し、相互に研鑽し合えるような住民参加型の公開講座 ・「地域の皆さんと一緒に目指す健康な街づくり」 第1部講師：筑波大学人間総合科学学術院教授 久野伸也先生、第2部本学教員
454	日本赤十字看護大学	さいたま市保健所へのcovid-19 対策支援活動	令和3年度	自治体（行政）			さいたま市からの協力要請を受けcovid-19の対策支援活動を行った。 ・令和3年9月8日～30日（18日間）延べ33人派遣。合計1,057件対応。在宅療養者等への電話での助言や指導、相談に対応。 ・令和4年第6波、2月10日～3月末、延べ72名派遣。病院調整中療養者への健康観察、体調不良者の健康観察療養解除ステータス変更、外線対応など）など
455	日本赤十字看護大学	公開講座	令和4年度	自治体（行政）			令和4年度「食と健康—美味しく食べてメタボ予防」 講師：NPO 法人ヘルスプロモーションセンター理事長・医師佐藤和子氏
456	日本赤十字看護大学	さいたま市保健所へのcovid-19 対策支援活動	令和4年度	自治体（行政）			さいたま市からの協力要請を受けcovid-19の対策支援活動を行った。 ・令和4年第7波、8月18日～9月14日（13日間）、延べ25名派遣。合計488件対応。病院調整中療養者への健康観察、体調不良者の健康観察療養解除ステータス変更、外線対応など）など
457	日本赤十字看護大学	大学コンソーシアムさいたまリレー講座	令和4年度	自治体（行政）			コンソーシアム全体のリレー講座のテーマ「心と体の健康」を踏まえ、さいたま看護学部でのテーマを「笑い与健康」としセミナーを実施。 ・「笑い与健康のメカニズム」講義とエクササイズ 講師：本学教員 ・「笑い与健康」 講師：三遊亭楽生師匠
458	日本赤十字看護大学	UR 都市機構との共催事業	令和4年度	その他（UR）			UR都市機構から健康づくりへの協力依頼があり、セミナーを実施 コンフォール南浦和団地の住民対象に同団地集会所にて 第1回令和4年8月10日「今から始める物忘れ予防～健康寿命を延ばそう～」講師：本学教員
459	日本赤十字看護大学	UR 都市機構との共催事業	令和4年度	その他（UR）			UR都市機構から健康づくりへの協力依頼があり、セミナーを実施 コンフォール南浦和団地の住民対象に同団地集会所にて 第2回令和5年3月6日「自宅でいつまでの暮らし知恵」講師：本学教員
460	日本薬科大学	薬物乱用防止講演教室	平成22年	高等学校			埼玉県（保健医療部薬務課、教育委員会）、埼玉県薬剤師会との連携を図り、健康や薬について、関東1都6県の高等学校が取り組んでいる生徒向けの「薬物乱用防止の研修会」に講師派遣などを行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染の影響も収まりつつあり、講師派遣で49校、オンライン配信で21校の計70校の講演教室を行った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
461	日本薬科大学	理科教員のための実践教養講座	平成23年	高等学校			高大連携事業の一つとして、高等学校の理科教育の質的充実を目的とし、埼玉県（教育委員会）の後援を得て、関東1都6県の高等学校の理科教員を対象として研究実習棟の実習室を使用して開催している。令和4年度は、16名の参加者で「ヒト正常組織の構造観察と患者由来組織の観察」を開催した。
462	日本薬科大学	高校生のための一日薬剤師体験教室	平成23年	高等学校			埼玉県（保健医療部薬務課）と共催し、県内在住及び県内高等学校に通学する高校生を対象として研究実習棟4階の実習室、模擬薬局を使用して開催している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染の影響を考慮し、通常の60名から8割の48名を募集したところ120名を超える応募を得て、当日の体調不良による欠席1名が出たため、47名の参加者で開催した。
463	日本薬科大学	子ども大学 あげお・いな・おけがわ	平成23年	自治体（行政）			上尾市、伊奈町、桶川市が共同で開講する子ども大学に聖学院大学と共に講義、実習をそれぞれの施設を使用して開催している。令和4年度は、新型コロナウイルス対策を施し、38名の参加者で「薬剤師体験教室」を開催した。
464	日本薬科大学	伊奈町学校開放講座	平成26年	自治体（行政）			令和4年度は、「美と健康のためのサイエンス」をテーマとして、「入浴、睡眠の効果と入浴剤の上手な利用方法」、「体組成と骨密度の測定体験」、「紫雲膏づくり体験」の3講座を開催し、延べ30名の参加者を得た。
465	日本薬科大学	埼玉未来大学 （旧いきがい大学）	平成26年	自治体（行政）			前期は、「未病と健康」の講座を熊谷、川越、川口、春日部、伊奈の5個学園に講師を派遣し、後期は、「未病と健康」と「抗加齢的生活のすすめ」の講座をそれぞれ前期と同じ5個学園に2名の講師を派遣した。
466	日本薬科大学	公民館講座	平成28年	自治体（行政）			次の5個講座に講師を派遣した。 11月14日「健康食品の上手な利用法について」上尾市 11月21日「漢方の効能と腸活について」上尾市 12月5日「薬草・薬木を知って健康維持」上尾市 12月6日「健康食品やサプリメントの正しい選び方・使い方を学ぶ」鴻巣市 12月12日「健康維持に役立つ腸活と発酵食品の科学的エビデンス」上尾市 次の13個講座に講師を派遣した。 6月14日「アナフィラキシーとその対応」北本市 8月5日「薬物乱用と人権問題」蓮田市 10月1日「子育て世代のお薬講座」北本市 10月15日「12か月の養生」秩父市 11月19日「抗加齢的生活のすすめ」秩父市 11月19日「温泉学」埼玉県行政書士会 11月12日「薬残教室」蓮田市 11月26日「骨の健康と食事」秩父市 11月26日「お風呂博士が教える究極の入浴術」いきいき埼玉 12月3日「COPD（慢性閉塞性肺疾患）について」春日部市 1月26日「薬膳のキホン」加須市 2月22日「ご機嫌が身体に良いのはなぜでしょう」北本市 3月23日「いい目覚めのための睡眠」蓮田市
467	日本薬科大学	健康講座	平成28年	自治体（行政）			8月30日「新型コロナウイルスの最新情報」鴻巣市 12月15日「お屠蘇について知ろう」桶川市 2月16日「漢方のウソとホント」蓮田市
468	日本薬科大学	市民大学	平成28年	自治体（行政）			埼玉県知事と本学学長とが協定書を交わし、埼玉県福祉部長と本学学部長とが覚書を交わしたことに基づき実施している。令和4年度は、対面での授業を基本とし、前期は2講座を延べ9名が受講、後期は4講座を延べ11名が受講した。
469	日本薬科大学	大学授業開放講座	平成28年	自治体（行政）			高校生食品衛生実習：8月2日(27名)、4日(19名)、5日(29名) 高校生生薬類実習：1月22日(16名)、29日(55名) 探究学習支援 松山高校：5～6月(4回)(40名) 熊谷商業高校：6～8月(5回)(2名) 出張実習・講義 常盤高校：7月(2回)(15名)／9月(1回)(77名) 茗溪学園中学高校：9月(1回)(6名) 埼玉栄高校：10月(1回)(16名) 順天高校：11月(2回)(40名)／9～2月(12回)(3名) 川口市立高校：12月(1回)(60名)／3月(1回)(100名) 成女高校：10～2月(7回)(5名)
470	日本薬科大学	連携高等学校の生徒に対する実習・講義	令和元年	高等学校			地域福祉計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
471	人間総合科学大学	蓮田市地域福祉計画策定委員会	令和4年度	自治体（行政）			さいたま市が行っている子ども大学の講義の1つを岩槻キャンパスで開催した。さいたま市の4～6年生が対象で、「パラスポーツを知ろう」をテーマとして、2名の教員が講師となり義足の授業と模擬義足体験・パラスポーツ体験を実施した。
472	人間総合科学大学	子ども大学SAITAMA	令和4年度	自治体（行政）			ペットボトル等の使い捨てプラスチック製品の使用を抑制するとともに、産学官の連携による取組を広げていくことでプラスチックごみの削減を推進し、もって全世界共通かつ喫緊の課題である、プラスチック問題の解決に寄与するため、学生にマイボトルを使って市内の給水スポットを利用することで、給水スポットの利便性や普及への課題などを抽出し、解決策を検討することを目的として行った。
473	人間総合科学大学	さいたま市 給水スポット実証実験	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		梨を使った特産品の開発を行っている。
474	人間総合科学大学	蓮田市商工会いきいき街づくり委員会	令和4年度	産業界（企業等）			

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
475	人間総合科学大学	蓮田市蓮田ブランド推進協議会	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		市内に存在する地域資源、蓮田から想起される都市イメージ等に一体的なストーリー性を持たせ、それらを包括したものを蓮田ブランドとして確立するための調査検討並びにブランドの浸透及び推進に係る方法について協議等を行う
476	人間総合科学大学	ナト・カリ調味料を使用したランチメニューの開発・販売	令和4年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		本学では5年前から、さいたま商工会および、さいたま商工会会員の事業所とナト・カリ調味料を使用した商品の共同開発を行っている。今年度は3店舗でテイクアウトメニューを販売した。
477	人間総合科学大学	大学コンソーシアムさいたま	令和4年度	大学・短大（大学・短大間連携）			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
478	人間総合科学大学	さいたま市食品ロスプロジェクト	令和4年度	自治体（行政）			さいたま市では平成30年度より「さいたま市食品ロス削減プロジェクト」を開始し、食品ロスの削減を推進するため、事業者と市でつくる「チームEat All」事業に参加している。
479	人間総合科学大学	岩槻タウンカフェ	令和4年度	自治体（行政）			岩槻区の魅力あるまちづくりや課題解決について、行政に対する要望に偏らない、地域の自主的かつ主体的に実践できるようなアイデアを出し合う意見交換の場として開催。「岩槻区の特徴と課題」をテーマに、4校20名の学生・教員が参加した。
480	人間総合科学大学	さいたま市主催 第10回学生政策提案フォーラム in さいたま	令和4年度	自治体（行政）			さいたま市内及び近隣に所在する12大学で構成する「大学コンソーシアムさいたま」に加盟する大学の学生が、さいたま市の発展に寄与する政策や事業について自ら企画・提案するフォーラム。「農業を通して健康の輪を広げよう！」「食品ロス削減」をテーマに2チームが参加した。
481	人間総合科学大学	ひなまつり(総合文化芸術祭・まちかど雛めぐり)	令和4年度	自治体（行政）			2月26～28日開催を予定していたが、コロナによりイベントは中止としたが、屋外展示のひな人形の階段飾りのみそのまま行った。予定していたイベントの音楽フェスティバルを無観客で行い、その模様をYouTube配信した。
482	人間総合科学大学	蓮田市 市民大学	令和4年度	自治体（行政）			蓮田市中央公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「健康食と料理について」をテーマに講義を行った。
483	人間総合科学大学	蓮田市 子ども講座	令和4年度	自治体（行政）			蓮田市中央公民館主催の講座で、子どもでも安全に作れる料理の動画を撮影した。今後配信の予定。
484	文教大学	文教大学あいのみ文庫	昭和57年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			文教大学越谷図書館の児童室施設・資料を地域の子どもたちに提供する児童文庫活動。設置当初は図書館の業務の一部だったが昭和62年より運営をボランティアに委託している。 平成18年文部科学大臣賞受賞。
485	文教大学	親子科学教室	平成15年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			NPOとの共催で、夏休みに公開講座として開催している。実験を伴い、自由研究への導入としても役立つ内容を提供する。また、親子で参加していただくことで、大人にも発見のある講座となっている。 令和4年7月23日（土）「光と虫めがね一牛乳バックカメラで写真を撮ろう」 NPO埼玉たのしい科学ネットワーク講師
486	文教大学	文教大学あいのみ文庫連続講座	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		文教大学あいのみ文庫の活動として、文庫スタッフおよび有識者等による連続講座を開催している。関心をもつ親のほか、学校司書等も参加している。 ・乳幼児を持つ親のための講座「わくわく絵本教室」 ・図書ボランティアのための講座「本物の読み手を育てるために」
487	文教大学	越谷市シルバーカレッジ	平成21年度	自治体（行政）			越谷市在住の60歳以上の方を対象に、生涯学習の一環として学習の機会を提供する。 令和4年10月5日（水）「片膝立てでする茶の湯」 令和4年10月19日（水）「千利休は切腹をしていない」 いずれも 教育学部教授 中村修也
488	文教大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短大（大学・短大間連携）	H25年度までは「子ども大学こしがや」H26年度より「子ども大学こしがや・まつぶし」 越谷市及び松伏町在住の小学生に発展的な学習の機会を提供するため、本学および他の団体が連携し、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」をテーマにリレー講座を実施している。 令和4年10月8日（土）「紙を折って考えよう面白くて簡単な規則性と推論、累乗、指数関数」教育学部教授 石井勉 令和4年12月17日（土）「住まいの智恵や工夫を探ってみよう！」教育学部教授 妹尾理子
489	文教大学	シニアアカデミー	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県のリカレント事業に賛同し、県福祉部との協定に基づき実施。県内在住の55歳以上の方を対象に、学部授業の一部を開放している。 令和4年度開放科目：「音韻論」「Gender Studies」「心理学概論」「Special Topics in Area Studies」「国際理解教育」「ヨーロッパ文化研究Ⅰ」「物理学」「ボランティア論」「生きがい論」「語りの技法」「文学」「演劇論Ⅰ」「Environmental Issues」
490	文教大学	越谷市 学生ボランティア制度	平成29年度	自治体（行政）			本学で教職を目指して学んでいる学生が学校応援団の一員として越谷市内の小・中学校における教育活動をサポートする。
491	文教大学	さいたま市教師塾「夢」講座	平成30年度	自治体（行政）			さいたま市教員等資質向上指標（キャリアnavi）【教諭・主幹教諭】に示されている資質を確実に身に付け、教職への意欲と使命感に燃えるさいたま市の教員を養成するために実施する。
492	文教大学	三郷市 学生ボランティア制度	令和2年度	自治体（行政）			本学で教職を目指し学んでいる学生が学校応援団の一員として三郷市内の小・中学校における教育活動を補助するための制度。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
493	文教大学	「高校生「学び」"夢"プラン」の受入れ	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会との連携により、県内高校で学ぶ生徒の進路選択の参考、職業や生き方を考える機会として埼玉県民の日に実施。通常授業に高校生・高校教員を受け入れる。 令和4年度対象授業：「教育心理学」「ボランティア論」「Problem-solving Workshop」／模擬授業：「新たなるリーダーシップと会計学思考のススメ」「衣服から学ぶ砂漠の文化」「ホスピタリティサービス論」「体内で働く栄養素と生活習慣病との密接な関係性を知ろう」「ドローンの仕組みと活用事例を学ぶ」
494	文教大学	教職を目指す高校生を対象とした説明会の実施	令和4年度	自治体（行政）			埼玉県教育委員会との連携協定に基づき、教職を目指す高校生を対象とした説明会を教委と協働して企画・実施、講師の派遣を行う。 令和4年度派遣実績：県立松山女子高校、県立杉戸高校
495	文教大学	彩の国 かがやき教師塾	令和4年度	自治体（行政）			大学生の早い段階から、学校現場で体験を積むことによって、教職に対する学生の意欲を高めるとともに、将来の埼玉教育の中核的な立場として活躍できる教員の基礎となる資質を育成することを目的としたもの。
496	文教大学	さいたま市 アシスタントティーチャー	不明	自治体（行政）			教員を志している大学生による学習支援ボランティア（アシスタントティーチャー）は、児童生徒のきめ細かな学習支援の実現と、参加する大学生の教員となるための意欲や資質を高めることを目的としたもの。
497	文京学院大学	公開講座 ウィークエンドフォーラム	平成4年度	自治体（行政）			ふじみ野市及び周辺地域に対する知識の提供を目的として、公開講座を開講。令和4年度は、10月1日（土）に実施した。
498	文京学院大学	市民大学ふじみ野	平成14年度	自治体（行政）			平成14年の「町民カレッジ」を初期として、以来ふじみ野市との連携で、「市民大学ふじみ野」と名称を変え、ふじみ野市を中心に市民に対する公開講座を開講して来た。令和4年度は、9月8日（木）、9月9日（金）に実施した。
499	文京学院大学	淑徳大学・文京学院大学共催公開講座	平成14年度	自治体（行政）	淑徳大学		富士見市、ふじみ野市、三芳町その他の地元社会において公開講座を開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供する事を目的とする。令和4年度はオンライン講座として実施。「心と身体（からだ） 食う・寝る・遊ぶ」をテーマに10/1淑徳大学、10/22文京学院大学として2日間の公開講座を行った。
500	文京学院大学	彩の国大学コンソーシアム	平成14年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		埼玉県内にある13の大学が連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展を図るとともに、生涯学習や地域貢献を目的として公開講座を開講する。令和4年度は、文京学院大学の教員が講師となり9月13日（火）に実施した。
501	文京学院大学	ボランティア支援活動	平成17年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス地域連携センターBICSでは、学生が中心となり、近隣地域の小学生、自治体、町内会、NPO法人、高齢者施設、障がい者施設と連携し、音楽演奏、スポーツ、レクリエーションなどのボランティア支援を定期的に行っている。令和4年度はコロナ禍のため対面活動は見送ったが、学生が主体的に関われる非対面での活動に取り組んだ。
502	文京学院大学	都市ー農村交流による福島再生プロジェクト	平成18年度	地域団体（協議会、農家団体）	自治体（行政）	大学（大学間連携）	東北震災後の福島の農村・農業を活性化するグリーンツーリズムを実施。都市と農村の住民が相互交流することで福島の農業を支援していく活動。令和4年度はコロナ禍のため実施は見送り。
503	文京学院大学	高大連携講座「高校生のまなびとあそびのキャンパス」	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			ふじみ野高校普通科1年生を対象とした体験授業。学生による課外活動の説明の後、各学部・学科の教員が担当する体験学習を重視した複数講座のうち、希望する1講座を受講するプログラム。教員指導の下、進行を大学生・大学院生が務める講座もある。令和4年度コロナ禍のため実施は見送り。
504	文京学院大学	子ども大学ふじみ野	平成25年度	自治体（行政）			子ども大学ふじみ野は「まなびでつながりひろがる人と地域を育むまちふじみ野」を基本理念とする「ふじみ野市生きがい学習推進計画」に従い、普段学校では学ぶ事の出来ない専門的カリキュラムによって、子供の知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行っている。 具体的には、総合テーマを「共に生きる社会の理解」とし、多様化している現代社会において、課題に対応する「生きる力」を地域で育むとともに、誰もが笑顔で生活できるまちづくりのきっかけとなる学びを提供している。 対象者は市内に在住する小学校4～6年生とし、文京学院大学ふじみ野キャンパスを中心に、原則市内で実施している。令和4年度は、SDGsをテーマに対面形式で実施した。
505	文京学院大学	ふじみ野市と学校法人文京学園との連携協力に関する包括協定書	平成28年度	ふじみ野市			社会福祉の充実に関する事項や、教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事項、環境の保全・回復・創出に関する事項、産業振興、地域コミュニティの発展、人材育成に関する事項。令和4年度も「公務キャリア特講（2年後期）」の授業において、市役所の全部署のご担当者様から対面により講義を実施した。
506	文京学院大学	アートフェスタふじみ野	平成29年度	自治体（行政）			包括協定締結先のふじみ野市のイベントに、学生、教職員が出演及び運営に参加している。令和4年度は、12月17日（土）、18日（日）でふじみ野市の施設にて対面で実施した。
507	文京学院大学	文京学院大学人間学部とふじみ野高等学校との教育連携に関する協定書	平成29年度	埼玉県立ふじみ野高等学校			双方が実施する教育連携事業等への生徒、学生の参加。双方の教員による出前授業及び施設・設備の利用や教員の資質向上のための研修。教育についての情報交換及び交流。令和4年度はコロナ禍のため実施は見送り。
508	文京学院大学	文京学院大学と中京学院大学との相互交流に関する協定・覚書	平成29年度	中京学院大学			学生交流として、両大学の学内行事、課外活動、地域社会との連携活動、サークル活動等を通して学生の教育や諸活動を支援し、学生間交流の活性化を目指す。教員交流として、両大学での要請に応じて共同研究の実施、学士教育の改善に資する意見交換や研修等を通して幅広い交流を図る。 事務職員交流として、事務職員の資質向上、学生支援の改善に資するため、相互訪問や相手大学の研修会への参加、行事への参加等を通じて幅広い交流を図る。令和4年度は、文京学院大学の学園祭はオンライン交流とし、中京学院大学の学園祭へは訪問し双方交流を行った。
509	文京学院大学	商店街活性化プロジェクト	平成30年度	地域団体（商店会）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス周辺のシャッター商店街を大学生と地域の連携活動により活性化を実施。現在は空き店舗を借り大学生が地元の子どものための交流を図る駄菓子屋を運営している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
510	文京学院大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		令和4年度もほとんどの事業がオンラインで行われた。令和4年度は、10月1日（土）にはオンライン公開講座を本学とふじみ野市立介護予防センターより配信した。10月29日（土）には、東松山クリーンウォークを実施、学生・教職員9名が参加した。
511	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	自治体（行政）			学生がふじみ野市役所を訪問。市役所の仕事等をご説明をいただき、公務員の仕事への理解を深めることを目的として実施。令和4年度コロナ禍のため実施は見送り。
512	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	産業界（地元企業）			学生が地元企業を訪問。地域経済への貢献、仕事の内容などへの理解を深めることを目的として実施。令和4年度コロナ禍のため実施は見送り。
513	文京学院大学	インターンシップ	令和元年度	自治体（行政）			大学の所在地であるふじみ野市にてインターンシップの受け入れを依頼。令和4年度コロナ禍のため実施は見送り。
514	文京学院大学	おうちゃ時間プロジェクト	令和2年度	産業界（地元企業）			コロナ禍の影響により人々の生活に変化が生まれたことをきっかけに、「人との繋がりを大切にしながらほっとする時間を作りたい」と話し合いを続け令和2年度に「おうちゃ時間プロジェクト」を立ち上げ、埼玉県ふじみ野市の松澤園様と連携し社会貢献活動を行ったが、令和4年度は実施しなかった。
515	平成国際大学	子ども大学かぞ	平成24年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するため、加須市教育委員会、加須青年会議所、加須げんきプラザ、加須市子育て支援課と連携して、ものごとの原理やしぐみを追及する「はてな学」、地域を知り郷土愛を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の分野を開講している。
516	平成国際大学	加須市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）	加須市消防団「大学生機能別団員」に平成国際大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時（消防団PR活動や大規模災害を想定した訓練など）及び大規模災害時（避難場所運営、物資の仕分け、避難誘導など）の活動に協力する。
517	平成国際大学	大宮東高等学校と平成国際大学との連携協定	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			双方の教育資源を活用し活性化を図るため、スポーツ科学的なサポート通じた高校生の競技力向上、インターンシップ実習（就業体験）の受け入れなどを行っている。
518	平成国際大学	子ども大学くき	平成30年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するため、久喜市教育委員会、久喜青年会議所と連携して、ものごとの原理やしぐみを追及する「はてな学」、地域を知り郷土愛を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の分野を開講している。
519	平成国際大学	3市（行田市、加須市及び羽生市）1商工会議所（行田）、3商工会（加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会）3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力	令和2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	3市、1商工会議所、3商工会、3大学は、3市の圏域特性及び各当事者の特色や資源を活かし、高等教育等の教育及び地域連携活動に際しての産学官の協力促進のため、協定を締結した。 R4年度： 7月27日（水）、3月3日（金）彩北未来プロジェクト会議 10月29日（土）30日（日）大学祭における彩北未来プロジェクト広報活動 2月17日（金）三大学合同研究発表会
520	平成国際大学	加須市シニアいきいき大学	平成23年度	自治体（行政）			高齢者の主体的な学習参加や学習活動を促進し、高齢者の力を社会に活かしていくため、加須市内在住の60歳以上を対象に「社会科学部」、「自然科学部」で専門的な講義を行っている。
521	武蔵野音楽大学	入間市 市民コンサート	昭和55年度	自治体（行政）			文化事業の一環として、入間市民にクラシック音楽鑑賞の機会を提供することを目的（協定内容）として昭和55年度（1980）に開始した。長年にわたり親しまれ続け、今年度（令和4年度）で43回目を迎えた（令和元年度は台風の影響で中止、令和3年度は新型コロナ感染拡大防止の観点により中止）。現在では入間市教育委員会入間市立中央公民館が主催し、「市民コンサート」として市民に広く定着している。例年10月中旬から下旬の間に、両方で検討のうえ日時・会場を設定している。令和4年度は10月8日に武蔵野音楽大学パッサザールで開催し、多数の市民がオーケストラの演奏を鑑賞し好評を博した。
522	武蔵野音楽大学	入間市立西武中学校合唱祭	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月にしない近隣の中学校が開催する合唱際に本学のコンサートホール「パッサザール」を提供している。毎年、主催者の要望に応え、本学より演奏者をゲスト出演させているが、令和4年度はヴァイオリンの独奏とパイプオルガンの演奏の依頼があり、大学院に在籍する優秀な学生の演奏を提供した。
523	武蔵野音楽大学	子ども音楽大学いるま	平成25年度	自治体（行政）			「子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供する」目的で、「子ども音楽大学いるま」と銘打って、入間市教育委員会生涯学習課との連携により、地域の小学生（4年生～6年生）30名を対象に9月～10月の間に3日間実施している。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となったが、令和4年度は作曲、パイプオルガン、楽器ミュージアム主催の講座を開催した。
524	武蔵野音楽大学	入間市文化創造アトリエ・アミーゴ アフタヌーンコンサート「武蔵野音楽大学の名手たち」	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			入間市の公共施設「入間市文化創造アトリエ・アミーゴ」は、市民のNPOによる運営で、演劇、音楽、古典芸能、アートなどの文化芸術分野で様々な事業を展開している。同じ入間市内にキャンパスを持つ音楽大学として、市民にクラシック音楽に親しむ機会を提供すると共に、地元出身の若い演奏家を応援するコンサートとして、本学大学院の学生を中心とした演奏会を毎年開催し、市民から好評を得ている。
525	武蔵野音楽大学	入間市立東金子中学校合唱祭	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			近隣の中学校が開催する合唱際に本学のコンサートホール「パッサザール」を提供し、主催者の要望に応え、本学よりパイプオルガンの演奏を大学院に在籍する優秀な学生が演奏した。
526	武蔵野学院大学	公開講座	平成20年度	自治体（行政）			R4年度コロナにより中止

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
527	武蔵野学院大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みを5月から7月にかけて全9回・18講座を実施している。 令和4年度は6校と学校間連携協定書を締結し、協定校では単位互換制度を利用している。また協定校のみならず、近隣の高等学校に向けても広報活動を行い、希望する高校生が受講できるようにしている。 ※協定締結校：埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立秩父農工科学高等学校、私立日々輝学園高等学校東京校
528	武蔵野学院大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携して、ものごとの原理やしぐみ追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
529	武蔵野学院大学	インターンシップ	平成28年	自治体（行政）	産業界（企業等）		正規授業である「インターンシップ」の授業を産学官連携によるPBL(Project-Based Learning)型で実施している。 狭山市の企業が抱える課題を学生がグループで解決する中で学びを深めるという授業内容で、学生の学び(教育的価値)だけでなく、企業の課題解決(経済的価値)と狭山市の課題解決(社会的価値)を同時に実現することを目指している。 市職員の方々には、事業所の紹介や学生への講和等でご協力いただいております。産学官三位一体のプロジェクトとして推進している。
530	明海大学	病診連携と登録医制度	平成15年度	その他			埼玉県歯科医師会の各郡市歯科医師会と連携し、登録医の患者紹介による診療、診断の補助、共同診療など効率的な医療の推進。 明海大学歯学部メディアセンター利用や研修会、セミナーへの参加。
531	明海大学	図書館の施設開放	平成15年度	その他	その他		病診連携登録医、SALA（埼玉県大学・短期大学図書館協議会）加盟館の学生及び教職員並びに城西大学の学生及び教職員への図書館開放。
532	明海大学	坂戸市と女子栄養大学、城西大学及び明海大学の坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定に基づく事業	平成18年度	地域団体	自治体	大学等	坂戸市は、市民の多くが首都圏で働く、典型的なベッドタウンである。そのため、団塊の世代の退職者が増加するに従い、急速に高齢化が進む可能性が高く、「生活習慣病予防」の対策を積極的に行うことが大変重要な時期にある。現在、明海大学歯学部は、「食を通じた健康づくり応援店」の認定審査に参加している。
533	明海大学	子ども大学にしいるま	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	大学、市、町、県が連携し、大学教授等プロフェッショナルが小学校で教えないような課題を大学で教えるという、子ども（4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 以下の2分野の講義を基本としている。 1.ものごとの原理やしぐみ追求する「はてな学」 2.自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
534	明海大学	坂戸市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）	坂戸市消防団「大学生機能別団員」に明海大学、城西大学及び女子栄養大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時（火災予防及び消防団PR活動、出初め式及び防災訓練など）及び大規模災害時（避難所等での支援活動など）の活動に協力することで、地域防災体制の一層充実を目的としている。
535	ものづくり大学	公開講座	平成13年度	自治体（行政）	その他		本学の理念等を広く社会に周知させるとともに、地域の文化の向上、活性化に資することを目的とする。 行田市民を対象とする「市民特別公開講座」と、県民全体を対象とする「特別公開講座」について、講師を招いて講演を行う。  特別公開講座：12月19日（月）「からくりは日本のものづくりの源流」（講師：九代玉屋庄兵衛氏、末松良一氏）を大宮で開催
536	ものづくり大学	授業製作物の寄贈、貸出	平成13年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	企業	授業製作物である東屋やベンチ、遊具などを、公共施設を中心に寄贈している。一部は貸出という形で設置している。
537	ものづくり大学	県内各種団体による大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	自治体・行政による視察や、学校等の社会科見学のための大学見学の受け入れ 2022年度コロナにより中止
538	ものづくり大学	(高大連携事業)大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生の大学見学の受入れを実施。 11月川越工業高校1年生（80名） 1月上尾橋高校2年生（3名） 2月大宮工業高校1年生（56名） 3月日高高校2年生（37名）
539	ものづくり大学	マンガカーレース大会	平成14年度	自治体（行政）			行田市教育委員会の後援により実施している。 電池を使用した簡易な車の模型を作成し、コースで走らせることで、小学生に“考えて作る”機会を与え、ものづくりの楽しさを実感してもらうと同時に、工夫して機械の性能向上を考察する体験を通じて科学技術への興味を促している。 一方で、イベントの企画運営・小学生への指導などを大学生主導で行わせることにより、ものづくり活動の疑似体験、および社会に貢献する満足感を与え、さらにはコミュニケーション能力の向上を図っている。 10月22日（土）、23日（日）事前工作教室 10月29日（土）、30日（日）学園祭と併せて工作教室及びレース大会

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
540	ものづくり大学	インターンシップ	平成14年度	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	ものづくり大学のインターンシップは、ものづくり教育の基礎となるカリキュラムの中で、将来企業で活躍するための社会人を身に付けるキャリア教育として位置づけられている。実務現場での研修を通して学習の意欲を高め、仕事をする意味や現場での考え方、コミュニケーションの必要性など社会人としての素養を高めることを目的としている。2年次の第2クォータに必修科目として配当しており、実働40日間の長期インターンシップは本学の特色の一つとなっている。なお、コロナの影響により2020年度に実施できなかった学生も含めて2021年度に実施したが、2021年度に実施できなかった学生については、2022年度に実施した。2022年度は、334人の学生が就業体験の機会をいただき、受入企業総数231社のうち県内企業118社においてインターンシップを行った。
541	ものづくり大学	みんなでつくる公園整備事業	平成16年度	自治体（行政）			本学で制作した東屋等を無償で行田市に提供している。 東屋1基を提供 行田市内の太子公園に設置
542	ものづくり大学	おもしろものづくり教室	平成20年度	自治体（行政）			行田市民の小学生を対象に、ものづくりの楽しさや面白さを実感してもらおう。また、ものづくり大学の「技術および知的資源」を活用した事業を実施することにより、行田市における教育環境等の充実に寄与することを目的とする。 2022年9月～11月まで全5回実施した。 9月11日（日）「木材でスライド本棚を作ろう」 9月17日（土）「イルミネーションをプログラミングしよう」 10月2日（日）「技能五輪金メダリストと日本庭園を造ろう」 10月9日（日）「ペットボトルロケットを飛ばしてみよう」 11月5日（土）「空想上の街と建物の模型を作ろう」
543	ものづくり大学	行田市民大学	平成21年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		行田市民大学への学内施設の貸出および講師派遣（2022年度は講師派遣のみ） 6月2日（木）：クルマと社会の過去と未来を覗く 6月8日（水）：郷土の歴史「忍領に残る歴史遺産」 6月30日（木）：まちづくり-2～地域を知ってアイデアを出そう 7月28日（木）：元気の出る街づくり-1 11月24日（木）：見て感じて理解する日本の建築－美術館、博物館をめぐる－
544	ものづくり大学	子ども大学ぎょうだ	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。全日、本学職員が参加している。 7月9日（土）入学式、「折り紙建築を作ろう」 7月16日（土）「ゲームで学ぶSDGS」、「行田市の偉人について」 7月30日（土）「いろいろなリズムで音楽世界旅行」 8月20日（土）「夏にヒンヤリ！冷却バックを作ろう」、「未来の行田」 9月10日（土）「デジタル通信を体験してみよう」、「未来の行田」、卒業式
545	ものづくり大学	鴻巣おもちゃの病院との連携	平成23年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			鴻巣市社会福祉協議会主催の「鴻巣おもちゃの病院」が、本学の学園祭においても開院している。
546	ものづくり大学	子ども大学こうのす	平成25年度	自治体（行政）			大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。 2022年度コロナにより中止
547	ものづくり大学	埼玉国際学園との連携	平成26年度	その他			熊谷にある日本語学校である埼玉国際学園との連携協定に基づき、見学の受入れなどを行っている。
548	ものづくり大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成26年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業。高校生が普段の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会とすることを目的とする。対象は、埼玉県の高校で学ぶ生徒及び高校教員。 2022年度コロナにより中止
549	ものづくり大学	中学生の職場体験	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			鴻巣市の中学生が「鴻巣市中学生社会体験チャレンジ事業」として本学の学生食堂で職場体験を実施 2022年度コロナにより中止
550	ものづくり大学	夏休み体験教室	平成28年度	その他			ユニクス鴻巣管理事務所の要望により、小学生を対象とした木工教室を開催した。建築研究会の学生が木の写真立ての製作を指導した。 2022年度コロナにより中止
551	ものづくり大学	新型コロナウイルスの流行が近郊型観光地の来訪意識に及ぼす影響に関する基礎的研究-埼玉県長瀬町の事例-	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町産業観光課および長瀬町観光協会と共同で取り組んでいる。 長瀬町の観光需要回復を目的に、新型コロナウイルスの流行による観光者の観光意識の違いなどを調査・分析することで、観光産業の需要回復へ繋がる活用方針の検討を行った。
552	ものづくり大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			3者における教育研究と学術交流及び地域連携活動における協力の促進を図ることを目的とし協定を締結した。 2月17日（金）三大学合同研究発表会（オンライン配信）
553	ものづくり大学	職場内での短時間保育	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			NPO法人子育てネット行田との連携協定に基づき、職員等の子育てサポートとして職場内での短時間保育の環境を整えている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
554	ものづくり大学	東松山市内の社寺建築悉皆調査	平成30年度	自治体（行政）	その他		官学連携事業として、東松山市内野本地区の社寺建築悉皆調査を行った。あわせて慈眼寺馬頭観音堂および厨子、巖殿山正法寺仁王門、常安寺米山観音堂の建物調査、図面制作を行った。
555	ものづくり大学	3市（行田市、加須市及び羽生市）1商工会議所（行田）、3商工会（加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会）3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力	令和2年	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	3市の圏域特性及び各当事者の特色や資源を活かし、高等教育等の教育及び地域連携活動に際しての産学官の協力を促進することを目的とし、協定を締結した。 7月27日（水）2022年度第1回彩北未来プロジェクト会議 7月21日（木）子ども大学はにゅうへの講師派遣 10月29日（土）、30日（日）学園祭に彩北未来プロジェクトのパネル展示 3月3日（金）2022年度第2回彩北未来プロジェクト会議
556	ものづくり大学	「熊谷まちなか再生エリアプラットフォームフォーム」プロジェクトへの参加	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）		熊谷市のまちづくり（事業）の一環として、星川夜市の活性化を目指し、出店希望者にレンタルできる汎用性の高い屋台を制作した。
557	ものづくり大学	鴻巣市内公共施設の施設用品の製作・修繕	令和3年度	自治体（行政）			鴻巣市の公共・教育施設等から依頼を受け、卒業制作の一環として、テーブルや収納箱などの木製什器81点を小学校や児童施設に寄贈した。
558	ものづくり大学	羽生市「とまり木パークプロジェクト」に調査協力	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		地域経済循環の活性化と公園の新たな魅力・価値を生み出すことを目的とした公民連携事業に田尻研究室が参加し、公園来訪者や出店者に対してプロジェクトに対する認知や評価、イベントに対する満足度などを調査した。
559	ものづくり大学	加須市古民家の建物状況調査	令和4年度	その他			研究の一部に文部科学省科学研究費の助成を受け、取り組んでいる。増加傾向にある加須市内の空き家の活用を見据えた調査を進めている。2022年度は建物状況調査を行い、改修ユニット案を作成した。
560	ものづくり大学	鴻巣市「旧中山道商店街活性化プロジェクト」に調査協力	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		鴻巣市総合政策課および鴻巣市商工観光課と共同で取り組んでおり、調査にあたり埼玉縣信用金庫鴻巣支店等と協力している。 地域住民の商店街に関する意識調査、商店街の店舗継承・後継者問題に関する調査、空き店舗の再利用に関する調査、イベント運営に関する調査を行った。
561	ものづくり大学	行田市真観寺仁王門の建物調査・図面作成	令和4年度	その他			行田市内の真観寺仁王門の建物調査および図面作成を行った。
562	ものづくり大学	行田市長光寺空殿（厨子）の建物調査及び図面制作	令和4年度	その他			行田市内の長光寺空殿（厨子）の建物調査および図面作成を行った。
563	ものづくり大学	行田市歴史的建造物 勇実スクール工場 モルタル蔵の調査・図面制作	令和4年度	その他			行田市内の歴史的建造物であるイサミスクール工場のモルタル蔵の調査および図面作成を行った。
564	ものづくり大学	川島町金剛寺宝篋印塔の図面制作	令和4年度	その他			川島町内の金剛寺宝篋印塔の調査および図面作成を行った。
565	ものづくり大学	行田市における防災意識に関する基礎的調査	令和4年度	自治体（行政）			行田市危機管理課と協力し取り組んでいる。 行田市に居住する住民を対象に、地域の防災力向上を目的として、防災能力や意識、コミュニティの現状等を把握し、防災意識とコミュニティの関連性や、伝承された被災経験や教訓が与える影響を調査を実施・分析した。
566	ものづくり大学	行田市「花いっぱい運動」フォトスポットの設計制作	令和4年度	自治体（行政）			行田市農政課と共同で取り組んでいる。 市内の花き農家を応援するため行田産のポット苗を使い、市民や観光客に花で癒しを提供する「花いっぱい運動」の一環として、花を用いたフォトスポットおよびフラワースポットを市内に4か所制作した。
567	ものづくり大学	仮設的な山羊小屋のビルド/デザイン	令和4年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			東松山市の月田橋溪流の里農場の山羊小屋について、単管パイプで組まれた仮設的であったものを、ヤギの行動や環境の変化に応じて可変しやすくように管理者と学生が施工し、改修した。
568	ものづくり大学	行田市荒木における高齢者福祉施設の増築・改修計画	令和4年度	産業界（企業等）			行田市荒木の高齢者福祉施設において、建物の外観を損なわないよう環境条件に配慮した室外機カバーを制作した。また、施設北側の緑地帯に地域で生産された瓦を再利用した塀を制作した。
569	ものづくり大学	小規模保育園で使用する室内遊具の制作	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			川越市にある小規模保育園で使用する園児用室内遊具として「手押し車（カタカタ）」をベースとした遊具を制作した。
570	ものづくり大学	鴻巣市鎌塚八幡瀧・の手水舎の建て替え	令和4年度	その他			鴻巣市の鎌塚八幡神社の手水舎が腐朽し、倒壊の恐れがあったため、現地を調査し、建て替えを行った。
571	ものづくり大学	受託研究受入れ	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県立いずみ高等学校卒業生就職状況調査
572	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生のインターンシップ受入れ		幼保・小・中・高等学校等			県内高等学校から高校生のインターンシップ受入れを行った。 岩槻北稜高校2年生（4名）：11月7日～10日 大宮工業高校2年生（8名）：11月16日～17日 川口工業高校2年生（4名）：11月16日～17日
573	ものづくり大学	(高大連携事業)ものづくり大学出張授業		幼保・小・中・高等学校等			高校と大学を結ぶ高大連携を目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 ものづくり大学の授業の一端に触れることで、大学で勉強する内容を知るとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしさを感じてもらおうとともに、ものづくりの「技」と「知恵」、そして「心」をあわせもつ有為の人材を育成して、ものづくり産業の発展を目指すという本学の設立の趣旨からも、出張授業がその一助になることを願っている。 筑波大学附属坂戸高校1～2年生（49名）：11月16日 熊谷工業高校1年生（51名）：3月22日

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
574	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生・大学生共同プロジェクト		幼保・小・中・高等学校等			高校生・大学生による共同プロジェクト事業。 鴻巣高校、鴻巣女子高校、吹上秋桜高校の美術部と協働し、吹上駅の自由通路にフラワーデザインアートを制作。
575	立教大学	水泳教室	昭和47年度	その他			令和4年度で51回目を迎えます。毎年8月の夏休み期間を利用して、近隣の3～12歳の子供たちを対象に、体育会水泳部が水泳教室を行っています。期間中の延べ1,000名近くが参加する人気の企画です。平成27年度より、屋内プールになり、天候に影響の受けません。
576	立教大学	新座市内大学講座	平成9年度	自治体（行政）			新座市・新座市教育委員会から委託を受け、市民向けに、「公開講座」「スポーツ教室（野球・サッカー・バレーボール・乗馬）」「クリスマスコンサート」などを開催している。
577	立教大学	市内3大学学生と市長との懇談会	平成9年度	自治体（行政）			柔軟な思考で斬新なアイデアの提案が期待できることから、大学生が市政に対する提言等を新座市長にするというもの。市内にある三つの大学に通学する学生を対象に、懇談会形式で実施しています。令和元年度は「新座市のブランドイメージの向上や魅力を発信するためにどのようなイベントを企画してみたいか」をテーマに学生が提案をしました。
578	立教大学	インターンシップ	平成11年度	自治体（行政）			官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会とする。実施期間：夏季休暇中（前期）または春季休暇中（後期）を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防を優先し、対象企業の制限を行った。
579	立教大学	にぎざプラスカレッジ（旧新座市民総合大学）	平成12年度	自治体（行政）			R4年度コロナにより中止。新座市・新座市教育委員会主催。市内3大学（跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学）が2学部3学科を開学し、市内在住もしくは在勤・在学の18歳以上を対象に講義を実施。
580	立教大学	武蔵野銀行×立教大学産学連携プロジェクト	平成19年度	産業界（企業等）			埼玉県の地域活性化に貢献することを目的に武蔵野銀行と産学連携協定を締結し様々な活動を行っています。事例として、地域活性化を目的として、まち歩きMAPを本学観光学部生が作成しています。『ぶらって幸手』から始まり、羽生、行田、加須、氷川参道、新座、小鹿野、秩父、川越などを制作を続けていて、令和3年度は「ぶらって草加」を作成した。
581	立教大学	地域児童の大学への招待	平成21年度	その他			ボランティアセンターが主催となり、学生ボランティア団体が日常の活動で訪問している新座キャンパス近隣の放課後児童保育室（学童保育）の児童を大学に招待する企画を実施している。学生ボランティア団体が共催となり、夏休み（8月上旬）の2日間、遊びのプログラム提供、簡単な工作教室を行っている。令和3年度はコロナ禍で中止。
582	立教大学	バリアフリー映画上映会	平成21年度	その他			R4年度コロナにより中止。新座市、新座市社会福祉協議会、志木市の後援により、有志の学生実行委員会が、ボランティアセンターと市民団体の協力のもと、障がいがあっても誰もが参加できる映画会を行っている。学生が役割分担をして、バリアフリー対応として音声ガイド、手話通訳、文字通訳、最寄り駅から大学までの誘導案内など丁寧に行っている。広く新座市民（特に、映画に行きにくい生活状況下にある方々）に来場を呼びかけ、地域貢献の一助としている。
583	立教大学	中山間「ふるさと支援隊」（横瀬町、小川町）	平成22年度	自治体（行政）			埼玉県内の中山間地域の多くの集落では、高齢化や過疎化の進行により、農林業や地域活動の維持が困難な状況となっています。埼玉県では、平成22年度から大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、若い感性や専門知識を活かして中山間地域に活力をもたらす支援をしています。
584	立教大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、富士見市の子ども30名を対象に、学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的とし、様々な授業を展開している。
585	立教大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的とし、「乗馬教室」などを開催している。
586	立教大学	飯能信金との経営塾	平成24年度	産業界（企業等）			本学ビジネスデザイン研究科と飯能信用金庫が連携して実施する飯能信用金庫の地元企業若手経営者及び後継者を対象とした全18回程度の経営塾を開講している。激変する経営環境に対応した戦略的経営に必要な資質を向上させるための教育プログラムである。飯能信用金庫がプログラム全体の運営を行い、ビジネスデザイン研究科は、各講座の企画・内容を提案・実施し、講師も派遣するなどプログラム運営の支援を行っている。
587	立教大学	彩の国アスポート学習支援事業との科目展開	平成26年度	自治体（行政）			新座市により、アスポート学習支援事業（運営：一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク）が展開されている。大学から「RSL（立教サービラーニング）」科目においては、生活保護受給世帯の中高生を対象とする学習支援事業の方針を理解したうえで学生を派遣し、事業運営団体は本学科目の運営方針を理解したうえで学生を受け入れている。
588	立教大学	正課授業 立教サービラーニング(RSL)－ローカル（地域共生）	令和4年度	地域団体			熊谷市をフィールドとして、「農福連携」に取り組む企業での農作業や地域に根ざした「農からはじまる暮らし」の体験（ハンディキャップをもつ方々との農作業やワークショップ、農産物の生産から商品として消費者へ提供される過程についての体験的な学び）をとおして、地域における社会的包摂のあり方やローカルな視点から持続可能な社会をつくるために必要な視点や方法を学びます。
589	立正大学	立正大学オープンカレッジ	昭和42年度	自治体（行政）			熊谷市と、その周辺都市の住民を対象に毎年前期後期にそれぞれ4-5回の講座を開催しております。講師陣は立正大学全9学部（仏教・文学・経済・経営・法学・社福・地球・心理・データサイエンス）の各学部より1名ずつ出しています。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
590	立正大学	産学官連携まちづくりフォーラム	平成18年度	自治体（行政）			熊谷市と共催して地域との関わりについての話題を通して、新たな産業を生み出す力（産業力）を探ることを目的として、市民および企業関係者を対象にフォーラムを開催しています。
591	立正大学	立正大学デリバリーカレッジ	平成20年度	自治体（行政）			地方の自治体と共催で、毎年春と秋に地域住民を対象にした講座を開催しております。講座の内容は宗教、文学、歴史、社会、経済、経営、法律、福祉、環境、心理などさまざまな分野に及んでおります。
592	立正大学	立正大学ラグビーフェスティバル	平成20年度	自治体（行政）			市民へのラグビー普及とラグビーを通じた交流、および幼稚園児や小学生などへの指導による学生の社会貢献と人間的成長を目指すために開催しております。
593	立正大学	桶川市民大学	平成21年度	自治体（行政）			桶川市から講師依頼を受け、桶川市民の方々に大学生の気分を味わってもらうため、立正大学の教員が講師を勤める講座は熊谷キャンパスで開催しております。
594	立正大学	行田市民大学	平成21年度	自治体（行政）			行田市民大学からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
595	立正大学	子ども大学くまがや・なめがわ	平成22年度	自治体（行政）			子どもたちの素朴な疑問や知的好奇心を満足させるため、様々な分野での学びの機会を提供することを目的としております。熊谷市・滑川町の小学生4年生から6年生を対象に、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」について大学の先生や専門の方たちで、わかりやすい授業を心がけております。
596	立正大学	直実市民大学	平成22年度	自治体（行政）			熊谷市から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
597	立正大学	埼玉未来大学	平成23年度	その他			埼玉未来大学から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、県の生涯学習を支援しています。
598	立正大学	くましん立正大学ジョイント・カルチャー教室	平成23年度	産業界（企業等）			熊谷商工信用組合との共催で市民に向けた講座を開催。講演の内容については、本学の9学部の特性を活かし文学、歴史から環境、心理に至るまで、幅広い分野になるよう心がけております。（R4年度コロナにより中止）
599	立正大学	日本酒制作プロジェクト	平成26年度	産業界（企業等）			熊谷市で唯一の酒造メーカーである「権田酒造株式会社」と連携し、本学学生がオリジナル日本酒を作成しました。2015年度には熊谷市のふるさと納税贈答品に採用されました。
600	立正大学	日本スリーデーマーチ	平成29年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東松山市との連携事業の一つとして「日本スリーデーマーチ」に協賛し、式典パレードに本学吹奏楽部が参加しています。
601	立正大学	比企丘陵農業遺産推進協議会	平成29年度	自治体（行政）			比企丘陵の農業遺産の日本・世界農業遺産化を目指し、滑川町、熊谷市、東松山町、深谷市、嵐山町、小川町、寄居町、吉見町、埼玉JA中央、JA熊谷より協議会が発足し、立正大学は賛助会員として参加し、相談役として申請書取りまとめ、採択後の仕組み作りを行っています。
602	立正大学	ちちぶ学セミナー	平成30年度	自治体（行政）			秩父市からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
603	立正大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東上地域の大学・自治体・企業と共に、「多様な高等教育の提供」、「生活しやすい地域づくりへの貢献」、「地域産業の活性化」を図ることを目的としています。
604	立正大学	東松山市きらめき市民大学	令和4年度	自治体（行政）			東松山市きらめき市民大学からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
605	早稲田大学	大学院環境エネルギー研究科・本庄高等学院による本庄ユニラブ事業（こども科学実験教室の開催）	平成16年度	自治体（行政）	小・高等学校等		大学院教員および学生、本庄高等学院教員による本庄市および周辺地域への小学生児童を対象とした科学実験教室の開催。
606	早稲田大学	本庄市市民総合大学への支援	平成22年度	自治体（行政）			本庄市が主催する市民を対象とした生涯教育事業「本庄市市民総合大学」において、会場の提供および講師紹介をおこなっている。
607	早稲田大学	神川町小学生児童を対象とした国際交流プログラムの実施	平成31年度	自治体（行政）	財団法人	小・高等学校	公財）本庄早稲田国際リサーチパークならびに早稲田大学、児玉郡神川町教育委員会が主催する神川町小学生を対象とした国際交流プログラム「グローバルキャンピングin 神川」の実施。 ●プログラムの企画運営を公益財団法人本庄国際リサーチパークが担当 ●早稲田大学の留学生や本庄高等学院の生徒が児童の学習を支援 留学生の出身国の文化や言語習得、英語でのゲーム等を通じて大学生との交流や異文化理解を深めることを目的とする。
608	早稲田大学	本庄市内小学校での総合学習支援事業	平成31年度	小・高等学校等			早稲田大学本庄高等学院の教諭、生徒が本庄市内小学校に訪問し、総合学習の時間において理科・エネルギー等の講義・実験を通じて科学への理解と交流を図る事業。
609	早稲田大学	秩父市を中心とした「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業 実証実験」への参画	令和2年度	自治体（行政）	企業		2020年10月 秩父市が採択された令和2年度 Society5.0「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業 調査・設計業務委託」に、大学院環境エネルギー研究科 小野田弘士教授が開発した多目的小型自動運転EVを提供するなど実証事業に参画
610	早稲田大学	本庄市と早稲田大学文化推進部による文化遺産展示施設「本庄早稲田の杜ミュージアム」の運営事業	令和2年度	自治体（行政）			早稲田大学（担当：文化企画課）と本庄市による協働事業として、施設改修費を大学が負担し、運営コストを本庄市がもち2020年10月15日に開館。名誉館長は本学理事の渡邊 義浩。 ●常設展示内容の企画・運営 ●企画展、ワークショップ、講座等の運営
611	早稲田大学	オープンスクール	平成7年度	幼保・小・中・高等学校等			●「脳の研究」について、高校生に体験してもらう。 （ブタの脳の解剖、神経の顕微鏡観察） ※現在は埼玉県内の高等学校と実施している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
612	早稲田大学	所沢市との「協働によるまちづくり」	平成15年度	自治体（行政）			●市の行政活動に大学が保有する知的財産をまちづくりの資源として活かし、豊かな地域社会を創造する。 ●福祉、環境、教育、文化、スポーツ、芸術などの分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与する。
613	早稲田大学	所沢市西地区総合型地域スポーツクラブの支援事業	平成16年度	自治体（行政）			●種目別クラブ活動 ●各種スポーツ教室 ●健康体力相談・測定 ●各種研修会・講演会 ●調査研究 ●会員相互の親睦を深めるための活動 ●その他、クラブの目的達成のために必要な事業
614	早稲田大学	さやま市民大学 早稲田大学連携 健やかいきがい講座	平成18年度	自治体（行政）			●スポーツ科学部教員がコーディネートした講座実施 ●授業期間中の毎土曜2限 ●定員20名
615	早稲田大学	所沢市教育委員会並びに早稲田大学人間科学学術院による教育連携	平成19年度	自治体（行政）			所沢市の市立小・中学校へ早稲田大学人間科学部の実習学生を派遣し、学校教育活動の円滑な実施に寄与し、教育現場における体験等を通じて、学生の教育専門職としての意識および教養を高め、学校教育の一層の向上を図る。 実習内容は次のとおり。 ●学習支援 ●その他、学校教育活動に関すること
616	早稲田大学	埼玉県皆野町と早稲田大学人間科学学術院との地域活性化プロジェクト	平成31年度	自治体（行政）			●海外招聘高校生、早稲田大学人間科学部学生・大学院生、皆野中学校生徒との英語交流事業 ●キャリア教育を目的とした皆野町立小学校・中学校、県立皆野高校と早稲田大学人間科学部学生・大学院生との交流事業 ●地域創成を目的としたインターンシップ事業
617	早稲田大学	埼玉県皆野町、株式会社アイネス総合研究所と早稲田大学人間科学学術院との健康データ分析による健康増進で中長期的にまちを発展させる事業に関する包括的協定	令和4年	自治体（行政）	企業		●健康データ分析事業に関する事項 ●皆野町民の健康寿命の延伸事業に関する事項 他
618	放送大学埼玉学習センター	放送大学・さいたま市宇宙劇場コラボレーション特別講演会	令和2年度	公共施設			放送大学埼玉学習センターとさいたま市宇宙劇場とのコラボレーションによる講演会。さいたま市宇宙劇場プラネタリウムを会場として、宇宙や星座にまつわる内容の講演を行っている。令和4年度は、8月6日に「星座の成立とギリシャ・ローマ神話」（講師：伊藤博明放送大学客員教授）、2月4日に「宮沢賢治の宇宙観」（講師：谷口義明放送大学教授）というテーマで開催した。
619	秋草学園短期大学	インターンシップ	平成13年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		自治体・企業等にインターンシップの受け入れを依頼、5～12日間程度で実施している。修了後単位が付与される。 R4はコロナにより一時中止
620	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 前期公開講座	平成19年度	自治体（行政）			5～10月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学（英語・中国語・韓国語）、パソコンの講座を開講。R4はコロナにより一時中止
621	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 後期公開講座	平成19年度	自治体（行政）			10～3月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学（英語・中国語・韓国語）の講座を開講。R4はコロナにより一時中止
622	秋草学園短期大学	地域活動（ボランティア）	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	その他	自治体、NPO法人、幼稚園・保育園等からの依頼を受け、学生を派遣する。地域保育学科はボランティアが必修科目とされ、修了者に単位（4単位）が付与される。所沢市民フェスティバル広報とともに清掃を担当。「サンタを探せ」のイベントに派遣
623	秋草学園短期大学	子ども大学ところざわ	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県、所沢市、市内の大学とが連携して、小学4～6年生の子どもたちが大学で学ぶ機会を提供する。R4はコロナにより一時中止
624	秋草学園短期大学	地域交流活動	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			新所沢団地自治会と文化表現学科学生との連携。 R4はコロナにより一時中止
625	秋草学園短期大学	埼玉県民の日高校生「学び」“夢”プラン	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業であり、高校生が普通の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会を提供する。 令和4年度は参加し募集するも希望者なしだった。
626	秋草学園短期大学	空飛ぶ音楽祭	令和3年度	自治体（行政）			公益財団法人所沢市文化振興事業団共済の「空飛ぶ音楽祭」の実行委員会に学生も参加し、フェスティバルのロゴや運営の仕方について意見述べた。R4はコロナにより一時中止
627	秋草学園短期大学	「安心・安全な地域づくり」事業	令和4年2月25日	所沢警察署			埼玉県警所沢警察署と包括連携協定を結び、安全・安心な地域を作るための取り組み（オレオレ詐欺防止キャンペーンのためのポスター・チラシ作りと市民へのPR活動、西武鉄道・西武遊園地に於ける救難訓練の実施 等）を行っている。
628	秋草学園短期大学	駅ボランティア		自治体（行政）	産業界（企業等）		学生約70名が参加し、所沢市、西武鉄道の協力を得て車椅子での移動や、視聴覚の障がい者の疑似体験をし、障がいのある人々を理解するとともに、駅構内等での介助方法を学ぶ。 学科で異なり、地域保育学科は令和4年度再開したが、文化表現学科はコロナにより一時中止

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
629	国際学院埼玉短期大学	幼児絵画展	昭和61年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		埼玉県内の幼稚園・保育園（所）・認定こども園に通っている3歳から5歳までの子供を対象に、幼児教育における表現活動への興味・関心を深め、県内幼児教育の振興に寄与することを目的に開催している。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、応募作品点数を従来の10点から8点に制限するとともに（令和3年度の5点からは増加）、作品展示を見合わせ、表彰式は従来より縮小して実施した。応募作品は、厳正な審査を経たうえで、一部を表彰式で表彰の上、本学のホームページ上で優秀作品等の紹介を行った。
630	国際学院埼玉短期大学	就職問題研究協議会	昭和63年度	国・自治体（行政）（埼玉労働局）（埼玉労働商工部）	公共団体（埼玉県雇用対策協議会）	短期大学の協会（埼玉県私立短期大学協会）	埼玉県内私立短期大学に在学する学生の就職支援の向上・充実に努めることを目的に毎年、春・秋の年2回、研究協議会を開催しており、令和4年度については、埼玉労働局職業安定部職業安定課、埼玉労働局雇用環境・均等室、埼玉県産業労働部雇用労働課、埼玉県雇用対策協議会に助言・指導者として出席いただき開催した。
631	国際学院埼玉短期大学	埼玉県高等学校進路指導研究会との連絡協議会	昭和63年度	高等学校の協会（埼玉県高等学校進路指導研究会）	短期大学の協会（埼玉県私立短期大学協会）		県内短期大学の教育内容の理解、及び県内高校生の自県内短期大学への進学率の向上等を図るため毎年研究協議会を開催している。令和4年度は「令和5年度入学者選抜の特色」「入学前教育」「高校生『学び』“夢”プラン」について連絡協議・意見交換を行った。
632	国際学院埼玉短期大学	さいたま市委託事業公開講座	平成5年度	自治体（行政）			さいたま市との共催で、さいたま市在住・在勤の方を対象に学びの機会を提供しており、令和4年度については次の2講座を開講した。 ・「SDGs入門」9月1日～9月21日 オンデマンド配信 ・「大人も育つ！子育て講座」2月2日～3月10日 オンデマンド配信
633	国際学院埼玉短期大学	味彩コンテスト	平成5年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		一般家庭の食生活の改善や健康増進、高校生の食育推進等に役立てることを目的にバランスの良い健康に役立つ献立を公募し、書類審査、試食審査を行い優秀作品を選出・表彰している。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、調理・試食審査・表彰式の規模を縮小して実施した。また大学祭においては提供は見送り、レシピの紹介を行った。
634	国際学院埼玉短期大学	短期大学生のためのキャリア形成講座	平成22年度	国（国立女性教育会館）	短期大学の協会（埼玉県私立短期大学協会）		「生涯を通じたキャリア形成の考え方」について学ぶとともに、他大学の学生との交流や討議等を通じて、人と人との関わり合いの基礎や多様性（ダイバーシティ）を認め合う意識の涵養を目的として毎年行っている。令和3年度はコロナにより一時中止となったが、令和4年度においては加盟短期大学の「キャリア教育」の一環として、「男女共同参画の視点に基づくキャリア教育」をオンデマンド形式で実施した。
635	国際学院埼玉短期大学	農・商・学連携地産地消プロジェクト	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		さいたま市農業青年協議会の協力を得て、さいたま市特産の紅赤を本学学生が苗付、除草、収穫等を行い、農作業を通じて農業の役割や食物の大切さなどを理解する取り組みを行っている。収穫した紅赤を使用したスイーツを考案し、五峯祭（大学祭）やさいたま市農業祭において販売している。
636	国際学院埼玉短期大学	埼玉教育コラボレーション協定による講師派遣	平成25年度	自治体（行政）			R4はコロナにより一時中止
637	国際学院埼玉短期大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会と埼玉県私立短期大学協会等との連携により開催する県民の日高校生「学び」夢プランに参画し、本学通常授業に高校生・高校教員の参加を受け入れている。
638	国際学院埼玉短期大学	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の公開講座	平成27年度	大学・短大（大学・短大間連携）			市民等の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるため、共通のテーマを設定し、各大学が公開講座（リレー講座）に参加している。本学では令和4年度は4つの講座を実施した。 ・「食育士養成講座」（本学学生ならびに一般の継続受講者対象）9月～3月 ・「埼玉県産「紅赤」を使っておいしいスイーツをつくってみよう」11月24日～12月31日 オンデマンド配信 ・「はじめての災害食講座～在宅避難生活を乗り越えるために～」12月15日 オンライン ・「そば打ち入門」3月11日
639	国際学院埼玉短期大学	全国調理師養成施設協会共催公開講座 食育教室2023	平成27年度	自治体（行政）			全国調理師養成施設協会との共催で、小学生を対象に食育をテーマとした公開講座をオンデマンドで実施した。 「親子で作ろう！夏のコース料理」8月1日から8月31日まで オンデマンド配信
640	国際学院埼玉短期大学	国際学院埼玉短期大学認定「食育士養成講座」	平成28年度	産業界（企業等）	農場、牧場		本学が地域の食育を推進する人材を育成する事業において、埼玉県内の農場や牧場と連携し、作業体験を通じて体験的に食の循環等を学ぶ機会として取り組んだ。
641	国際学院埼玉短期大学	大学の開放授業講座	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方を対象に、本学通常授業への受け入れを行っている。令和4年度はコロナにより一時中止。
642	国際学院埼玉短期大学	園外保育連携	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	社会福祉法人（保育園）		保育士養成教育並びに保育の向上・充実に寄与することを目的に包括協定締結先の保育園と連携し、園から徒歩圏内にある本学の構内（人工芝の多目的広場）を目的地として園児を受入れ、園外保育を行った。
643	国際学院埼玉短期大学	高大連携授業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生が「本学教員による出張授業」を体験することにより、専門職業への学びの意欲を高め、興味・関心を持つ分野への理解を深めるとともに、主体的な進路選択を行うことができるようにするための機会の拡充を図ることを目的に高大連携授業を行っている。 埼玉県立鷲宮高等学校：6月に2回 国際学院中学校高等学校：7月～1月に8回

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
644	国際学院埼玉短期大学	「食品ロス削減全国大会inさいたま」への参加	令和4年度	自治体（行政）			食品ロス削減に向けた全国的な機運の醸成を図ることを目的とし、毎年、食品ロス削減の日（10月30日）に開催される「食品ロス削減全国大会」が、令和4年度はさいたま市で開催された。（さいたま市、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会主催、消費者省、農林水産省、環境省共催。）その「第6回食品ロス削減全国大会inさいたま」において、「さいたま市チームEat All」の一員として、学生が参加した。 ・食品ロス削減の取組について、パネル展示および説明 ・来場した児童へ、食品ロスゲームによる啓発活動
645	国際学院埼玉短期大学	さいたま市広報番組「のびんのびシティさいたま市」撮影・出演協力	令和4年度	自治体（行政）			さいたま市の広報番組「のびのびシティさいたま市」に学生が出演し、さいたま市産のさつまいも「紅赤」を使った料理の紹介を行って、地産地消の活動を展開した。 12月18日放送、12月25日再放送 当日のテーマ『さいたま市の特産品「紅赤」を使った料理をつくろう！！』
646	国際学院埼玉短期大学	IRの普及・活用に向けた合同研修会	令和4年度	短期大学の協会（埼玉県私立短期大学協会）	埼玉県内の私立短期大学		県内短期大学が行っているIR（学修時間や教育の成果等に関する情報収集を行い、自らの客観的な状況を分析する）の取組に触れ、相互に啓発しあう機会を設けるため、合同の研修会を行った。
647	埼玉医科大学短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		・埼玉県高等学校進路研究会と埼玉県私立短期大学協会が行っている「埼玉県民の日高校生学び夢プラン」については、令和4年10月14日に2コマ講座参加申し込みの案内をしたが、希望する高等学校および高校生がなく、実施しなかった。
648	埼玉医科大学短期大学	高大連携事業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			・例年、協定校3校の高校生に対して、看護に関する学習の機会を設け、大学及び看護への関心を高めることを目的とした高校大学連携事業を計画して実施している。令和4年度（2022年）は新型コロナウイルス感染防止の為、実施しなかった。 ・高等学校と短期大学教職員間における情報交換を本学職員が協定校を訪問して実施し、教育上の情報交換を行った。
649	埼玉医科大学短期大学	埼玉医科大学短期大学公開講座	平成29年度	自治体（行政）	その他		・新型コロナウイルス感染症予防から令和4年度（2022年）は、看護学科公開講座をオンラインにて実施した。高校生を対象として受験を控えた高校生に動画視聴をする方法で提供した。 ・よって外部の方を招待する「市民公開講座」は中止した。
650	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学市民公開講座	平成21年度	自治体（行政）	その他		R4年度コロナにより中止
651	埼玉純真短期大学	羽生市学びあい夢プロジェクト協議会	平成22年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	羽生市内の教育機関（児童福祉施設、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学等）と教育委員会が連携して、教育交流を推進し、幼児・児童・生徒・学生及び教職員の成長を促進する活動を行っている。
652	埼玉純真短期大学	特別支援教育研究セミナー	平成23年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	11月5日（土）本学にて開催。障がい者教育に携わっている50名の方が参加出席。立教大学現代心理学部教授の大石先生の講座と前埼玉県立秩父特別支援学校の高橋浩美先生に講演をしていただいた。
653	埼玉純真短期大学	子ども大学はにゅう	平成23年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	第12期子ども大学はにゅうを8月18日（木）に開校した。 参加者：羽生市内小学生4年生～6年生 14名 実行委員会を本学にて開催
654	埼玉純真短期大学	地元小学校1年生児童の1日入学	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		11月8日（火）本学にて開催
655	埼玉純真短期大学	子ども支援センター	平成25年度	その他			一般市民からの「子どもの発育・発達」についての相談を受け入れている。相談員は大学教員3名が担当している。
656	埼玉純真短期大学	高校生学び夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		11月3日（水）文化の日に本学にて開催 2名参加
657	埼玉純真短期大学	羽生市と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成26年度	自治体（行政）			羽生市との間に、教育・文化・生涯学習・学術研究・人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。特別支援巡回 回数：6回（市内小中学校）など
658	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立誠和福祉高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定に基づき、本学教員による出前授業ならびに来学授業を行った。
659	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立進修館高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定に基づき、本学教員による出前授業を行った。
660	埼玉純真短期大学	高大連携授業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定により、埼玉県立誠和福祉高等学校、埼玉県立進修館高等学校の生徒に、本学教員の講義を行った。実施回数：誠和福祉高等学校 4回 進修館高等学校 4回
661	埼玉純真短期大学	中学生のためのオープンカレッジ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		11月3日（水）文化の日に本学にて開催 参加者：羽生市・加須市から6名
662	埼玉純真短期大学	行田市教育委員会と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成29年度	自治体（行政）			行田市教育委員会との間に、教育・文化・生涯学習・学術研究・人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
663	埼玉純真短期大学	3市（行田市、加須市及び羽生市）1商工会議所（行田）、3商工会（加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会）3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力協定	令和2年度	自治体（行政）・商工会議所・商工会・大学			この団体の名称は彩北未来プロジェクトである。定例会議を行っている。 本年度は3大学の学園祭時に10団体のPRを行った。また、3大学合同研究発表会をZOOMにて行った際に10団体の見学参加があった。
664	埼玉純真短期大学	教員による出前講座		自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地元羽生市や周辺市町村の小・中・高等学校や地域団体からの要請で、教職員による出前講座を実施している。 実施内容 ① 小中学校、高等学校等の教職員研修の講師派遣 ② 羽生市、行田市、加須市教育研修センターへの講師派遣 ③ 児童養護施設職員研修への講師派遣など
665	埼玉純真短期大学	学生による地域ボランティア活動		地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	その他	地元自治体、教育委員会のほか、各種団体からの派遣要請を受け、地域活動をサポートする学生のボランティア活動を推進している。 実施内容 ① 県立羽生水族館「スマイル幼稚園」 ② 世界キャラクターさみっとin羽生 ③ イオン未来屋書店 ④ 利根川観光活用プロジェクト ⑤ 秩父鉄道情報誌 ⑥ 岩瀬小学校学童など
666	埼玉女子短期大学	日高市 ひ・まわり探検隊	平成25年度	自治体（行政）			市内の小学生を対象に、郷土愛の醸成と地域の大人との交流の機会を作ることを目的とし、「ひ」だか市内を隅々まで「まわり」探検する。 学生がスタッフとして参加。
667	埼玉女子短期大学	子ども大学ひだか	平成29年度	自治体（行政）			地域の大学や企業・団体が連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する。
668	埼玉女子短期大学	日高市 日高塾	平成30年度	自治体（行政）			市内6つの小学校区で月1回の土曜日に4年生から6年生までを対象として、基礎学力の向上、学習習慣の定着化、地域の方との交流を図ることを目的としている。 学生がスタッフとして参加。
669	埼玉女子短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉県の東武東上線沿線および西武線沿線の大学・短期大学、自治体、企業が連携する、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校として参画。
670	埼玉東萌短期大学	公開講座「救急講習」	平成24年度	自治体（行政）			消防署の協力を得て、隔年で「普通救命講習Ⅲ」を開講している。内容は、応急手当の重要性（講義）、主に新生児から幼児に対する基本的心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去方法および止血法等となる。 （令和2～4年度はコロナにより中止した）
671	埼玉東萌短期大学	見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア	平成30年度	自治体（行政）			平成30年度より、埼玉県民生部青少年課の主催事業である「夢のかけはし教室」（現事業名「見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア」）を開講している。内容は、小学生（4年～6年生）を対象とした、保育士体験プログラム（手遊び歌や紙芝居、参加型劇等の体験、実践）となる。毎回、近隣の保育園に出向き、参加者が保育士（先生）役となり、園児に手遊び等の実演を行うことを実践している。
672	埼玉東萌短期大学	かがくわくわくひろば	令和元年度	自治体（行政）			越谷市科学技術体験センター ミラクルにおいて実施。 学生を中心に作り上げた科学的な要素を取り入れた保育ショーである。 令和4年度、学生参加者は24名。教員は3名が指導を行った。保育ショーの内容は、SDGsテーマにした創作劇、歌、子どもたちが楽しめる科学的な実験動画など取り入れ、地域の親子が90名程度参加した。
673	埼玉東萌短期大学	「はぐくみ」おはなし会	令和2年度	産業界（企業等）			令和4年度は本学の附属図書館で近隣保育園や子育てサークルなどに通う親子に向けて、紙芝居を演じたり、絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行った。
674	埼玉東萌短期大学	高大連携事業	令和2年度	幼保・小・中・高等学校等			大学教育と高等学校教育の接続の円滑な進行、及び双方の発展に資することを目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 令和3年度からは武蔵野星城高等学校の生徒を対象とした「保育講座」「進学クラス保育の授業」及び連携校3校の生徒を対象とした「高大連携校3校による夏休み保育講座」を実施している。 教育連携協定締結校 杉戸農業高校、八潮南高校、武蔵野星城高校
675	埼玉東萌短期大学	小学校との連携事業	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の2年生11名が越谷市立新方小学校でSDGsをテーマにした活動を行った。低学年の児童に分かりやすく作成したスライドや紙芝居サークル〜つなぐ〜を中心に創作したSDGsをテーマにした紙芝居「ゴーゴー！！トロー号！！」やクイズなどで、楽しく環境問題について考えた。また、後半は、工作や実験を行い、環境を大切にしていこうの大切さを伝えた。
676	埼玉東萌短期大学	ラジオ番組への協力出演	令和4年度	産業界（企業等）			2022年9月～2023年4月まで、NHKラジオ深夜便【みんなの子育て☆深夜便】真夜中の絵本に、本学の学生（認定絵本士資格取得者）7名が出演し、絵本の紹介を行った。 2022年6月19日（日）越谷ツインシティA棟2階のオープンスペースで行われた、こしがやエフエムによる公開収録に、教員2名と1年生の有志が参加し、地域の方々や少年叙事詩「ハテルマシキナ～よみがえりの島、波照間～」の輪読を行った。
677	埼玉東萌短期大学	はじめてのおしごと	令和4年度	産業界（企業等）			商業施設「ララガーデン春日部」にて、小学1～4年生を対象に、「はじめてのおしごと」として保育士の体験講座を実施した。2022年5月29日（日）、8月21（日）の2回行い、それぞれ20名、25名が参加し、ボランティアとして、本学学生が参加した。内容は手遊び、紙芝居、赤ちゃん人形を使用した体験、表現あそび等を実施した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
678	城西短期大学	城西大学公開講座	昭和57年度	大学・短大 (大学・短大間連携)	産業界(企業等)		教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講した。
679	城西短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大 (大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
680	城西短期大学	UR都市機構との連携「北坂戸音楽ライブ」	令和4年度	産業界(企業等)	大学・短大 (大学・短大間連携)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	北坂戸駅の近くにあるUR北坂戸団地で、地域住民が音楽を通じて緩やかに交流することを目的として、URとURコミュニティ、UR生活支援アドバイザーが共同で企画した事業。地域連携・参加型の試みとして、城西短期大学の学生がピアノ演奏で出演した。
681	武蔵丘短期大学	インターンシップ	平成3年度	産業界(企業等)			学生が本学で学んだ知識や指導技術を活かす場として、企業や団体において実習的・研修的な就業体験を行う。
682	武蔵丘短期大学	自治体主催講座への講師派遣	平成4年度	自治体(行政)			東松山市、吉見町、鳩山町、川島町、北本市へ講演、実技指導の講師派遣。
683	武蔵丘短期大学	県内の高等学校との事業	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			主に高大連携協定校などへ教員が講演や模擬授業などを実施している。
684	武蔵丘短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大 (大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。
685	武蔵野短期大学	公開講座	平成20年度	自治体(行政)			R4年度コロナにより中止
686	武蔵野短期大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みを5月から7月にかけて全9回・18講座を実施している。 令和4年度は6校と学校間連携協定書を締結し、協定校では単位互換制度を利用している。また協定校のみならず、近隣の高等学校に向けても広報活動を行い、希望する高校生が受講できるようにしている。 ※協定締結校：埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立秩父農工科学高等学校、私立日々輝学園高等学校東京校
687	武蔵野短期大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	産業界(企業等)	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携して、ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
688	山村学園短期大学	公開講座	平成2年度	自治体(行政)	大学・短大 (大学・短大間連携)		11月17日、2月9日 川越 小江戸蔵里にて実施 フィンランドの豊かな暮らしと教育とは？～地域の子育て環境を豊かに～
689	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	自治体(行政)	その他		埼玉ピースミュージアム；紙芝居読み聞かせ会 山村学園短期大学；認知症サポーター養成講座、はとやまワークショップDAY 鳩山町；はとやま祭、鳩山町子育てフェスティバル、ふれあい広場2019、鳩山町納涼夏祭り、健寿まつり 東松山市；リレー講座、まちおこしランチパック開発プロジェクト 坂戸児童センター；こどもまつり、秋まつり、もちつき会 小川町；七夕まつり竹飾りコンクール出展 毛呂山町児童館；イベント手伝い
690	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	地域団体(NPO、ボランティア等)		山村学園短期大学；子育て支援サークル 双子ちゃん集まれ秋の遠足、鳩山幼稚園 遠足、ハルム松ノ木保育園 どんぐり拾い 鳩山高校；鳩高祭 展示ブース参加 埼玉育児院；チャリティコンサート ひばり保育園；ひばりっこスキーキャンプ おおやま福祉作業所；利用者誘導、イベント手伝い 富士見すすく保育園ナーサリースクールSUKUSUKU；お誕生日会イベント 埼玉県こども動物自然公園内こどもの城；絵本の読み聞かせ（毎月第2土曜日、絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター等の上演）
691	山村学園短期大学	教員による出前講座・出張講演	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		鳩山町；「保育ボランティア養成講座」 東松山市；「リレー講座 絵が語る言葉が魅せる心が踊る」 飯能高校；「ダンスにトライ！」 鳩山高校；「ゲームでコミュニケーション」「作って遊ぼう」「まんまる紙ヒコーキ」 川越西高校；「動くおもちゃ作り」 寄居城北高校；「パネルシアターとは、パネルシアターの演じ方」 滑川総合高校；「絵本とプチシアター」
692	山村学園短期大学	里山保全体験学習	平成14年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)		鳩山町石坂の森において、里山保全体験学習（下刈り、坪刈り、樹木の伐倒、自然観察、里山遊び、クラフト作成等）を実施。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和4年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
693	山村学園短期大学	鳩山町つどいの広場「ぼっぼ」	平成20年度	自治体（行政）			鳩山町からの委託を受け、つどいの広場を運営し地域の子育て支援に供している。毎月子育て教養講座を開催し、音あそび、ふれあい遊び、お菓子作り、おもちゃ作り、和紙の折染め、手遊び・歌遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、ハロウィンパーティー（仮装あそび）、クリスマスコンサート等を実施している。
694	山村学園短期大学	子ども大学はとやま	平成27年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）	県、鳩山町、東京電機大学と本学が連携し、鳩山町内の小学4～6年生30名を対象に年6回の講義を実施。本年度の本学での授業は「風と遊ぶ」というテーマで行った。
695	山村学園短期大学	のびのび鳩山	平成27年度	自治体（行政）			鳩山町教育委員会と連携し、鳩山町内の小学1～3年生45名を対象に行事等を開催。学生ボランティアを派遣して子どもたちとの七夕飾り作りや万華鏡作り、また、本学クリスマス会への招待等を実施している。
696	山村学園短期大学	東松山市まちなかりノーション	平成30年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		東松山市と近隣の5大学が連携し、東松山駅前の活性化を目的に、学生の視点から若者を呼び込める魅力ある街づくりの提案をしている。空き店舗を活用したイベント等で中心市街地に賑わいを創出することを目指す。本学は平成30年度より参加している。
697	山村学園短期大学	比企地域大学等連携協議会 (Dear my net)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東松山市と近隣の5大学が連携し、地域の活性化を図ることを目的に活動している。リレー講座、ランチパック開発プロジェクト等を実施している。日本スリーデーマーチでのクリーンウォーク（ごみ拾い）も計画していたが、今年度は台風による被災によりイベントそのものが中止となった。
698	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。
699	山村学園短期大学	東松山ぼたん園まつり	令和元年度	自治体（行政）			ぼたん園にて「親子で水遊び」イベントの補助ボランティアとして3名参加
700	山村学園短期大学	埼玉ピースミュージアム 紙芝居読み聞かせ会	令和元年度	自治体（行政）			埼玉ピースミュージアム講堂にて11月14日学生5名による紙芝居の読み聞かせを行った。
701	山村学園短期大学	埼玉県こども動物自然公園	令和元年度	自治体（行政）			「こどもの城DAY絵本の読み聞かせ」として5名の学生による絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアターなどの上演を行った。
702	山村学園短期大学	毛呂山町児童館まつり	令和元年度	自治体（行政）			児童館まつりでの段ボール迷路コーナーの補助、ダンス遊び披露など6名の学生が運営に参加した。
703	山村学園短期大学	吉見町親子アクティブプログラム	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		吉見町と武蔵丘短期大学の年間を通じた親子でスポーツの基礎づくり・習慣の確立をめざしたプログラムのかけっこ教室（短距離編）へボランティアとして参加した。
704	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		TJUPによる「まなびのみちクリーンウォーク」への参加
705	山村学園短期大学	武蔵丘短期大学 山村学園短期大学公開講座	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		新型コロナウイルス感染予防をふまえた子どもの運動あそびとして、親子でふれあう歌あそびなどの運営等を行った。武蔵丘短期大学屋外にて実施。
706	山村学園短期大学	山村学園短期大学公開講座	令和3年度		自治体（行政）		「フラワー曼荼羅ぬり絵」～心理学の世界を体験してみよう～
707	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム 公開講座	令和4年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		「武蔵国の19校を通じて埼玉を知る」～鎌倉時代の子育てについて～ の実施
708	山村学園短期大学	鶴っ子サマースクール×大学生WIN-WIN事業	令和4年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		小中学生の自主学習サポートへの参加
709	山村学園短期大学	こども大学はとやま	令和4年度	自治体（行政）			鳩山町小学生対象に東京電機大学、日本医療科学大学、山村学園短期大学による講座（計3回）を行った。
710	山村学園短期大学	ワークショップ体験	令和4年度	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）		イオンタウンふじみ野開業2周年イベントとして来場者（幼児親子）に対してワークショップを行った。